

第3次岩出市子ども読書活動推進計画

～生きる力を育む

豊かな読書環境の実現へ～

平成30年3月

岩出市教育委員会

は じ め に

「どうして本をよまなくちゃいけないの？」— 子どもに質問されて、私たち大人はすぐに答えることができるでしょうか。テレビ、コンピューターゲーム、インターネット、スマートフォン、SNS等の普及により、子どもたちの周囲には、簡単に手に入る、本以外の興味や関心をひくものがあります。容易に得られる情報は利便性を向上させましたが、一方で子どもたちの読書の時間が減少しているのが実情です。学齢が上がるごとに読書冊数が減少していることもアンケート調査の結果からわかります。

読書活動には、子どもが成長していく上で、欠かすことができない重要な役割があります。「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第2条の条文にあるように、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」です。子どもが本を読むことで、現代社会における生活様式の変化や、地域住民のつながりの希薄化、家族間のコミュニケーション不足などを補い、自分で考え、行動し、実行できる「生きる力」となっていきます。多くの知識を得、不足しているといわれる読解力、思考力、表現力を養い、学力向上のための基礎的な力をつけることにつながります。

こうした中、本計画では、乳幼児期からの読書活動の大切さを伝え、家庭での読み聞かせの習慣化、さらなる「うちどく」の推進、学校司書の派遣など学校や図書館などの関係機関の連携による読書活動の推進などに取り組んでまいります。子どもに「本を手渡す、一緒に楽しむ」大人の存在が不可欠であることを強く意識しながら、子どもの読書活動を推進してまいりますので、家庭、学校等、地域、関係機関、団体等の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、第3次計画の策定に関わった岩出市子ども読書活動推進会議委員の皆様、関係機関並びにボランティアの皆様、アンケート調査にご協力くださいました方々に厚く御礼申し上げます。

平成30年3月

岩出市教育委員会

目 次

はじめに

第1章 第3次岩出市子ども読書活動推進計画策定にあたって	1
------------------------------	---

- 1 第3次計画策定の目的
- 2 計画の期間
- 3 基本方針

第2章 第2次計画期間における取組（平成25年度～平成29年度）	3
----------------------------------	---

- 1 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進
- 2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備・充実
- 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

第3章 子どもの読書活動の現状と課題	7
--------------------	---

- 1 アンケートに見る子どもの読書活動の現状
 - (1) 乳幼児の家庭における読書
 - (2) 小学生の家庭と学校における読書
 - (3) 中学生の家庭と学校における読書
 - (4) 成果・課題

第4章 第3次計画における子どもの読書活動推進のための方策	10
-------------------------------	----

- 1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進
 - (1) 家庭・地域における子どもの読書活動推進
 - ①家庭における子どもの読書活動の推進
 - ②図書館・図書室における子どもの読書活動の推進
 - ③民間団体等による子どもの読書活動の推進
 - (2) 学校等における子どもの読書活動の推進
 - ①幼稚園や保育所(園)、認定子ども園、子育て支援センターにおける子どもの読書活動の推進
 - ②児童生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実
 - (3) 障害のある子どもの読書活動の推進
 - (4) 学校・家庭・地域との連携による読書活動の推進
- 2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実
- 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

参考資料

- 用語解説
- 子どもの読書環境に関するアンケート調査資料
- 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 和歌山県子ども読書活動推進計画（第三次）基本方針
- 岩出市子ども読書活動推進会議設置要綱
- 岩出市子ども読書活動推進会議委員名簿

第1章 第3次岩出市子ども読書活動推進計画策定にあたって

1 第3次計画策定の目的

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。また、子どもたちが、社会を構成する一員として、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養を身につけるとともに、真理を求める態度を養う礎となるものであり、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要です。

一方、今日の情報化社会の中で、テレビのほか、ゲーム等やインターネット、スマートフォン、SNS等の発達・普及による子どもを取り巻く環境の変化、塾や習い事等の生活環境の多様化が子どもの生活に強く反映し、活字離れ、読書離れの傾向が指摘されています。

子どもが好きな本と出会うためには、子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校を通じた社会全体で推進していくことが必要です。

国においては、子どもの読書活動を支援するため、平成12年を「子ども読書年」とする決議が出され、平成13年12月には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されました。そして、平成14年8月、この法律に基づき、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、その成果・課題を踏まえた第二次基本計画に続き、平成25年5月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第三次基本計画）が策定され、おおむね5年間にわたる施策の基本的方向と具体的な方策が示されました。また平成16年3月に、和歌山県の子どもの読書活動推進に係る施策を総合的に推進するための指針として、「和歌山県子ども読書活動推進計画」が策定され、現在、平成26年3月に策定された第三次計画が施行されています。

岩出市においても、国の基本計画及び「和歌山県子ども読書活動推進計画」を基本とし、子どもの自主的な読書活動の推進を目指し、平成20年3月に「岩出市子ども読書活動推進計画」（計画期間平成20年度～平成24年度）（以下第1次計画という）、平成25年3月に「第2次岩出市子ども読書活動推進計画～生きる力を育む豊かな読書環境を目指して～」（計画期間平成25年度～平成29年度）（以下第2次計画という）を策定しました。

このたび、第2次計画期間における岩出市の子ども読書活動推進の取組と成果、今後の課題を検証した上で、子どもたちの生涯にわたる「生きる力」の基礎的な部分を育む豊かな読書環境の実現に向け、継続的に推進していくために、第3次岩出市子ども読書活動推進計画を策定するものです。

2 計画の期間

この計画は、第2次計画の期間が平成29年度をもって満了となることから、その成果を検証するとともに、今後、岩出市が子どもの読書活動を継続的に推進していく上で、基本となる考え方や具体的な取組を示すものとし、計画の期間は、平成30年度から平成34年度までの5年間とし、必要に応じて適宜見直しを行います。

3 基本方針

国及び県の基本計画をもとに、岩出市の第2次計画期間における成果と課題を踏まえ、「子どもの自主的な読書活動の推進」を目指し、次の3点を基本方針として引き続き取り組みます。

(1) 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

家庭・地域・学校がそれぞれの機能を発揮し、子どもが自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等と緊密に連携し、相互に協力しながら、子どもの発達段階に応じた読書活動を積極的に推進します。

(2) 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備・充実

図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子どもの身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、行政や民間等による推進体制の整備を促進します。また、図書館は分館、分室と緊密に連絡をとり、配本サービスやインターネット予約などの機能をより促進させ、地域における読書環境の充実に努めます。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深めることが大切です。そのため、子ども読書活動に対する理解・関心を高められるよう、関係機関、民間団体等との連携・協力による普及啓発活動を促進します。

第2章 第2次計画期間における取組（平成25年度～平成29年度）

子どもの読書活動を推進するため、第2次計画で定めた事業計画に基づき、計画的に環境整備を進めてきました。第2次計画において、乳幼児期・幼児期及び学齢期の読書活動の方策としてあげられた内容については、下記のとおり取り組みました。

1 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進

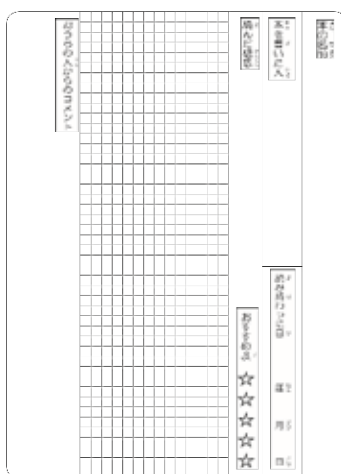
① 家庭

子どもと保護者が家庭で本と一緒に楽しめるように、4か月健康診査時に対象者へ絵本を配布するブックスタートを実施しています。育児相談時に絵本の大切さとブックスタートについて説明し、ブックリストが載った啓発チラシの配布も行ない、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあうひと時をもつきっかけを届けています。また、1歳8か月健康診査時に朗読ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、家庭での読み聞かせにつながる活動を続けています。保護者に向けて、保育所等の保護者参観時に読み聞かせボランティアによる読み聞かせをし、家庭での読書の大切さを伝える「訪問おはなし会」を実施しています。これらの活動によりこれまで絵本に関心がなかった保護者の方が、親子で図書館を利用するようになるなど、乳幼児のころから本に親しむ環境づくりが少しずつ広がりを見せています。さらに、平成24年度から学校の朝の読書の習慣を家族で実践する、「うちどく」を推進しています。「うちどくノート」を市内小・中学生全員に学校を通して配布し、うちどくにおすすめのブックリストを参考に、家族でコミュニケーションを取りながら、子どもが楽しく読書できるよう、活用を呼びかけています。

（うちどくノート）



表紙



書き込みノート



ブックリスト

② 図書館・図書室

図書館では、読み聞かせボランティアが毎週日曜日に、図書館スタッフが第4土曜におはなし会を開催し、総合保健福祉センター図書室では臨時職員と図書館ボランティアが協力して3の倍数月におはなし会を開催しています。

年6回子育て支援センターとともに乳幼児向けに親子で参加できる手遊びや図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせなどを実施しています。こうした取組にはボランティアの協力が不可欠であることから、図書館では、人材確保と養成・研修の機会、活動場所の提供等の活動支援を行っています。

子ども読書の啓発活動としては、保育所等の保護者参観時に訪問おはなし会を実施しています。各保育所（園）、認定子ども園、幼稚園を通じて保護者向けに子どもの発達段階に応じたブックリ

ストを、小・中学校では全児童生徒に向けて教科書の内容と並行したブックリスト等を配布するとともに、季節ごとにその季節や行事に合わせた本の展示のお知らせ、イベントや新刊情報チラシを配布し、同時に小・中学校や高校の各教室、学校図書館などに掲示を行ない、図書館利用を促進しています。

また、平成26年9月から、市内小学校6校に、平成27年4月からは市内中学校2校に学校司書の派遣を開始しました。それにより、学校との連携がより緊密になり、団体貸出の増加や、学校司書によるブックトークやアニメーションなどの読書・学習支援の実施、調べ学習の促進など、さまざまな成果が出ています。学校司書の派遣により、小・中学生の学校での読書活動の現状を把握し、学校側と協力しながら学校図書館の整備や蔵書の充実などにも努めています。

さらに、市のマイクロバスを活用した小学校からの校外学習の受入や、中学校からの職場体験の受入、高校生の就業体験の受入も積極的に行なっています。教職員の研修の受入も行なっており、図書館についての知識と理解を深めてもらい、学校でその体験を生かしてもらうことで、児童生徒の図書館への関心の向上などにつながることを期待しています。

平成28年度からは、図書の貸出冊数を5冊から10冊に増やしたことで、貸出冊数も増加しました。比較的短い時間で読める絵本などの児童書が多く借りられるようになり、子どもの読書活動推進に追い風となっています。

③ 民間団体等

岩出市では、読み聞かせや紙芝居、朗読などを行う子どもの読書活動推進に取り組んでいるグループが数多くあります。グループごとに、市内各小学校で始業前に読み聞かせをしたり、放課後に紙芝居や手遊び、絵本の読み聞かせなどを行っています。また、平成27年10月から各小学校の学童保育所でも絵本などの読み聞かせを行なっています。市内6ヶ所の学童保育所（ホープいわで、ホープやまさき、ホープあいあいセンター、ホープねごろ、ホープかみいわで、ホープちゅうおう）を半年間で巡回し、平成28年度からは、各学童保育所で毎月1回読み聞かせを行い、子どもたちに本を読む楽しさを伝え、本を好きになる心を育てる活動を広げています。

岩出図書館では、各グループへ図書資料の団体貸出、大型絵本や大型紙芝居の貸出、養成講座の実施、活動場所の提供などの活動支援を行うとともに、企業や行政による補助や助成、各種講座等の情報提供も行っています。

④ 保育所（園）・認定子ども園・幼稚園

保育所（園）・認定子ども園・幼稚園では日常の保育の中に読み聞かせの時間を積極的に取り入れています。

各保育所等では、絵本コーナーを設け、家庭へ絵本の貸出を行っています。保育所等の蔵書には限りがあることから、読み聞かせ等の絵本などは団体貸出として岩出図書館から貸出しています。また、岩出図書館や読み聞かせボランティアとの連携による保育所等の参観時に訪問おはなし会を実施しています。絵本の貸出や読み聞かせなどを通じて、保護者の絵本への関心が高まり、家庭での読み聞かせの習慣が浸透してきています。

⑤ 学校等

小学校では、朝の読書やボランティアによる読み聞かせ等、各校で工夫して実施しています。また、各教室には学級文庫を設置しており、身近に本を置くことで簡単に手に取り、子どもたちが読みたい時に読めるようになっています。

中学校では、朝の読書の取組を継続的に実施しています。小学校同様、教室に学級文庫を設置しています。保育園での読み聞かせを行っている学校もあります。

朝の読書をすることで、子どもたちが落ち着いて授業に入れるようになっていきます。

小学校、中学校に共通して、うちどくの記録が夏休みの宿題になり、学校と図書館が協力して、よりすぐりの記録を図書館で展示しています。

さらに、平成26年9月から市内小学校6校に、平成27年4月からは市内中学校2校に学校司書の派遣が開始されました。岩出図書館に勤務する司書が学校司書として各学校に週1回のペースで勤務し、図書館と学校、教職員と学校司書が連携しながら学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク、アニメーションの実施など児童生徒の読書・学習支援、教職員（学校）への読書・学習活動支援を行なっています。また、ふだん図書館で勤務している司書が学校へ派遣されることで、学校と図書館の連携がより緊密になり、団体貸出の増加や、調べ学習の促進など、さまざまな成果が出ています。さらに、小・中学生の学校での読書活動の現状を把握し、学校側と協力しながら図書館の利用促進などにも努めており、図書委員や読書クラブなどの活動も活発になっています。

中学校においては、平成27年度から岩出図書館が開催する「中高生ビブリオバトル in 岩出」に、教職員と学校司書のサポートのもと、生徒がバトラーとして参加し、チャンプ本に選ばれたバトラーは岩出市代表として和歌山県立図書館で開催される和歌山大会の決勝に参加しています。

平成29年度には、図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べ学習を通じて、児童生徒自らが考え、判断し、表現する力を育むことを目的に、「図書館を使った調べる学習コンクール」の岩出市地域コンクールが実施されました。市内小・中学校から223点の作品が出品され、最優秀賞、優秀賞、奨励賞に選ばれた16点を全国コンクールに出品しました。

高校では、毎年、夏休みボランティアが図書館で活動し、社会奉仕を通して、公共図書館についての理解と関心を深めています。また、校内でビブリオバトルが実施されるなど、読書を通して人と本を知る楽しさを伝える活動が広がっており、岩出図書館が開催する「中高生ビブリオバトル in 岩出」にも市内在住・在学の生徒がバトラーとして参加しています。

⑥ 障害のある子ども

岩出図書館では、子どもの障害の状況に応じた本や点字本、録音図書、さわる絵本、図書館ボランティアの協力で手作りされた布絵本などを提供し、子どもの読書活動を積極的に推進しています。

毎週日曜日には読み聞かせボランティアの協力を得ておはなし会を開催し、申請があれば対面朗読室での朗読サービスの提供が可能です。特別支援学校の校外学習等の受入なども行なっています。

また、読み聞かせボランティアによる小学校での読み聞かせを実施しており、子どもたちの本への興味、関心が高まっています。

2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備・充実

① 図書館・図書室の整備・充実

岩出図書館では、地域密着型図書館として、分館、分室との配本サービスやインターネット予約などのサービスを行っています。また児童図書コーナーでは過去の課題図書リストや、季節に応じたブックリストの設置や、ヤングアダルトコーナーの充実を図るとともに、新たにうちどくコーナーを設置しました。

駅前ライブラリーでは、駅に隣接した立地を生かし、中高生向けにライトノベルコーナーを設置し、総合保健福祉センター図書室は、近隣の小学生が多く来館するため、人気のあるジャンルの本を多く取り揃えるなど、立地や来館する子どもの年齢層に応じた図書の配置と、子どもたちが落ち着いて本を読むような読書スペースの工夫をしています。中央公民館図書室では、平成27年度から持ち込みによる自習を可能にし、学習目的の子どもたちの利用が増加しています。

また、岩出のふるさと絵本や民話など和歌山県に関する資料も積極的に収集しており、次代を担う子どもたちに郷土の歴史・文化に対する関心や理解を深めてもらい、より一層の郷土愛をもってもらえるように努めています。

岩出図書館の館内は、ユニバーサルデザインを採用しており、子どもたちが利用しやすいように、児童用トイレや児童用の閲覧席、児童用の本の検索機等を設置し、親子での滞在がより快適なものになるように、授乳室や乳幼児サークルも設置しています。リーディングトラッカーやコミュニケーションボードを気軽に利用してもらえるよう、カウンターに配置しています。障害のある子どもも安心して利用できるよう、点字ブロックや耳マーク、車いす、多目的トイレを設置するなど、環境の整備にも努めています。

② 学校図書館の整備・充実

学校司書が週1回勤務し、学校図書館の開館日数、開館時間数の増加がみられました。また、日本十進分類法（NDC）に基づいた配架とわかりやすい書架見出しやラベルの作成など、児童生徒が自分で本を探せるような整備を順次進めています。閲覧机や書架のレイアウト変更を行なうことで、学校図書館機能の充実につながったという学校が多くありました。蔵書全体の構成を確かめ、図鑑などの参考図書や調べ学習に役立つ図書など、読み物だけでなく幅広い分野の図書を充実させたほか、司書教諭、図書担当教職員と学校司書が情報交換しながら、魅力的な蔵書づくりに努めています。

③ 子ども読書活動推進体制の整備・充実

平成20年度から図書館・学校・民間団体・行政等からなる「子ども読書活動推進会議」を開催しており、それまであまり交流がなかった関係機関、行政がそれぞれ子どもたちの読書活動を推進させるという同じ目的をもって会議を開催し、本計画の策定についての検討も行なっています。また、図書館職員研修や学校司書研修等に積極的に参加しており、図書館司書のスキルアップに努めています。

3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

平成24年12月に制定された「第2次岩出市子ども読書活動推進計画」をウェブサイトに掲載し、各関係機関に冊子の配布、周知をしました。

図書館では、「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）や平成21年に制定した「岩出市子ども読書の日」（3月の第3土曜日）だけでなく、年間を通じて子どものイベントを実施しており、子ども用ウェブサイトによる利用案内やそれぞれの発達段階に応じたブックリストを配布するなど、子どもたちに読書活動についての理解を深め、関心をもってもらえるよう努めています。

また、子どもだけでなく、子どもの読書活動の機会の充実、読書の習慣化に大きな役割を果たす保護者に対しても、子どもの読書活動の重要性の周知や図書館のPRを行っています。



中高生ビブリオバオル in 岩出

第3章 子どもの読書活動の現状と課題

1 アンケートに見る子どもの読書活動の現状

(1) 乳幼児の家庭における読書

乳幼児の家庭での読書の様子を把握するため、乳幼児健康診査時（7か月）と市立保育所1ヶ所（1歳児～5歳児）の保護者にアンケートを実施しました。アンケートの結果によると、乳児の保護者では、子どもと一緒に本を見たり、読んだりする機会は、「よくある」が第2次策定時から17%増加し「時々ある」を合わせると、81%となり、家庭で本を読んであげている保護者が多いことがわかります。「子どもに本を読んであげることが大切」と考えている保護者は約90%で、乳児の保護者の本に対する意識は高いようです。

保育所児の保護者アンケートでは、自分の子どもは、「本が好き」と答えた人は91%で、前回の92%とほぼ変わらない結果でした。子どもに読み聞かせをする機会をもっている保護者は90%で、その60%以上が母親だと答えています。子どもが読む本について38%の家庭で話し合う機会があるという回答で、あまり話し合わない家庭の割合が増えている結果があるなかで、95%の保護者が子どもに本を読んであげるのは大切だと答えています。子どもに読んであげる本は、「絵本」51%、「乗り物、虫、動物などの本」17%、「読み物、昔話」11%となっており、絵本がよく読まれています。また、本の入手方法は、購入が43%、借りるが43%と同じ割合となりました。図書館の利用については、「月1、2回程度」が44%と最も多くなりました。第2次計画策定時と比べると、この5年間で子どもと一緒に本（絵本）を見たり、読んだりする機会が「よくある」と回答した保護者が増えており、図書館の利用率も増えています。ブックスタートや読み聞かせ、保育所等での訪問おはなし会などの継続的な活動により絵本への関心が高まり利用促進につながったと感じます。

(2) 小学生の家庭と学校における読書

小学生の家庭での読書の様子を把握するため、小学校3年生と6年生の子どもとその保護者に対しアンケートを実施しました。3年生、6年生の「よく読む」「ときどき読む」を合わせると、3年生で70%以上が、6年生では約50%が本を読んでいます。読んでいる本は、3年生、6年生ともに読書頻度別にみても、全体的に「物語」が最も多く読まれています。うちどくノートの使用頻度でみる子どもの読書頻度では、うちどくノートの使用があまり子どもの読書頻度に影響しておらず、3年生、6年生共通で「1人で書く」が一番多くなっており、家族で取り組むうちどく活動を、さらに周知する必要があると考えられます。学校図書館の利用については、3年生では「休み時間」が54%と最も多く、6年生も50%と第2次策定時の31%から増加しており、「行かない」という答えが65%から37%に大幅に減少しています。学校図書館に読みたい本があるかについては、3年生は「たくさんある」が56%ありますが、6年生では3年生に比べると満足度が下がっており、図書館から足が遠のく高学年に対して、魅力ある蔵書や図書館の機能の充実を図ることで、学校図書館の存在をアピールしていく必要があります。岩出図書館から学校図書館に司書が来るようになったことによる子どもたちの学校図書館への気持ちの変化としては、3年生では「読みたい本が増えた」や「図書の時間がもっとほしい」との回答が多く、6年生では「調べ物がしやすい」が最も多い回答となるなど、学校司書の派遣により、子どもたちの校内読書活動の推進に一定の成果が出ているとみられます。岩出図書館の利用について、「よくする」「ときどきする」の回答をあわせると、第2次策定時と比べて、3年生は59%から69%に、6年生も48%から60%に増加しています。

保護者に対する質問では、本を「よく読む」と答えた保護者の子どもは50%程度本を「よく読む」と答えており、本を「読まない」と答えた保護者の子どもは20%程度しか本を「よく読む」と答えませんでした。今まで子どもと一緒に本を読んだり、読んであげたりしたことがあるかについて、「ある」「時々ある」を合わせると、90%以上になり、多くの人が子どもと本を読んだ経験があることになります。また、読み聞かせの頻度別に子どもの読書頻度をみると、読み聞かせ頻度が高い子どもは、「よく読む」「ときどき読む」と答える本を読む頻度が高い結果となり、家庭での読み聞かせの習慣が子どもの読書に表れています。

子どもが本を読むことについても「良いことだと思う」が94%あり、子どもが本を読むことが大切だと考えられています。また、子どもが読書を楽しむために必要なことについては、「図書館に行く」「親子で本を読む」の割合が高く、読書環境を整え、読書習慣を身につけることが大切であると意識されているということがわかります。学校司書が派遣されてからの子どもの変化については、フリーアンサーでも子どもの読書に関して良い傾向が見られる意見が寄せられており、今後も学校司書の活動を積極的にPRしながら、子どもの読書活動推進において家庭・学校・図書館間の相互協力を強める必要があります。

(3) 中学生の家庭と学校における読書

中学生の家庭での読書の様子を把握するため、中学2年生の生徒と保護者に対し、アンケートを実施しました。本を「よく読む」「ときどき読む」を合わせると27%で、第2次策定時の89%に比べ、大幅に減少しました。本を読まない理由は、第2次策定時は「読みたい本がない」「読むのが嫌い」が34%と最も多く、今回は「読みたい本がない」が37%と最も多くなっています。また、今回は「時間がない」と「読むのが嫌い」という理由がそれぞれ26%と続いています。「読むのが嫌い」と答える生徒は減ったものの、「読みたい本がない」「時間がない」という回答に、中学生へのスマートフォンなどの普及で、読書より興味のあることがあり、そのことに時間を費やしていることも本を読む生徒の減少の理由として考えられます。

うちどくノートの使用頻度でみる子どもの読書の頻度では、うちどくノートの使用が子どもの読書頻度に影響しておらず、「1人で書く」が一番多くなっており、家族で取り組むうちどく活動を、さらに周知する必要があると考えられます。学校図書館には「ほとんど行かない」が第2次策定時の58%より、さらに83%と増加しており、中学校での学校図書館の存在感の希薄さが浮彫りになっています。学校図書館に読みたい本があるかについては、小学校に比べて満足度が低くなっており、今後より一層、学校司書と学校が連携し、中学生の読書要求に応え、学校図書館の機能を充実させていく必要性が見えます。岩出図書館の利用についても、小学生に比べると「ほとんどない」「したことがない」の割合が増え、小学生に比べて岩出図書館を利用していないことがわかります。保護者に対する質問では、小学生の保護者の回答と比べ、子どもの年齢が上がるにつれ、保護者の子どもの読書推進に対する意識は低くなってきているように感じます。

*平成28年10月アンケート実施。アンケートの調査の集計結果については、参考資料に掲載しています。

(4) 成果・課題

第2次岩出市子ども読書活動推進計画を策定した5年前から比べると、乳幼児のころから様々な場で本の読み聞かせ等をしてもらう機会が増えており、子どもたちの本への関心・興味は広がりを見せています。また、保護者も参加するイベント等の実施により、保護者の子どもの読書活動への意識も高い水準を保っていることがわかります。

さらに、学校司書の派遣により、学校図書館の存在感が高まり、子どもたちの校内読書活動が活発化しています。図書館に勤務する司書が学校司書として勤務することで、子どもたちの公共図書館への興味も高まり、岩出図書館に家族で来館する姿が増えました。学校と図書館の協力・連携が強化されたことで、うちどく活動が推進され、校外学習などの見学の機会も増加しています。読書環境の面でも、学校図書館の機能充実や蔵書の工夫により、子どもたちの身近な読書環境が充実されてきています。岩出図書館でも様々な年齢の子どもたちに関心を示してもらえるような資料収集をしており、本が好きな子どもの増加に繋がっています。

一方、課題としては、家庭におけるうちどく活動の浸透をさらに強力に進める必要があります。学校の協力で、「宿題」における実施状況は進みつつあるようですが、家庭内での自主的な活動、子ども一人でするのではなく、家族と同じ本を読みあって記録をつける、ということが求められます。今後、学校等の関係機関の協力を得ながら、うちどくを保護者向けにPRする機会を多く作り、学校司書も活用しながら、うちどくの周知と活動の啓発をこれまで以上に推進していく必要があります。

また、近年、スマートフォンやタブレット端末等の普及により、大人も子どももSNSやゲームアプリなどの利用に時間を費やしている傾向にあります。そのため、家族間での会話が減り、読書する時間がなくなっている現状がうかがえます。塾やクラブ活動、進学準備等、多忙な年代ではありますが、将来について考えを巡らす大切な時期に、本との良い出会いを持ち、図書館をすべての子どもが身近に感じられるよう、興味、関心を持つ図書資料の充実と図書館利用のPRを図っていく必要があります。子どもをとりまく全てのものが、子どもの読書の重要性を認識し、さまざまな手段を講じて、子どもの目を本に向けさせる活動を、根気よく、粘り強く続ける努力をしていくことが必要です。



学校司書の活動の様子

第4章 第3次計画における子どもの読書活動推進のための方策

1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭・地域における子どもの読書活動推進

① 家庭における子どもの読書活動の推進

読書習慣は日常の生活を通して形成されます。読書が、家庭生活の中に位置づけられ継続されるよう保護者の配慮が望まれます。家庭においては、保護者が子どもに読み聞かせをしたり、子どもが本を読むのを聞いたり、子どもと一緒に本を読んだり、読んだ本について会話したりするなど、家庭の事情に即して子どもが読書と出会うきっかけをつくることが大切です。そうしたきっかけづくりとして、図書館への来館を積極的に呼びかけ、乳幼児期からの家庭での読み聞かせの大切さを伝えていくことが重要です。親子で絵本に親しみ、読み聞かせが習慣化するよう、家庭での読書支援を行なうことで、将来的に小学生からのうちどく活動にスムーズに移行していくことができます。うちどくノートを活用し、読書を通して子どもが感じたことや考えたことなどについて、家族で話し合うことによって、子どもの読書に対する興味や関心が引き出され、子どもが自分で本を選び、読書を楽しめるようになっていきます。地域において、図書館や学校、公民館、子育て支援センターなどの関係機関、民間団体等が連携し、子どもの発達段階に応じて読書の楽しさを知ることができるように、乳幼児健康診査時に絵本を配布するブックスタート事業や、絵本の読み聞かせ、絵本の紹介リーフレットを手渡すなど、読み聞かせボランティア等の協力を得て、親子での読書支援の取組を進めていきます。

〔具体的な取組〕

- ブックスタート事業として、4か月健康診査時に対象者へ絵本を配布し、絵本の大切さとブックスタートについて説明します
- 4か月健康診査時に読書推進の啓発チラシ配布、1歳8か月健康診査時に朗読ボランティアによる絵本の読み聞かせをします
- ブックリストを作成し、保護者等に向けて、子どもの発達段階に応じた本や絵本を紹介します
- 図書館への来館を促進し、乳幼児期からの読書の大切さを啓発するとともに、家庭での読み聞かせの習慣化に向けた取組をします
- 保育参観時や就学時健康診断、図書館イベント時などの保護者が集まるさまざまな機会に、家庭での読書の大切さを伝える活動に努めます
- 家族ふれあい読書推進事業(うちどく)として、うちどくノートを市内小・中学生全員に配布し、図書館にうちどくコーナーの設置、うちどくの記録の展示等、市内の各小・中学校と連携しながら家庭力の向上と子どもの読書活動の活性化を促進します

② 図書館・図書室における子どもの読書活動の推進

図書館は、子どもたちが自分の読みたい本を自由に選び、本の楽しさを知ることができる場所であり、大人にとっても子どもと一緒に本を選んだり、子どもの読書について相談することのできる場所です。子どもの読書活動を推進していく上で、図書館は地域の読書活動の拠点である施設といえます。図書館を拠点として、地域での子ども読書活動を活発に推進していくには、おはなし会の実施、子どもの本の展示、ビブリオバトルなど様々なイベントを展開していくことが望まれます。分館、分室では、利用する子どもの年齢層や読書傾向に配慮した図書の配置を進め、立地条件などを生かした利用促進を図ることが重要です。また、学校との連携を図るとともに、学校司書の派遣を通して、学校での図書館資料の活用や調べ学習などに協力し、児童生徒を積極的に受け入れ、図書館の利用を促進していきます。

〔具体的な取組〕

- 図書館ボランティア等の協力を得て定期的におはなし会を実施します
- 子どもたちに興味をもってもらえるような季節、行事に合わせた本を展示します
- 子どもたちに興味をもってもらえるようなイベントを開催します
- イベントのチラシやブックリスト、新刊情報などを学校を通じて配布し、図書館利用を促進します
- 保護者等に向けて、子どもの発達段階に応じた本や絵本を紹介します
- 子どもの年齢に応じた読み聞かせを実施します
- 分館、分室の立地条件や館内環境を生かし、利用する子どもたちの年齢層や読書傾向に配慮した利用促進事業を実施します
- 保育参観時に、読み聞かせの実施や、子どもの読書の重要性を伝え、子どもの読書推進を啓発します
- 保育所（園）や認定子ども園、幼稚園、小学校の図書館見学、中学生の職場体験学習、高校生の夏休みボランティアや就業体験、教職員の研修等を種々受け入れます
- 就学時健康診断時に、保護者等に向けてうちどくの紹介を行ない、子どもの読書の重要性を訴え、家族での読書推進を啓発します
- 保育所（園）、認定子ども園、幼稚園、小・中学校や各ボランティア団体に大型絵本・大型紙芝居や本の団体貸出を行います
- 図書館ボランティアや学校図書館ボランティアのスキルアップのための養成講座を実施します
- 企業や行政による補助や助成など、民間団体活動に関する情報の収集・提供や相談を実施します
- 子どもの読書に関するレファレンスサービスを充実させます
- 岩出市広報や図書館ニュース、学校等を通して、子どもの読書啓発チラシの配布など子どもの読書に関する情報を発信します

③ 民間団体等による子どもの読書活動の推進

岩出市には読み聞かせや紙芝居などを行う子ども向けグループ、読書会などを行う子どもの本の研究グループといった、子どもや子育て中の保護者等を支援するための活動を行うグループが数多くあり、それぞれ独自に子どもの読書活動の推進に熱心に取り組み、子どもが読書に親しむ機会を提供するなど地域に根ざした活動を行っています。こうした団体等が活動を展開するうえで課題となる子どもの読書に関する相談や図書資料・活動スペース等について、図書館等の支援・協力が望まれます。民間団体の活動に対する支援では、引き続き図書館において大型絵本や大型紙芝居の貸出を行い、読み聞かせボランティア等への活動を支援するとともに、情報提供等を行っていきます。

〔具体的な取組〕

- 民間団体等に対して図書資料の団体貸出・大型絵本や大型紙芝居を貸出します
- 民間団体等に対して活動場所の提供や情報の提供を行います
- スキルアップのための図書館ボランティア養成講座を実施します
- 民間団体等からの子ども読書に関する相談に応じます

（２）学校等における子どもの読書活動の推進

① 幼稚園や保育所（園）、認定子ども園、子育て支援センターにおける子どもの読書活動の推進

幼稚園や保育所（園）、認定子ども園、子育て支援センターでは、子どもたちがいつでも絵本を楽しめるように自分の手の届く場所に絵本を配置したり、保育士等による読み聞かせが日常的

に行われることから、子どもたちが生活の中で絵本を読んでもらう楽しさを知ります。そのため、幼稚園や保育所（園）、認定子ども園、子育て支援センターにおいては、子どもたちが絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うことが必要です。また、保護者に対しても子どもと絵本を読む楽しさ、心地よさ、家庭での読み聞かせ等の大切さ、意義を積極的に伝えていく必要があります。

〔具体的な取組〕

- 読み聞かせボランティアの協力を得て、読み聞かせなど本に親しむ活動を実施します
- 団体貸出などを活用して多様な本と出会う機会の確保に努めます
- 保護者等に対し、読書推進を啓発します
- 保育士等のスキルアップのため、子どもの読書活動推進に有効な資料や情報を収集し、実践します
- 岩出図書館から、子どもの読書活動推進に有効な資料や情報を保護者に提供します

② 児童生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実

学校は子どもたちの日常の学習活動等を通して、一人ひとりに望ましい読書習慣の形成を図ることが大切です。幼児期や小学生期における良質な本との出会いは、読書に対する興味・関心を広げます。中学生・高校生期における読書は、自我の確立に大きな影響を与えるものであり、それぞれの発達段階に応じた読書活動を展開する必要があります。このため、司書教諭や図書担当教職員、学校司書が連携して、児童生徒の読書意欲を高めるよう細やかな読書指導を進め、児童生徒の知識を吸収する欲求に応じて、本を手にすることをすすめる、本を読むことをすすめる役割を強く意識し、学校での子どもの読書活動の推進に努めていきます。学校ごとに子どもたちのニーズを把握しつつ、質の高い本、学習に役立つ本を収集し、適切な図書資料を提供するとともに、計画的・継続的な読書活動の促進に努めるよう学校全体で取り組んでいく必要があります。また、保護者等や学校図書館ボランティアの参加、図書館との協力など、家庭や地域との連携による読書活動の推進に努める必要があります。

〔具体的な取組〕

- 朝の読書などによる、学校全体で取り組む読書活動を促進し、読書習慣を確立します
- ブックリストや推薦図書の紹介、図書館の新刊情報の提供をします
- 団体貸出等、岩出図書館との連携を図ります
- 保護者等に対し、読書推進を啓発します
- 始業前や休み時間に、読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせを実施します
- 放課後子ども教室で本の読み聞かせを実施します
- 学童保育所で図書館ボランティアによる本の読み聞かせを実施します
- 図書館を使った調べる学習コンクールの地域コンクールを実施します
- うちどくにおすすめのブックリストや教科書に関連したブックリストなどのおすすめ本リストを活用し、児童生徒が本を手に取り読書をするきっかけ作りをします
- 学校図書館と子どもたちを結びつけるために、読書相談や調べ学習の充実を図り、情報活用能力を育てます
- 子どもたちへの読書指導と学校図書館の利用指導、図書委員や図書系の活動を支援します
- 学校・学校司書・図書館・地域が協働して、児童生徒の読書活動推進を実施します

（３）障害のある子どもの読書活動の推進

障害のある子どもにとって、読書体験は情緒の安定や言語の獲得等、自立に向けての生きる力につながる大切な経験となります。それぞれの子どもの障害等の状況や興味・関心に応じた本やさわる絵本、図書館ボランティアの協力で手作りされた布絵本、視聴覚資料等を提供し、合理的配慮に努めながら読書活動を積極的に進めていきます。

〔具体的な取組〕

- 点字本やさわる絵本、布絵本、録音図書等多様な資料の整備を充実させます
- 読み聞かせボランティアの協力を得て読み聞かせや対面朗読サービスを充実させます
- 図書館等における障害に対応した施設や設備を充実させます
- 図書館での滞在がより快適になるようなツールを気軽に利用しやすく提供します
- 読み聞かせボランティアによる特別支援学級への読み聞かせを実施します
- 図書館見学やおはなし会の開催など、要望に柔軟に対応しながら校外学習等を受入します

（４）学校・家庭・地域との連携による読書活動の推進

学校・家庭・地域との連携により、子どもの読書活動を推進するためには、図書館だよりや保護者会等を通して、読書の意義を説明することが必要です。家庭で読書に親しむ機会を作るように働きかけたり、地域と図書館との連携を通して、読み聞かせや読書に関する講演会・イベントの実施等を行っていくことが望まれます。

〔具体的な取組〕

- 関係機関や各ボランティアグループと連携して読み聞かせなどの本に親しむ活動を実施します
- 関係機関や各ボランティアグループと連携して各種行事の開催に努めます
- 関係機関や各ボランティアグループと連携して子どもが読書することの重要性を伝える活動を実施します

２ 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

（１）図書館・図書室の整備・充実

図書館は、子どもが学校外で本と出会い読書を楽しむことができる場であり、子どもの読書活動の推進に大きな役割を果たしています。そのため、岩出図書館、公民館図書室等の図書資料の充実や子どもが利用しやすい条件整備を整えていくことが必要です。また、岩出図書館は地域密着型図書館として、分館、分室との配本サービスやインターネット予約などの機能の充実や、分館、分室の立地条件や館内環境を生かした利用促進も積極的に実施し、地域における読書環境のさらなる発展に努めます。新たに、情報格差に配慮して、デジタルサイネージを閲覧室に設置し、図書館システムと連携した子どもページを公開します。インターネットが使えない子どもでも、容易にタッチパネルで操作でき、年齢に応じたおすすめ本や、ランキング、イベントなどの情報を受け取れるようにします。岩出図書館キャラクターのブックろうを効果的に使用して、子どもの興味関心をひきつけ、読書意欲を向上させるような工夫をします。

岩出図書館は岩出市文化文教ゾーンに位置し、ねごろ歴史の丘にもあることから、歴史、文化、観光の中心地であり、また大門池（市有地）の一部を埋め立てて建設したことにより池の水面を眺めながら、読書を楽しむことができる自然に恵まれた立地環境です。次代を担う子どもたちに郷土の歴史、文化に関心や理解を深め、より一層の郷土愛をもってもらえるよう、岩出のふるさと絵本や民話、和歌山県に関する資料の収集保存に努めます。

〔具体的な取組〕

- 子どもの読書活動に関する図書資料や読書情報の整備・充実に努めます
- 分館、分室との配本サービスやインターネット予約などの利用を促進します
- 分館、分室の立地条件や館内環境を生かした利用促進を実施します
- 子どもたちが落ち着いて本を読めるよう、児童コーナーなどのスペースを充実させます
- 10代の子どもたちに興味、関心を持ってもらえるようヤングアダルトコーナーを充実させます
- 10代の子どもたちの読書・学習意欲に応えられる図書の配置に努めます
- うちどくコーナーを設置します
- デジタルサイネージを閲覧室に設置し、図書館システムと連携した子どもページで、年齢に応じたおすすめ本や、ランキングなど、読書意欲を向上させる情報を発信します
- 岩出のふるさと絵本や民話など和歌山県に関する資料の収集、保存に努めます
- 図書館サービス向上のため、近隣公共図書館との交流、情報交換、協力貸出をします
- 子ども向けウェブサイトを充実させます

（２）学校図書館の整備・充実

学校は、子どもたちが一日の大半を過ごし、学習の場でもあります。学校図書館は学校において読書を楽しむことができる場であるとともに、読書活動や読書指導の場として、子どもたちの豊かな心を育み、自主的な学習活動を支援するという重要な役割を果たしています。

学校図書館法において、学校図書館は「学校教育において欠くことのできない基礎的な設備」であり、「学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備」であるとされています。児童生徒の読書活動や読書指導の場である「読書センター」、学習活動の支援や授業の内容を豊かにしてその理解を深める「学習センター」、さらには、情報ニーズへの対応、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」という学校図書館の持つ3つの機能を充実させるとともに、その機能を十分に発揮できるようにしていくことが重要です。学校図書館が、児童生徒の豊かな心を育む役割を果たすことができるよう、児童生徒の発達段階等を踏まえ、教育課程の展開に寄与するような図書資料の整備を進めるとともに、岩出図書館や民間団体等との連携・協力しながら司書教諭や図書担当教職員、学校司書を中心に、すべての教職員がそれぞれに求められる役割を果たし、学校図書館を積極的に活用して主体的・対話的で深い学びの実現に役立てるなど、更なる教育活動の充実とともにその質の向上に努める必要があります。

〔具体的な取組〕

- 学校図書館の機能の充実に努めます
- 児童生徒が自ら資料を探ることができるように配慮・工夫します
- 児童生徒の読書意欲の喚起、調べ学習や探求的な学習に資するよう配慮・工夫します
- 図書資料の計画的な整備、充実に努めます
- 司書教諭及び教職員と学校司書との協力体制・連携の強化に努めます
- 図書館や民間団体等との連携・協力を努めます
- コンピュータを活用した情報化を促進します

（３）幼稚園や保育所（園）、認定子ども園、子育て支援センターにおける読書時間確保等の工夫

幼児期からの読書習慣づくりをするために、幼稚園や保育所（園）、認定子ども園、子育て支

援センターにおいては、子どもたちが絵本などに触れて親しむきっかけをつくるなどの読書環境づくりが大切です。子どもたちが、安心して本に触れることのできる時間を確保できるよう、絵本コーナーを充実させ、保護者との連携・協力により子どもたちに絵本の楽しさが伝わるような絵本を選ぶなどの工夫が必要です。また、蔵書数には限りがあるため、岩出図書館の団体貸出や大型絵本や大型紙芝居の貸出を利用するなど、子どもたちが興味、関心をもつような取組が望まれます。

〔具体的な取組〕

- 子どもたちが絵本を楽しめるように、絵本コーナーづくりを工夫します
- 絵本コーナーを活用し、子どもたちに家庭への絵本の貸出をします
- 保護者等に、子どもの発達段階に応じた本や絵本を紹介します
- 岩出図書館の団体貸出を利用し、さまざまな絵本・紙芝居等を用いて子どもの興味関心を引き出し、絵本が好きになるような読み聞かせをします
- 岩出図書館と連携して、図書館発行の読書啓発チラシの配布や、保護者参観時の訪問おはなし会等を開催します

（４）子どもの読書活動の推進に係る体制の整備

子どもの読書活動を推進していくためには、子ども読書にかかわる機関や民間団体等から幅広い意見を聴取し、地域社会全体で連携して子どもの読書を推進する体制の整備が重要です。岩出図書館を中核施設としながら、ボランティア団体等のネットワーク化など連携・協力関係を進め、子どもの読書活動を地域全体で推進する体制の整備に努めます。

〔具体的な取組〕

- 図書館、学校、民間団体、行政等からなる「子ども読書活動推進会議」を開催します
- 子どもの読書活動や読み聞かせ等の図書館ボランティアに関する情報を提供します
- 読み聞かせボランティア等からの読書活動に関わる相談に応じます
- 読み聞かせボランティア等のネットワーク化の促進を図ります
- 総合保健福祉センターや保育所等の関係機関と地域との連携・協力を努めます
- 図書館ボランティア等の派遣を行います
- 図書館司書のスキルアップのため研修等を実施します
- 学校司書を市内小・中学校に派遣します

３ 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

「子ども読書の日」（４月２３日）及び「こどもの読書週間」（４月２３日～５月１２日）及び「岩出市子ども読書の日」（３月第３土曜日）に、子どもの読書活動についての理解を深めるとともに、子どもたちが積極的に読書活動を行う意欲を高めるための事業や児童書の展示を実施しています。読書活動の意義や優れた取組、図書資料等の情報について、広報による啓発を行い、子どもの読書活動を積極的に推進します。

〔具体的な取組〕

- 「子ども読書の日」「こどもの読書週間」「岩出市子ども読書の日」に様々なイベントを実施します
- 「第３次岩出市子ども読書活動推進計画」の周知をします
- 子どもの読書活動に関する特色ある取組等の情報収集や情報提供をします
- 子どもの読書活動に関するウェブサイトの充実を努めます

参 考 資 料

○ 用 語 解 説 （50音順）

アニメーション

スペインのジャーナリストであるモンセラット・サルト（Montserrat Sarto）が、子どもたちに読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すために 1970 年代から開発した、グループ参加型の読書指導メソッド。アニメーションはラテン語のアニマ（魂・生命）に端を発し、人間の魂・生命を活性化するという意味。75 種類にまとめられた個々の手法は「作戦」と呼ばれ、物語や詩の中にわざと間違いを入れて読み聞かせた上で間違いを探させたり、あらすじをクイズにして出題したりといったさまざまなプログラムがあり、深く読む習慣、読解力、コミュニケーション能力を養うことを目指す。日本には 1997 年に刊行された『読書で遊ぼうアニメーション：本が大好きになる 25 のゲーム』（モンセラット・サルト＝著 佐藤美智代＝訳 青柳啓子＝訳 柏書房）により紹介され、自分の考えで読み解き、伝えられる主体的な読み手を育てる試みとして注目されている。

インターネット予約

家庭等のパソコンやスマートフォンから、岩出市立岩出図書館所蔵の本が予約できるサービス。利用できるのは、市内に在住あるいは、通勤、通学していて、岩出市立岩出図書館のカードを持っている方。インターネットで予約するためには、岩出図書館のウェブサイトなどでパスワードの取得が必要。

うちどく

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味する。家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書運動。

うちどくコーナー

うちどくノートに収録している、「うちどくにおすすめのブックリスト」に掲載している本や、関連する本を集めた図書館の展示コーナー。

うちどくノート

うちどく活動をすすめるための、「わがやの「うちどく」のルール」、「書き込みノート」、「うちどくにおすすめのブックリスト」、「読書の記録」からなるA5サイズの岩出図書館発行の小冊子。ブックリストは小学1～3年生向け、4～6年生向け、中学生向けの3種類あり、市内小・中学生全員に学校を通して配布している。

課題図書

青少年読書感想文全国コンクールの対象図書の中の課題読書の対象となる本。

学校司書

学校で勤務する司書の資格を持つ専門職員。司書教諭を補佐し、学校図書館機能の充実と活性化のために、市町村が独自に配置している。岩出市では岩出図書館に勤務している司書が、学校司書として派遣されている。

子ども読書年

平成12年（2000年）5月5日のこどもの日に、国立国際子ども図書館が開館するのを記念して、

2000年を「新しい世紀に向かって、いっぱい本を読もう」という年にする国会決議が平成11年（1999年）8月になされた。参議院は村上正邦議員（国際子ども図書館設立推進議員連盟会長）、衆議員は肥田美代子議員（同議員連盟事務局長）が決議案を提案、日本の国会史上初めて、「読書」推進事業を両院で決議、採択。小渕総理大臣が所信表明を行った。

子ども読書の日

国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、4月23日を子ども読書の日としている。2001年（平成13）12月12日、公布・施行された。「子どもの読書活動の推進に関する法律」により定められている。

コミュニケーションボード

知的障害、聴覚障害、発達障害、精神障害などがある人のコミュニケーション支援を目的として作成された図版。指さして用いることが想定されている。

さわる絵本

視覚障害児にも絵本の楽しさを伝え、手で触れることで理解できるように工夫している絵本。

デジタルサイネージ

従来の看板や紙のポスターに代え、液晶ディスプレイやLEDを用いた映像表示装置などのデジタル映像機器を使い、情報を発信するシステムの総称。液晶ディスプレイや、LED表示装置などのデジタル映像機器とデジタル化されたコンテンツを組み合わせ、表示を簡単に変えることができるため、店頭・店内・屋外・公共空間・交通機関・オフィスなど様々な場所で活用されている。

図書館ボランティア

主に岩出図書館で活動を行うボランティア。岩出図書館開館当初から、おはなし会、映画会の開催のほかチラシ作成や図書館の案内、布絵本の創作、本の補修、展示物の作成など様々な活動を行っている。

図書館を使った調べる学習コンクール

公益財団法人図書館振興財団が主催する図書館活用の促進と調べる学習の普及を目的としたコンクール。平成29年度に岩出市教育委員会主催で地域コンクールが実施された。

日本十進分類法（NDC）

図書館での図書の効率的利用を図るための分類法で、アメリカのデューイ十進分類法を日本向けに改編し、1928年（昭和3）に森清が発表した。現在では全国の公共図書館や大学図書館等で採用されている。英語で表した言い方を短くして、NDC（エヌディーシー）とも呼ぶ。全ての本をその本の内容や種類によって分類しており、図書館資料の背ラベルに書いてある数字の記号は、この方法でつけられている。

ねごろ歴史の丘

ねごろ歴史資料館や旧和歌山県会議事堂（一乗閣）を中心とした、根来寺周辺の歴史と文化を伝える地域のこと。この区域内で、2017年（平成29）4月に道の駅「ねごろ歴史の丘」が認定され、岩出市の観光の中心地域となっている。

配本サービス

岩出図書館を拠点として、駅前ライブラリー、総合保健福祉センター図書室、中央公民館図書室、上岩出地区公民館図書室を結び、予約図書や返却された図書を集配するサービス。

ビブリオバトル

発表者（バトラー）がおすすめの本の魅力を5分間で紹介し合い、参加者全員で「1番読みたくなった本」（チャンプ本）を投票で決める書評ゲームで、知的書評合戦とも呼ばれる。2007年（平成19）谷口忠大により考案され、京都大学で行なわれたのが始まり。

ブックスタート

すべての乳児と保護者を対象に、早い時期から絵本を介してかけがえのないひとときを持つことを応援し、生涯にわたる本への愛情を育む機会を与えるために、絵本等を手渡す運動。

ブックトーク

1つのテーマに基づいて、何冊かの本を一定のシナリオに沿って紹介する技法で、聞き手自身が読書の楽しみに気づき、読書意欲を起こさせるようにすることを目的に行なわれる。

ブックリスト

ある基準や、あるテーマで選択した本を紹介する簡単な一覧。子ども向けの場合、子どもが本を読む手がかりになるように作られている。書名、作者、出版社等のほかに、簡単な内容紹介文をつけている。形態は、1枚の紙を折りたたんだものや、パンフレット状のもの等、様々である。

ブックろう

2016年（平成28）に開館10周年を記念して、名前を公募した、ふくろうがモチーフの岩出図書館キャラクター。

放課後子ども教室

子どもの放課後の居場所づくりとして取り組んでいる事業。子どもたちが放課後を安全に安心して過ごせるように、小学校の余裕教室等を活用して、地域住民（安全指導員・学習アドバイザー）と一緒に学習や企画行事（茶道、運動、お菓子作り等）をして過ごしている。岩出市では市内全小学校で、それぞれ全児童を対象に登録制で開室している。

訪問おはなし会

市内の保育所（園）、認定こども園の保育参観の日程に合わせて、読み聞かせボランティアによる読み聞かせと、家庭での読書の大切さを伝える岩出図書館の子どもの読書活動推進のための啓発活動。

持ち込みによる自習

本来の図書館資料を使った調査・研究目的の調べ学習ではなく、自学・自習のために、持ち込みの資料で学習すること。

ヤングアダルト

おおむね12歳から18歳までの青年期利用者に対して、公共図書館が使用している言葉。

ユニバーサルデザイン

年齢、性別、身体的状況、国籍、言語、知識、経験などの違いに関係なく、すべての人が使いこなすことのできる製品や環境などのデザインを旨とする概念。

読み聞かせボランティア

児童、幼児に民話、創作よみもののおはなしや読み聞かせを行うボランティア。

ライトノベル

10代から20代の読者を想定した、娯楽性の高い小説。会話文を多用するなどして、気軽に読める内容のものが多く、「ラノベ」ともいう。

リーディングトラッカー

ディスレクシア（読み書き困難、読字障害等）のある人や視覚障害（視野狭窄や黄斑変性など）のある人の読書をサポートする定規のような形状の読書補助具。読みたい行だけに視点を集中し文章を読むことができ、集中して読書をしたい人にも便利。リーディングスリットやタイポスコープとも呼ばれる。

レファレンスサービス

情報を求めている利用者に対して、回答となる情報を提供したり、回答の含まれる情報源を提示、提供したりする図書館の利用サービス。



岩出図書館キャラクター ブックろう

7か月児保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. お子さんは絵本が好きですか。

1. 好き 2. 嫌い 3. わからない

Q2. お子さんといっしょに絵本を見たり、読んだりする機会はありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない

Q3. Q2で「3. あまりない」と答えた方にお聞きます。その理由は何ですか。

1. 時間がない 2. 必要がない 3. 子どもが要求しない 4. 面倒 5. 絵本がない
6. 何を読んでいいかわからない 7. その他()

Q4. 家庭でお子さんに絵本を読んであげるのは、おもに誰ですか。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. 兄姉 5. その他()

Q5. 家族間で、お子さんに読んでいる絵本や読んであげたい絵本について、話しあいますか。

1. よく話しあう 2. 時々話しあう 3. あまり話しあわない

Q6. お子さんに絵本を読んであげることは、大切だと思いますか。

1. 大切だと思う 2. あまり大切だとは思わない 3. どちらともいえない

Q7. お子さんに読んであげる絵本は、どちらで入手されますか。

1. 書店等で購入 2. 図書館で借りる 3. その他()

Q8. お子さんに読んであげる絵本は、どんな内容ですか。

1. おはなし 2. 紙芝居 3. 乗り物・虫・動物 4. 昔話 5. テレビなどのキャラクター本
6. その他()

Q9. 岩出図書館についてお聞きます。図書館はどれくらい利用しますか。

1. 週1回以上 2. 月1、2回程度 3. 年に数回 4. 利用していない

Q10. 次の図書館の子ども向け行事の中で参加したことのある行事があれば、○してください。(複数回答可)

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 1・2以外のイベント 4. 参加したことがない

Q11. 図書館のイベントで参加したいものはどれですか。

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 体操など 4. リトミック 5. わらべうた・童謡
6. その他()

Q12. どうすればお子さんがもっと絵本が好きになるとおもいますか。

1. 図書館に行く 2. 家庭で絵本を手に取りやすいところに置き、話題にする 3. 読み聞かせの機会を増やす
4. 大人が本を読む(読んでいる姿をみせる) 5. テレビの時間を減らす 6. その他()

*子どもと本についての意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

保育所保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. お子さんは、何歳児ですか。

1. 1歳児 2. 2歳児 3. 3歳児 4. 4歳児 5. 5歳児

Q2. お子さんは本(絵本)が好きですか。

1. 好き 2. 嫌い 3. わからない

Q3. お子さんといっしょに本(絵本)を見たり、読んだりする機会はありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない

Q4. Q2で「3. あまりない」と答えた方にお聞きます。その理由は何ですか。

1. 時間がない 2. 必要がない 3. 子どもが要求しない 4. 面倒 5. 本がない
6. 何を読んでいいかわからない 7. 子どもが自分で読む 8. その他()

Q5. 家庭でお子さんに本(絵本)を読んであげるのは、おもに誰ですか。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. 兄弟 5. その他()

Q6. 家族間で、お子さんが読んでいる本(絵本)や読ませたい本(絵本)について話しあいますか。

1. よく話しあう 2. 時々話しあう 3. あまり話しあわない

Q7. お子さんに本(絵本)を読んであげることは、大切だと思いますか。

1. 大切だと思う 2. あまり大切だとは思わない 3. どちらともいえない

Q8. お子さんに読んであげる本(絵本)は、どちらで入手されますか。

1. 書店等で購入 2. 図書館で借りる 3. その他()

Q9. お子さんに読んであげる本は、どんな本ですか。

1. 絵本 2. 紙芝居 3. 乗り物・虫・動物 4. 読み物・昔話 5. テレビなどのキャラクター本
6. 図鑑 7. その他()

Q10. 岩出図書館についてお聞きます。図書館はどれくらい利用しますか。

1. 週1回以上 2. 月1、2回程度 3. 年に数回 4. 利用していない

Q11. 次の図書館の子ども向け行事の中で参加したことのある行事があれば、○してください。(複数回答可)

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 1・2以外のイベント 4. 参加したことがない

Q12. 図書館のイベントで参加したいものはどれですか。

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 体操など 4. リズム 5. わらべうた・童謡
6. その他()

Q13. どうすればお子さんがもっと本を読むようになるとおもいますか。

1. 図書館に行く 2. 家庭で本を身近に置き、話題にする 3. 読み聞かせの機会を増やす
4. 大人が本を読む(読んでいる姿をみせる) 5. 保育所でたくさん読み聞かせしてもらう
6. テレビやゲームの時間を減らす 7. その他()

* 子どもと本についての意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

②小学3年生のみなさまへのアンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミック、ざっしをのぞく)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3とこたえた人へ…何を读みますか。(いくつでも)

1. 物語 2. テーマの本 3. 学習マンガ 4. 絵本 5. その他()

Q3. Q1で、1・2とこたえた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. いろいろなことを知ることができるから 3. 先生が読んでくれるから 4. 家族がよく本を読むから
5. 学校図書館の司書が本をしょうかいしてくれるから 6. その他()

Q4. Q1で、3・4とこたえた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 学校図書館や図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を读んでいいかわからない 6. 本を読むのがきらい 7. その他()

Q5. うちどくノートを使っていますか。

1. よくつかう 2. 時々つかう 3. あまりつかわない 4. しゅくだいになったときだけつかう

Q6. だれとうちどくノートを書きますか。

1. 家族と書く 2. ともだちと書く 3. ひとりで書く 4. その他()

Q7. 学校図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. おしゃべり 5. 司書に会いに 6. その他()

Q8. 学校図書館へ、いつ行きますか。(いくつでも)

1. 休み時間 2. ほかご 3. 司書がいるとき 4. ほとんど行かない 5. その他()

Q9. 学校図書館に読みたい本がありますか。

1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

Q10. 岩出図書館から学校図書館に司書が来るようになってどう思いますか。(いくつでも)

1. 前より学校図書館に行きたくなった 2. 読みたいと思う本が増えた 3. 調べ物がしやすくなった
4. 図書の時間がもっとほしい 5. 何も思わない 6. その他()

Q11. 岩出図書館についてお聞きします。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q12. Q11 で、1～3とこたえた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 学校司書に会いに行く 5. 催し物もよおに参加する
6. CD・ビデオを借りる 7. その他()

Q13. さいきん最近読んで面白おもしろかった本を教えてください。(コミック、ざっしをのぞく)

1. 本の題名() 2. ない

ごきょうりよくありがとうございました

②小学6年生のみな様へのアンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミック、雑誌をのぞく)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3と答えた人へ…何を 읽습니다か。(いくつでも)

1. 物語 2. テーマの本 3. 学習マンガ 4. 絵本 5. その他()

Q3. Q1で、1・2と答えた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. いろいろなことを知ることができるから 3. 先生が読んでくれるから 4. 家族がよく本を読むから
5. 学校図書館の司書が本をしょうかいしてくれるから 6. その他()

Q4. Q1で、3・4と答えた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 学校図書館や図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を読んでいいかわからない 6. 本を読むのがきらい 7. その他()

Q5. うちどくノートを使っていますか。

1. よく使う 2. 時々使う 3. あまり使わない 4. 宿題になった時だけ使う

Q6. だれとうちどくノートを書きますか。

1. 家族と書く 2. 友達と書く 3. 一人で書く 4. その他()

Q7. 学校図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. おしゃべり 5. 司書に会いに 6. その他()

Q8. 学校図書館へ、いつ行きますか。(いくつでも)

1. 休み時間 2. 放課後 3. 司書がいるとき 4. ほとんど行かない 5. その他()

Q9. 学校図書館に読みたい本がありますか。

1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

Q10. 岩出図書館から学校図書館に司書が来るようになってどうおもいますか。(いくつでも)

1. 前より学校図書館に行きたくなった 2. 読みたいと思う本が増えた 3. 調べ物がしやすくなった
4. 図書の時間がもっとほしい 5. 何も思わない 6. その他()

Q11. 岩出図書館についてお聞きします。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. 時々する 3. ほとんどない 4. したことがない

Q12. Q11 で、1～3とこたえた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 学校司書に会いに行く 5. 催し物もよおに参加する
6. CD・ビデオを借りる 7. その他()

Q13. さいきん 最近読んで面白おもしろかった本を教えてください。(コミック、雑誌をのぞく)

1. 本の題名() 2. ない

ご協力ありがとうございました

②中学2年生の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3とこたえた人へ…何を 읽습니다か。(いくつでも)

1. よみもの 2. テーマの本 3. 学習マンガ 4. 絵本 5. その他()

Q3. Q1で、1・2とこたえた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. いろいろなことを知ることができるから 3. 先生が紹介してくれる 4. 家族がよく本を読むから
5. 学校図書館の司書が本を紹介してくれるから 6. その他()

Q4. Q1で、3・4とこたえた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 学校図書館や図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を読んでいいかわからない 6. 本を読むのが嫌い 7. その他()

Q5. うちどくノートを使っていますか。

1. よく使う 2. 時々使う 3. あまり使わない 4. 宿題になった時だけ使う

Q6. だれとうちどくノートを書きますか。

1. 家族と書く 2. 友達と書く 3. 一人で書く 4. その他()

Q7. 自分で大切にしている、気に入った本があったら教えてください。(コミックや雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

Q8. 学校図書館へ、いつ行きますか。(いくつでも)

1. 休み時間に行く 2. 放課後に行く 3. 司書がいるとき 4. ほとんど行かない 5. その他()

Q9. 学校図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. おしゃべり 5. 司書に会いに 6. その他()

Q10. 学校図書館に読みたい本がありますか。

1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

Q11. 岩出図書館から学校図書室に司書が派遣されるようになってどう思いますか。(いくつでも)

1. 前より図書館に行くようになった 2. 読みたいと思う本が増えた 3. 調べ物がしやすくなった
4. 図書の時間がもっと欲しい 5. 何も思わない 6. その他()

Q12. 岩出図書館についてお聞きます。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. 時々する 3. ほとんどない 4. したことがない

Q13. Q12で、1～3とこたえた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 学校司書に会いに行く 5. 催し物に参加する
6. CD・ビデオを借りる 7. その他()

Q14. 最近読んで面白かった本を教えてください。(コミックや雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

ご協力ありがとうございました

①小学生保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3とこたえた人へ…何を 읽습니다か。(いくつでも)

1. よみもの 2. 実用書 3. 専門書 4. その他()

Q3. Q1で、1・2とこたえた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. 情報や知識を得るため 3. 感性が豊かになるから 4. その他()

Q4. Q1で、3・4とこたえた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を讀んでいいかわからない 6. 本を読むのが嫌い 7. その他()

Q5. 子どもと一緒に本を読んだり、今まで子どもに昔話や本をよんであげたりしたことはありますか。

1. ある 2. 時々ある 3. ない

Q6. うちどくノートを使っていますか。

1. よく使う 2. 時々使う 3. あまり使わない 4. 宿題になった時だけ使う

Q7. うちどくノートを使って、子どもと同じ本を読んでいますか。

1. 読んでいる 2. 読んでいない 3. 子どもが一人です 4. その他()

Q8. あなたがいままで読んだ本の中で、子どもと一緒に読みたい本を教えてください。(コミック、雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

Q9. 子どもが本を読むのは良いことだと思いますか。

1. 思う 2. ゲームやマンガよりはいい 3. どちらでもない 4. 思わない 5. その他()

Q10. 子どもが読書を楽しむために必要なことは何ですか。また、していることはありますか。

1. 親子で本を読む 2. 本について話す 3. 図書館に行く 4. 本を購入する 5. 学校で読書の時間を増やす
6. その他() 7. 特に何もしていない

Q11. どうすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか。

1. 図書館に行く 2. 家庭で身近に本を置き話題にする 3. 読み聞かせの機会を増やす
4. 大人が本を読む(読んでいる姿をみせる) 5. 学校で読書の時間を増やす 6. テレビやゲームの時間を減らす
7. その他()

Q12. 岩出図書館から学校図書館に司書が派遣されていますが、司書が派遣されてから子どもに変化はありましたか。

1. あった → 変化の内容()
2. 特にない 3. 派遣されていることを知らなかった

Q13. 学校図書館に司書が行くことについて、どう思いますか。

1. いいことだ 2. 行かなくていい 3. わからない 4. その他()

Q14. 岩出図書館についてお聞きます。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q15. Q14 で、1～3とこたえた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 催し物に参加する 5. CD・ビデオを借りる
6. その他()

Q16. 子どもと本についてなど、意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

①中学生保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3とこたえた人へ…何を 읽습니다か。(いくつでも)

1. よみもの 2. 実用書 3. 専門書 4. その他()

Q3. Q1で、1・2とこたえた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. 情報や知識を得るため 3. 感性が豊かになるから 4. その他()

Q4. Q1で、3・4とこたえた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を讀んでいいかわからない 6. 本を読むのが嫌い 7. その他()

Q5. 子どもと一緒に本を読んだり、今まで子どもに昔話や本をよんであげたりしたことはありますか。

1. ある 2. 時々ある 3. ない

Q6. うちどくノートを使っていますか。

1. よく使う 2. 時々使う 3. あまり使わない 4. 宿題になった時だけ使う

Q7. うちどくノートを使って、子どもと同じ本を讀んでいますか。

1. 讀んでいる 2. 讀んでいない 3. 子どもが一人でする 4. その他()

Q8. あなたがいままで讀んだ本の中で、子どもと一緒に読みたい本を教えてください。(コミック、雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

Q9. 子どもが本を読むのは良いことだと思いますか。

1. 思う 2. ゲームやマンガよりはいい 3. どちらでもない 4. 思わない 5. その他()

Q10. 子どもが読書を楽しむために必要なことは何ですか。また、していることはありますか。

1. 親子で本を読む 2. 本について話す 3. 図書館に行く 4. 本を購入する 5. 学校で読書の時間を増やす
6. その他() 7. 特に何もしていない

Q11. どうすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか。

1. 図書館に行く 2. 家庭で身近に本を置き話題にする 3. 読み聞かせの機会を増やす
4. 大人が本を読む(讀んでいる姿をみせる) 5. 学校で読書の時間を増やす 6. テレビやゲームの時間を減らす
7. その他()

Q12. 岩出図書館から学校図書館に司書が派遣されていますが、司書が派遣されてから子どもに変化はありましたか。

1. あった → 変化の内容()
2. 特にない 3. 派遣されていることを知らなかった

Q13. 学校図書館に司書が行くことについて、どう思いますか。

1. いいことだ 2. 行かなくていい 3. わからない 4. その他()

Q14. 岩出図書館についてお聞きます。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q15. Q14 で、1～3とこたえた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 催し物に参加する 5. CD・ビデオを借りる
6. その他()

Q16. 子どもと本についてなど、意見・感想があればお書きください。

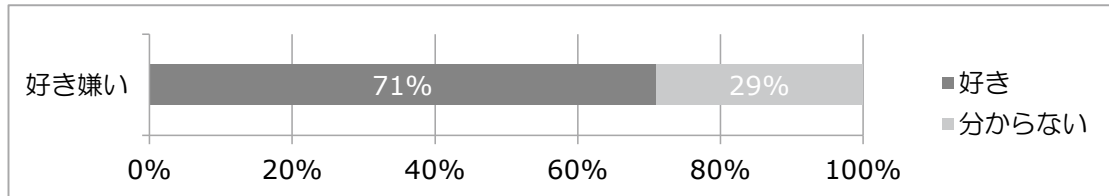
()

ご協力ありがとうございました。

アンケート結果

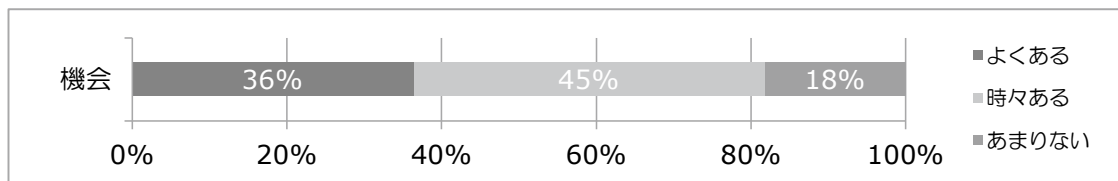
乳幼児（7か月）保護者

問1 お子さんは本が好きですか

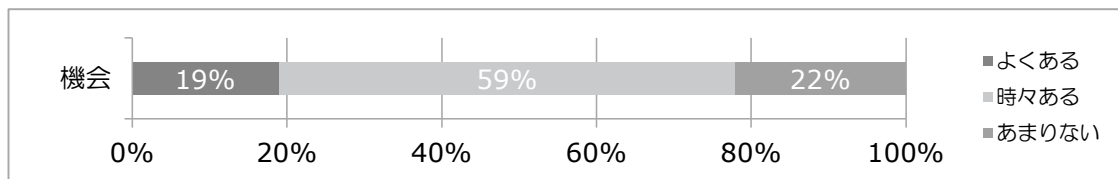


絵本が好きであるかという問いでは、「好き」が71%となっており、「分からない」が29%となっている。

問2 お子さんと一緒に絵本を見たり、読んだりする機会がありますか

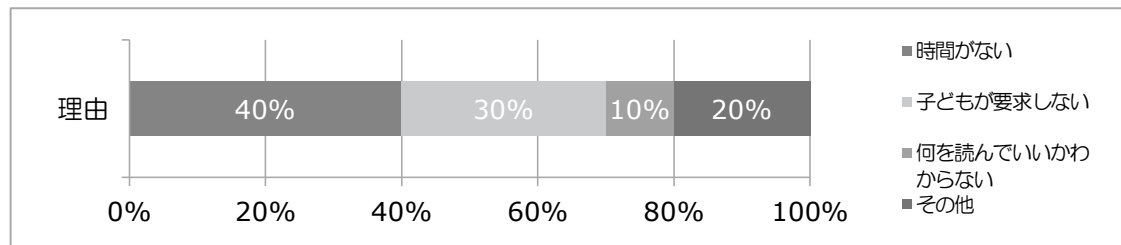


第2次策定時のアンケート結果



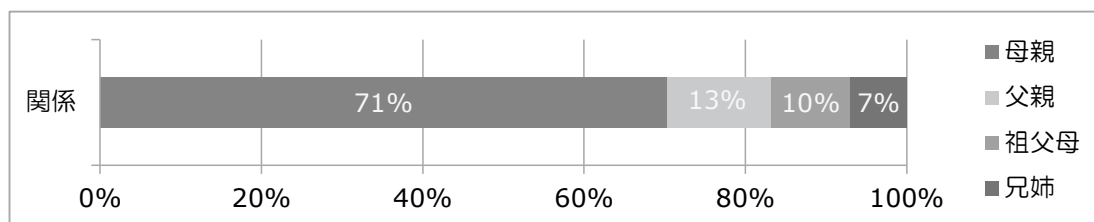
子どもに読み聞かせをしているかという問いでは、第2次策定時では「よくある」が19%、「時々ある」が59%、今回は、「よくある」が36%、「時々ある」が45%とほとんどの家庭で子どもに対して読み聞かせをしていると答えている。

問3 問3であまりないと答えた理由は何ですか（あまりないを選択した方のみ回答）

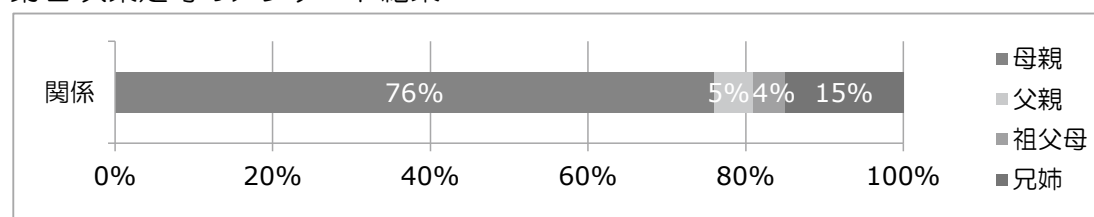


子どもと一緒に絵本を見る機会があまりない理由としては、「時間がない」が40%と最も多く、次いで「子どもが要求しない」が30%、「その他」20%、「何を読んでいいかわからない」10%となっている。

問4 家庭でお子さんに絵本を読んであげるのは、おもに誰ですか

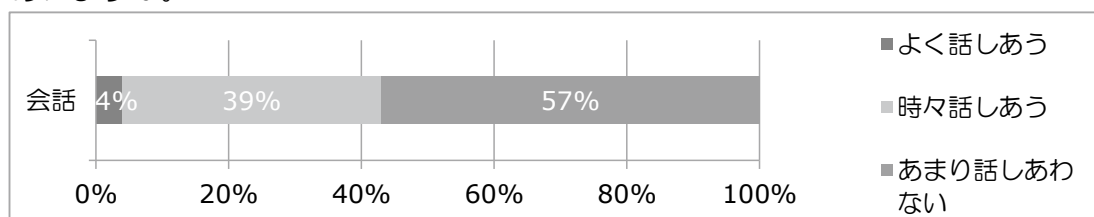


第2次策定時のアンケート結果



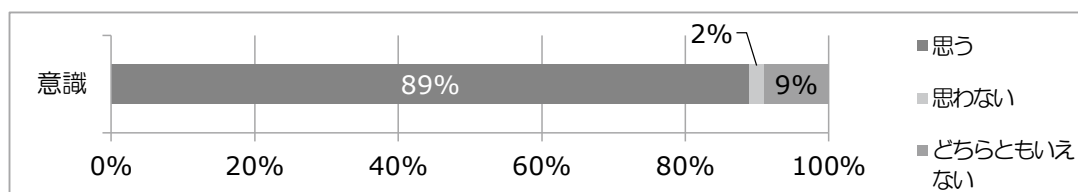
家庭で子どもに読み聞かせを行うのは、第2次策定時、今回とも「母親」が76%、71%と最も多くなっている。

問5 家族間で、お子さんに読んでいる絵本や、読んであげたい絵本について話しますか。

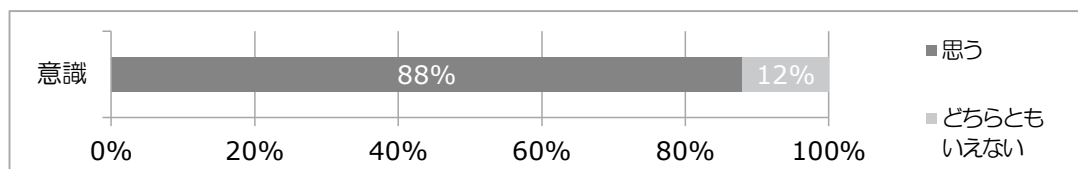


子どもに読んでいる絵本について話題にするかという問いでは、「あまり話しあわない」57%とあまり家庭では本を話題にしていないと答えている。

問6 お子さんに絵本を読んであげることは、大切だと思いますか

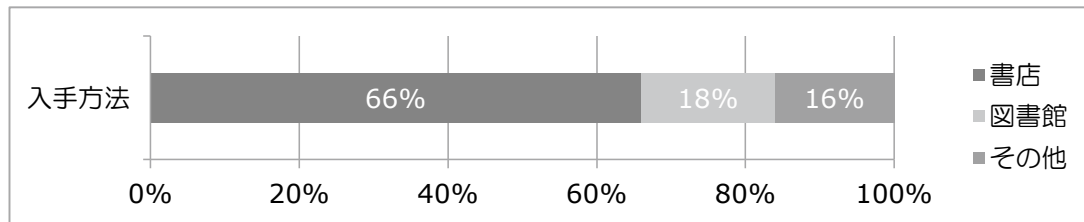


第2次策定時のアンケート結果



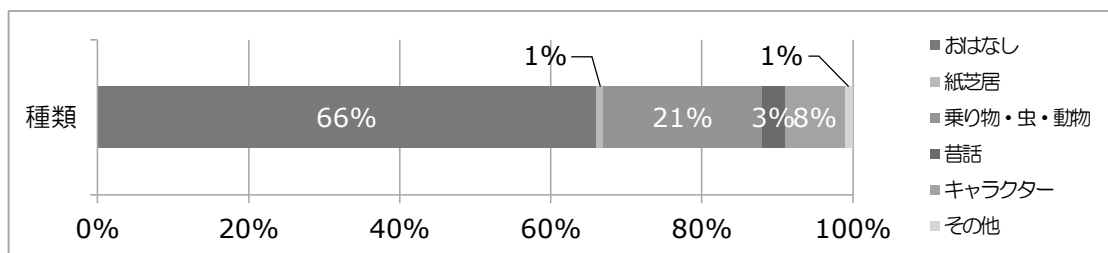
子どもに絵本を読んであげることに對して、第2次策定時、今回とも大切だと「思う」が88%、89%でほとんどの人が大切だと思っている。

問7 お子さんに読んであげる本は、どちらで入手されますか



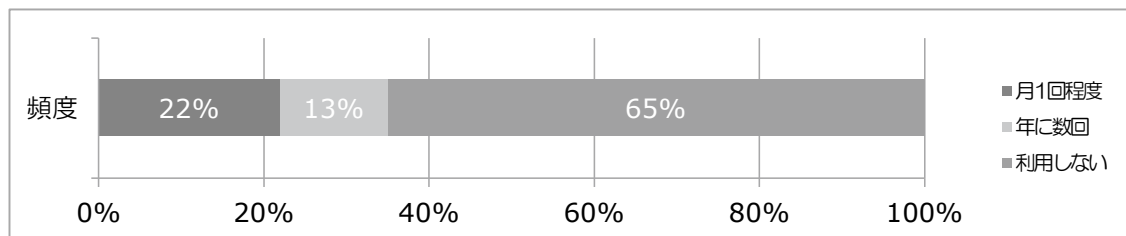
子どもに読んであげる絵本は「書店等で購入」が66%、「図書館で借りる」が18%、「その他」が16%となっている。その他の回答では、「プレゼント」、「子どものところに読んでもらっていた本」等があった。

問8 お子さんに読んであげる絵本は、どんな内容ですか

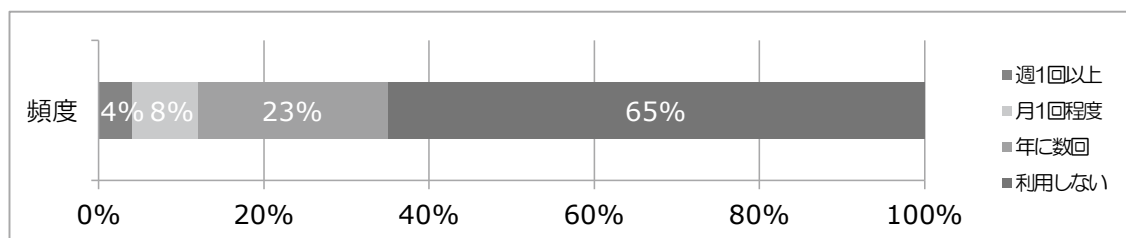


子どもに読んであげる絵本の種類については、「おはなし」が66%と最も多く、次いで「乗り物・虫・動物」が21%となっている。

問9 図書館はどれくらい利用しますか

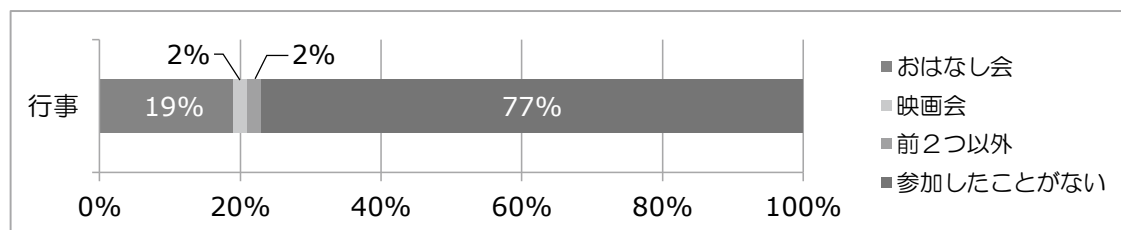


第2次策定時のアンケート結果



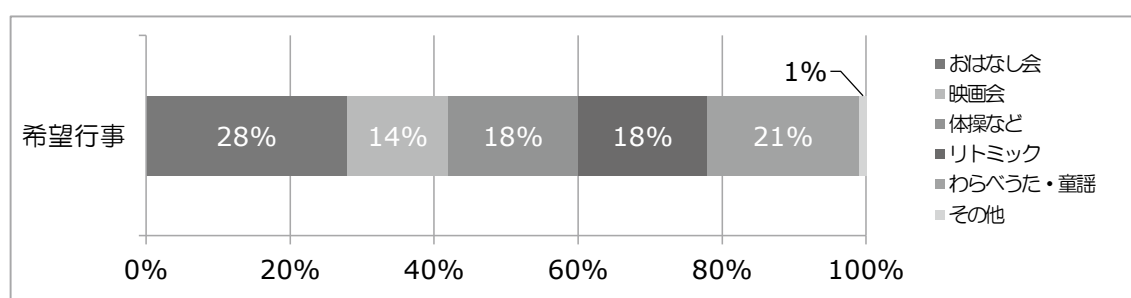
図書館の利用頻度は「利用しない」が第2次策定時、今回とも65%となっており、あまり利用されていない。

問１０ 次の図書館の子ども向け行事のなかで参加した行事がありますか



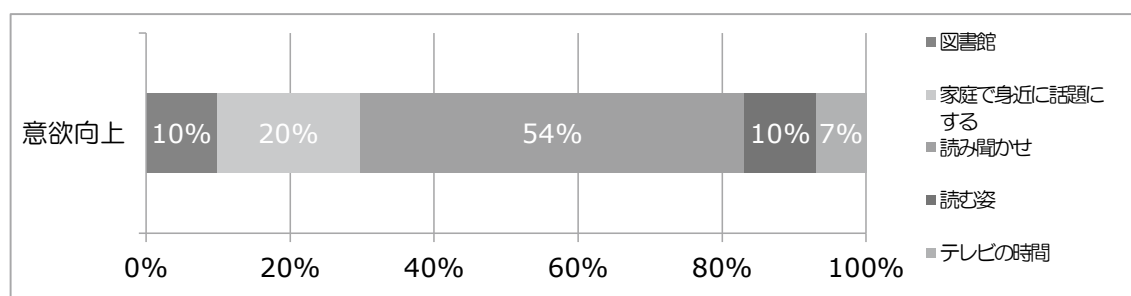
図書館での子ども向け行事に、「参加したことがない」が77%で最も多かった。

問１１ 図書館のイベントで参加したいものはどれですか



参加したいイベントは、「おはなし会」が28%と最も多く、次いで「わらべうた・童謡」21%、その他の回答では「よくわからない」などがあつた。

問１２ どうすればお子さんがもっと絵本が好きになるとおもいますか



子どもが本を読むようになる方法について、「読み聞かせの機会を増やす」が54%と最も多く、次いで「家庭で絵本を手に取りやすいところに置き、話題にする」が20%となっている。

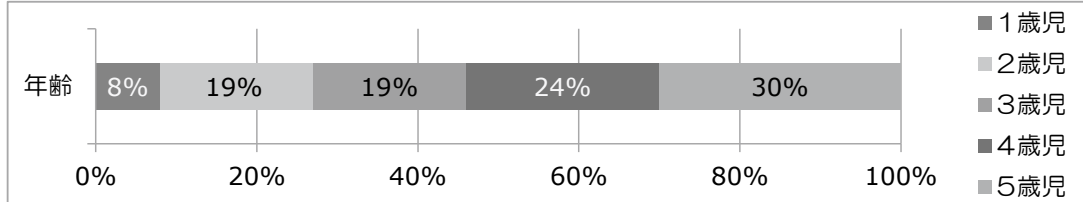
※ 子どもと本についての意見・感想（自由記述）

大切だろうなとは思うけど、じっとしていないのと、何でも掴みたがるようになってきたので、ちゃんと読める気がしない。

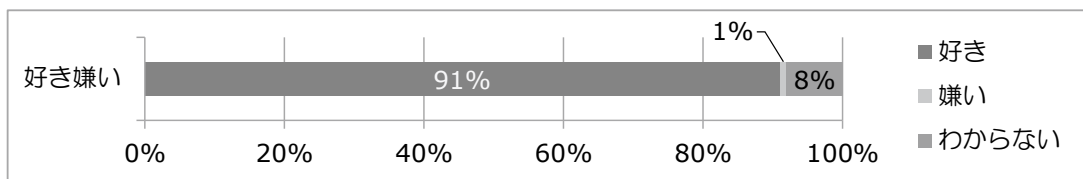
岩出図書館は本の弁償に厳しい規則なので、子どもに気軽に本を読ませることが出来ません。子どもの本はボロボロくらいが当たり前で良いと思うのですが…。

保育所児保護者

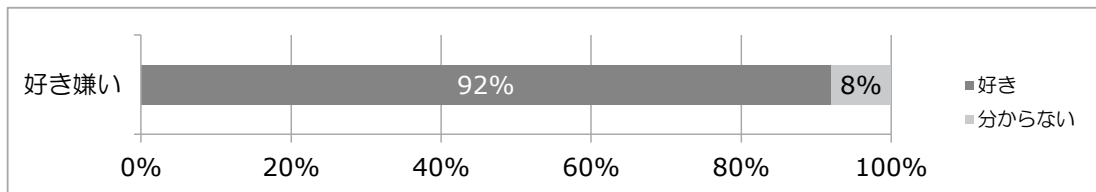
問1 お子さんは何歳児ですか



問2 おさんは本（絵本）が好きですか

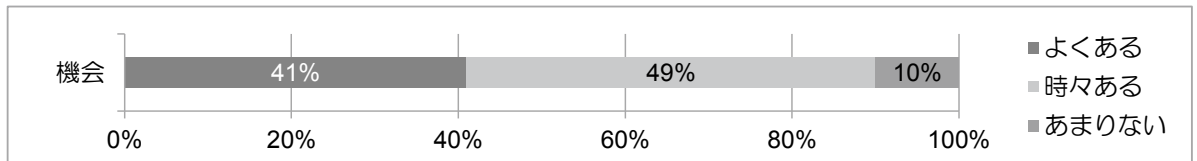


第2次策定時アンケート結果

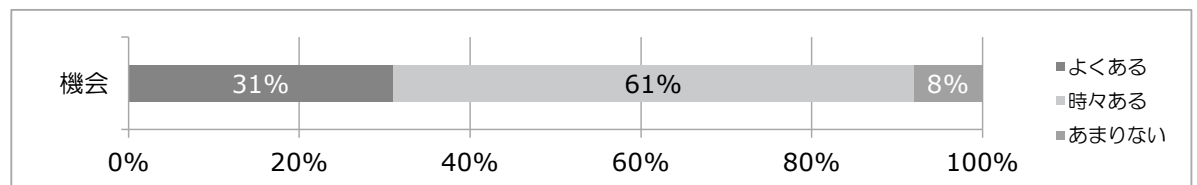


本が好きであるかという問いでは、第2次策定時は「好き」が92%、今回は91%とほとんどが好きと答えている。

問3 おさんと一緒に本（絵本）を見たり、読んだりする機会がありますか

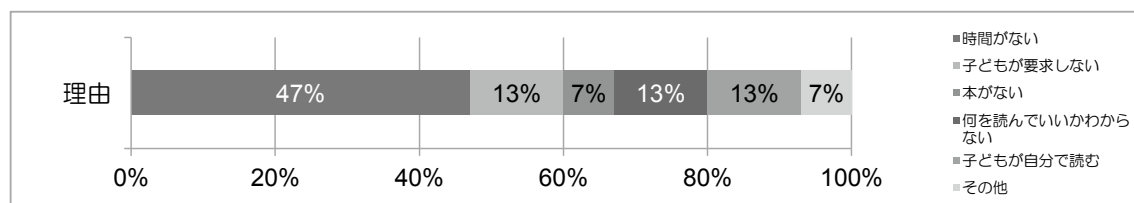


第2次策定時アンケート結果



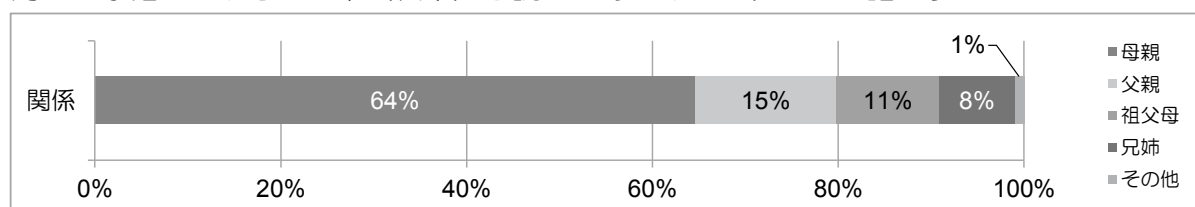
子どもに読み聞かせをしているかという問いでは、第2次策定時「よくある」が31%、「時々ある」が61%、今回では「よくある」41%、「時々ある」が49%とほとんどの家庭で子どもに対して読み聞かせをする機会があると答えている。

問4 問3であまりないと答えた理由は何ですか(あまりないを選択した方のみ回答)

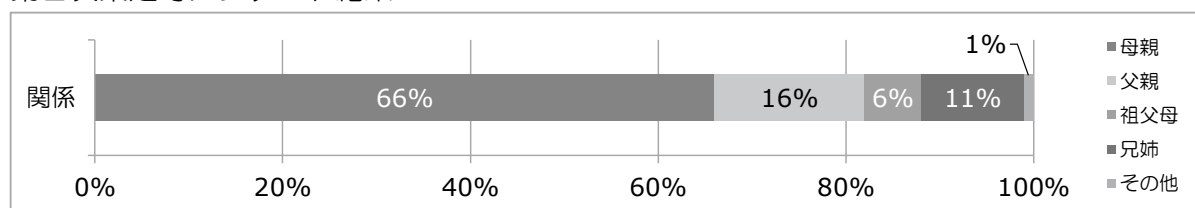


子どもと一緒に本を見る機会があまりない理由としては、「時間がない」が47%と最も多く、次いで「子どもが要求しない」「何を讀んでいいかわからない」「子どもが自分で読む」それぞれ13%となっている。その他の回答では「姉と見ている」があった。

問5 家庭でお子さんに本(絵本)を讀んであげるのは、おもに誰ですか

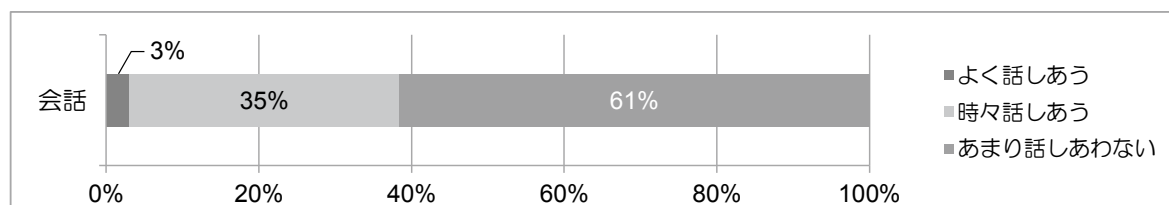


第2次策定時アンケート結果



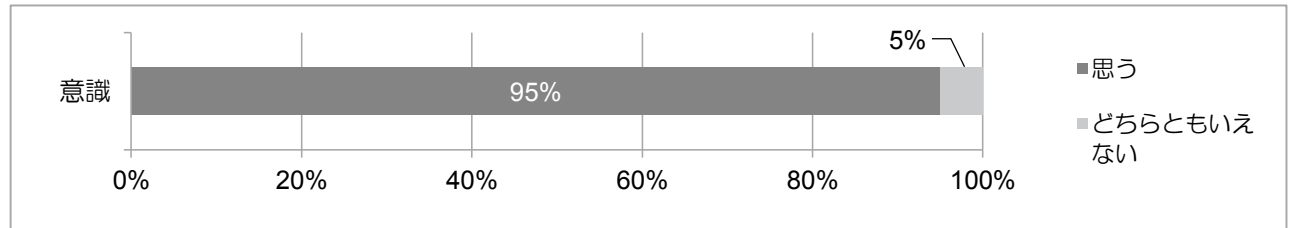
家庭で子どもに読み聞かせを行うのは第2次策定時の66%と同様に「母親」が64%と最も多く、次いで「父親」15%、「祖父母」11%となっている。その他の回答では「自分で読む」があった。

問6 家庭のなかでお子さんが讀んでいる本(絵本)、読ませたい本(絵本)について話しあいますか。

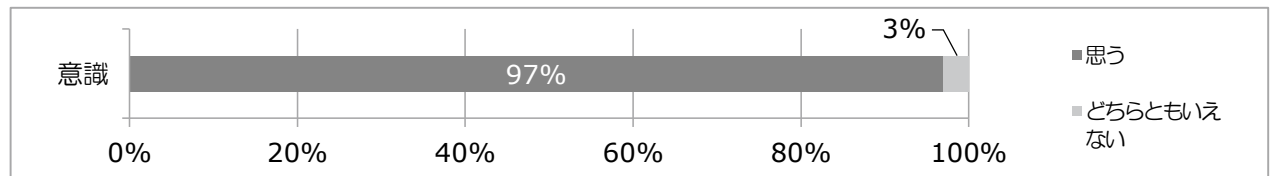


子どもが読む本について話しあうかという問いでは、「あまり話しあわない」が61%となっており、半数以上の家庭であまり本について話しあわないと答えている。

問7 お子さんに本（絵本）を読んであげることが、大切だと思いますか

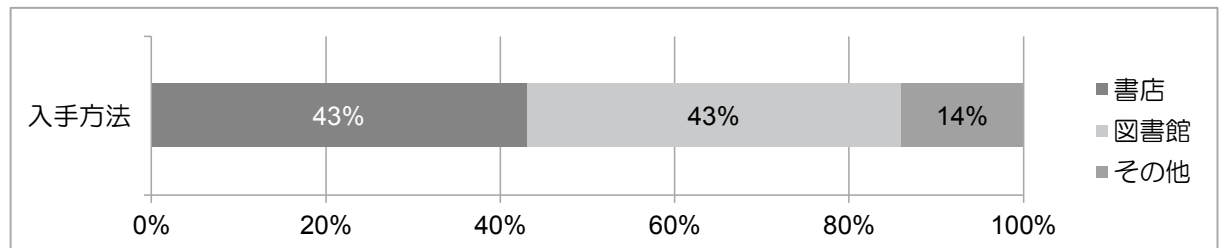


第2次策定時アンケート結果



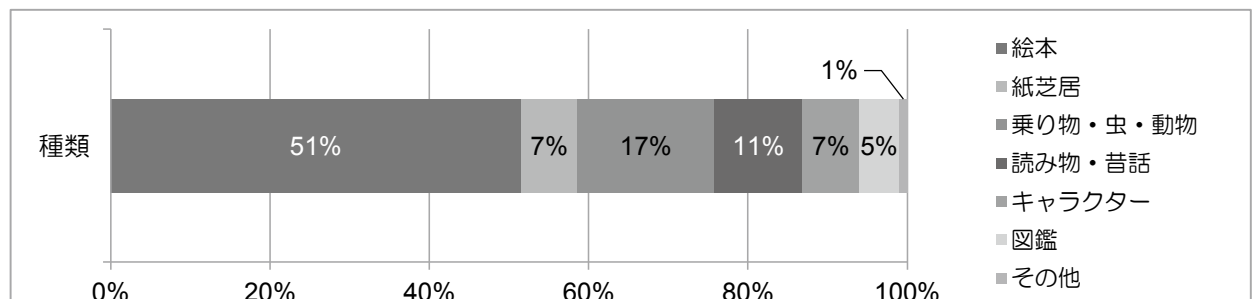
子どもに本を読んであげることに対して、第2次策定時、今回とも大切だと「思う」が97%、95%でほとんどの人が大切だと思っている。

問8 お子さんに読んであげる本（絵本）は、どちらで入手されますか



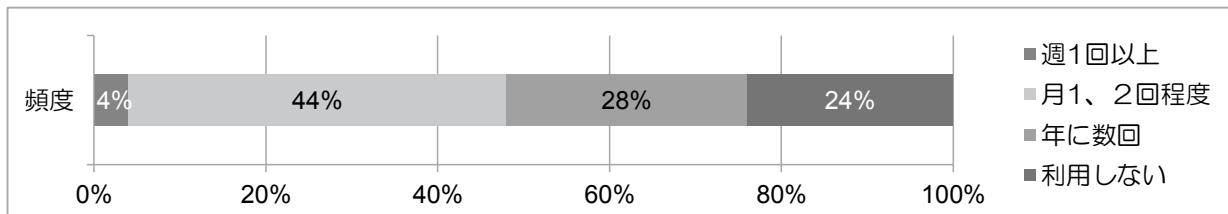
子どもに読んであげる本は「書店等で購入」が43%。「図書館で借りる」が43%、「その他」が14%となっている。その他の回答では、「保育所で借りる」、「もらう」等があった。

問9 お子さんに読んであげる本は、どんな本ですか

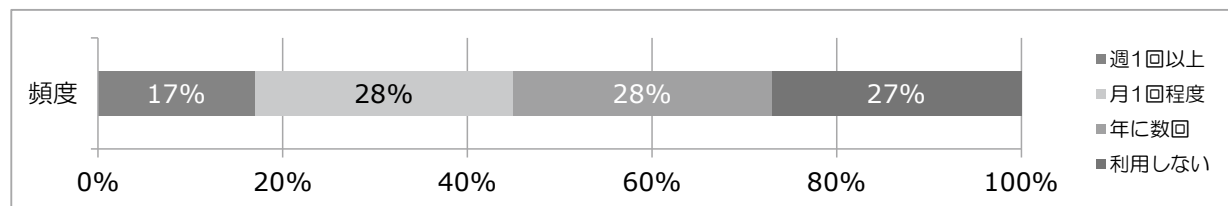


子どもに読んであげる本の種類については、「絵本」が51%と最も多く、次いで「乗り物・虫・動物」17%、「読み物・昔話」11%となっている。その他の回答では、「めばえ、ようちえん」があった。

問１０ 図書館はどれくらい利用しますか

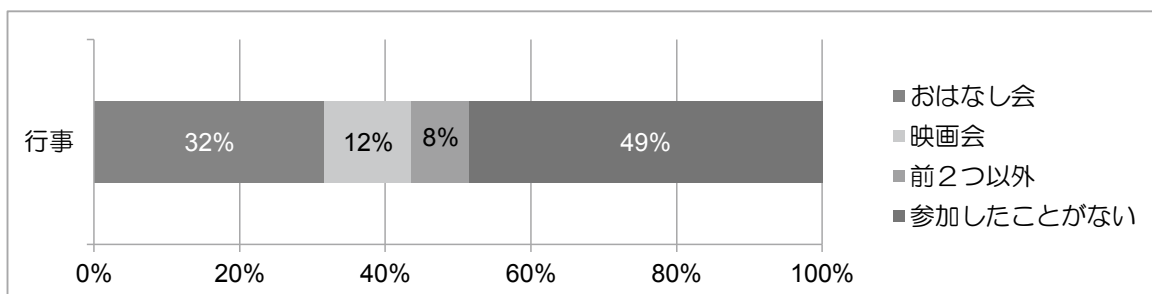


第２次策定時アンケート結果



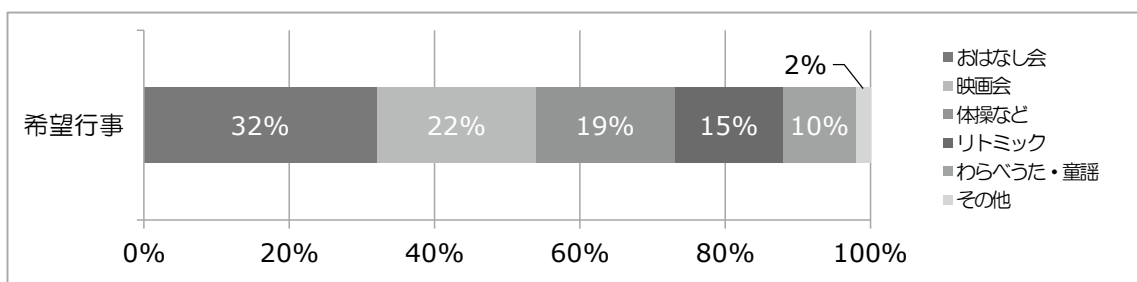
図書館の利用頻度は第２次策定時では、「月１回程度」「年に数回」がそれぞれ２８％で最も高く、今回は「月１回程度」が４４％で最も高くなった。

問１１ 次の図書館の子ども向け行事のなかで参加した行事がありますか



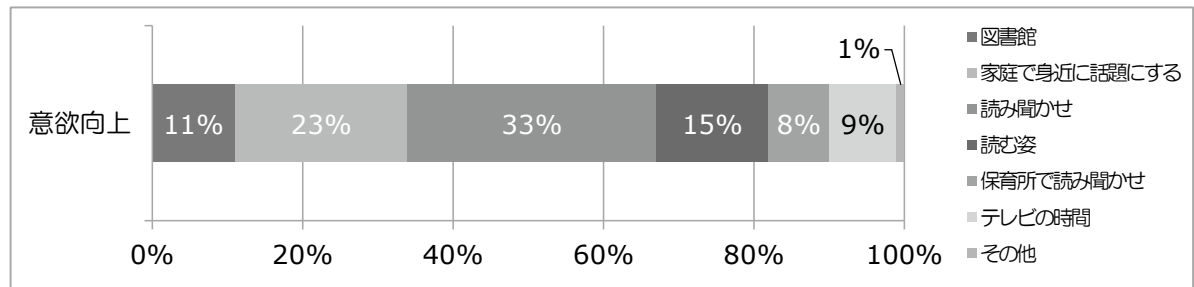
図書館での子ども向け行事に参加したことがあるかという問いでは「参加したことがない」が４９％、「おはなし会」３２％、「映画会」１２％とあまり参加されていない。

問１２ 図書館のイベントで参加したいものはどれですか



参加したいイベントは、「おはなし会」が３２％と最も多く、次いで「映画会」２２％となっており、その他の回答では「時期によって行なわれる製作」等があった。

問１３ どうすればお子さんがもっと本を読むようになるとおもいますか



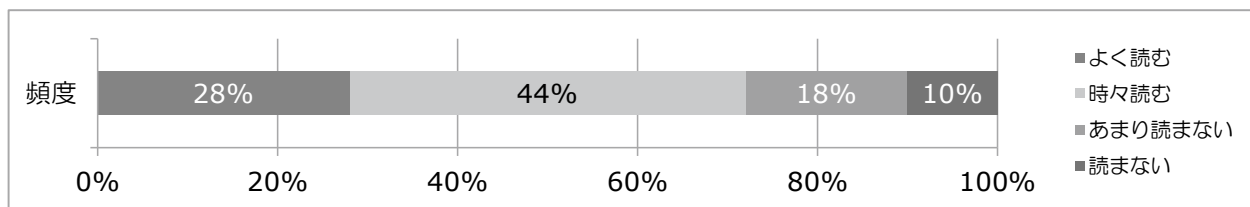
子どもが本を読むようになる方法について、「読み聞かせの機会を増やす」が33%と最も多く、次いで「家庭で絵本を手に取りやすいところに置き、話題にする」が23%、「大人が本を読む（読んでいる姿を見せる）」15%、「図書館に行く」11%、「テレビ・ゲームの時間を減らす」が9%となっている。その他では、「よくわからない」があった。

※ 子どもと本についての意見・感想（自由記述）

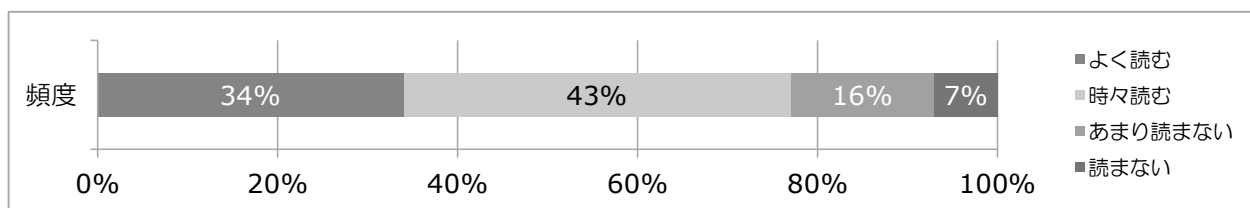
1歳児	大人がいいと思う本と、子どもが好きな本は違う様です。
2歳児	子どもだけでなく、大人の本離れも多くなってきていると思うので、本に興味を持ってもらえるような取り組みを県全体でしても良いのではと思う。大人が本を読まないのに、子どもたちが本に関心を持つとは思えないので。
3歳児	大人がいいと思う本と、子どもが好きな本は違うなあと思います。また3歳向けという本でも本人には長くてしんどそうなものもありました。 どんな本が子どもの興味をひきだすかわからないので、できるだけたくさんの本にふれていってほしいです。
4歳児	上の子は本があまり好きではなかったですが、小学生になって歴史の本に興味ができるようになりました。下の年中の子は本が好きで自分でも字をおぼえて読もうとしてくれています。一人ひとりそれぞれですが、本を好きになってくれたらいいなと思います。
5歳児	保育所での本の貸し出しはとても良いと思う。 色々な世界を知ることができ、想像力豊かな子になる。

小学3年生

問1 あなたは本を読みますか

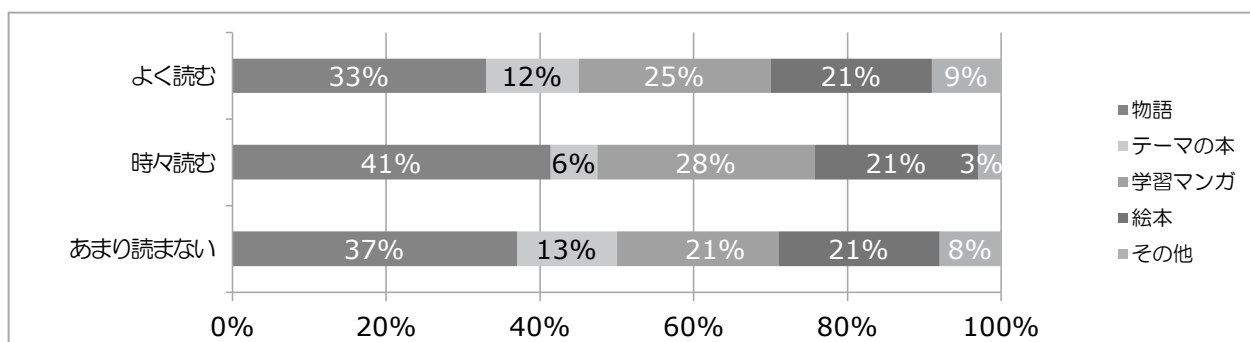


第2次策定時アンケート結果



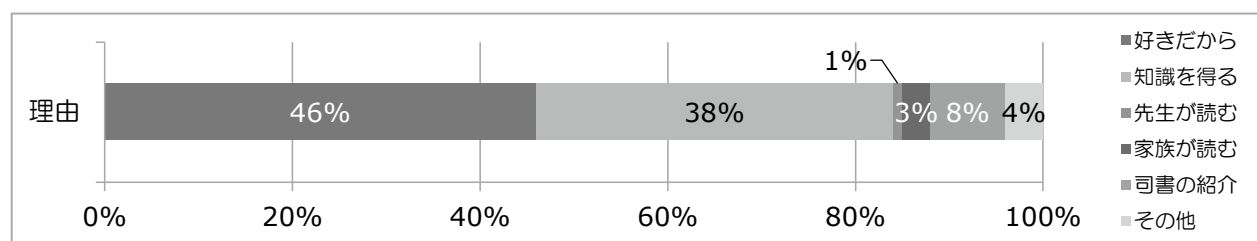
本をよく読むかという問いでは、第2次策定時では「よく読む」「時々読む」を合わせると77%、今回は「よく読む」「時々読む」合わせて72%と答えている。

問2 何を読みますか



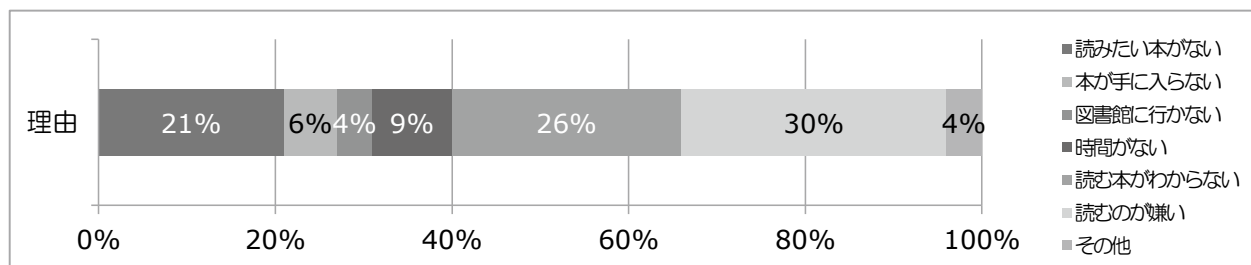
本の読む頻度別にみると、全体的に「物語」が最も多く読まれている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、時々読むの選択者のみ）



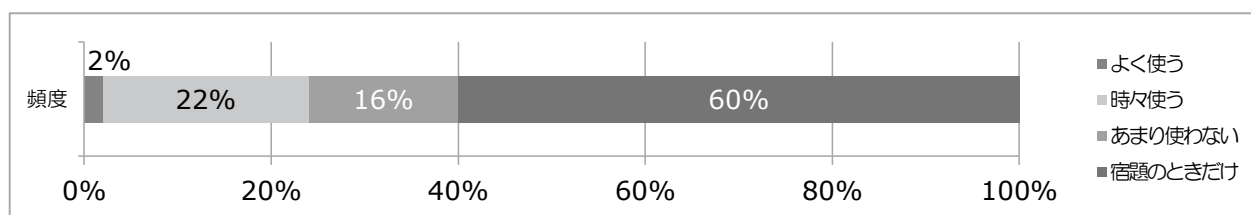
本を読む理由は、「好きだから」46%と最も多く、次いで「いろいろなことを知ることができる」38%、「家族がよく本を読む」3%となっている。また、岩出図書館から派遣している「司書からの紹介」は8%となっている。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）



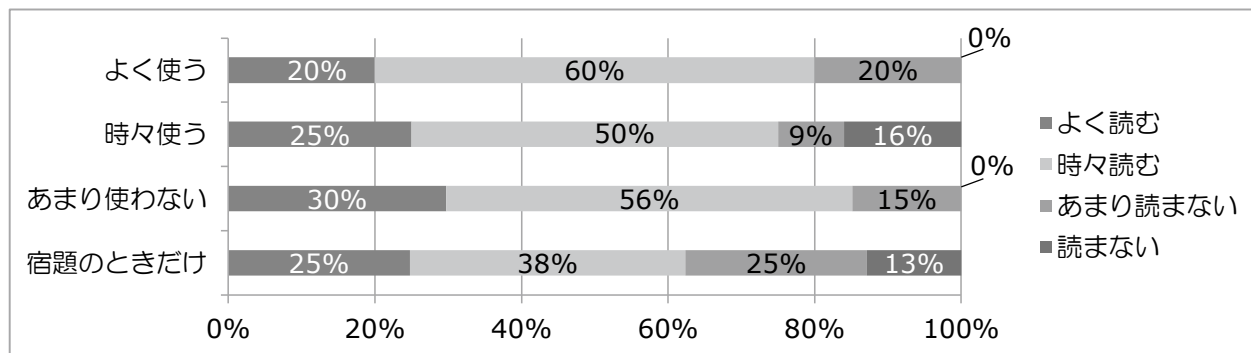
本を読まない理由は、「読むのが嫌い」が30%と最も多く、次いで「読む本がわからない」26%、「読みたい本がない」21%となっている。

問5 うちどくノートを使っていますか



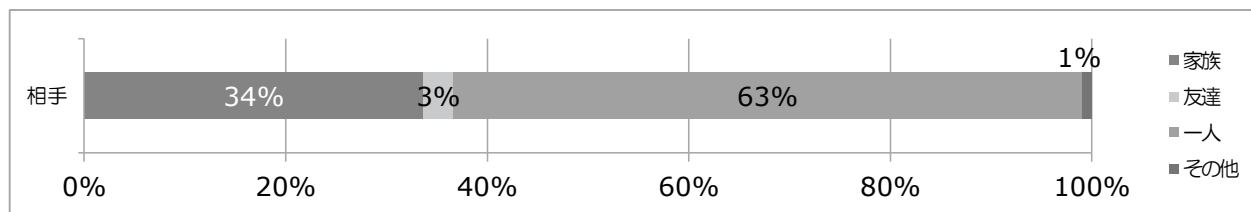
うちどくノートを使用する頻度は、「宿題になったときだけ使う」が60%と最も多くなっている。

問5-1 うちどくノートの使用頻度別、読書の頻度



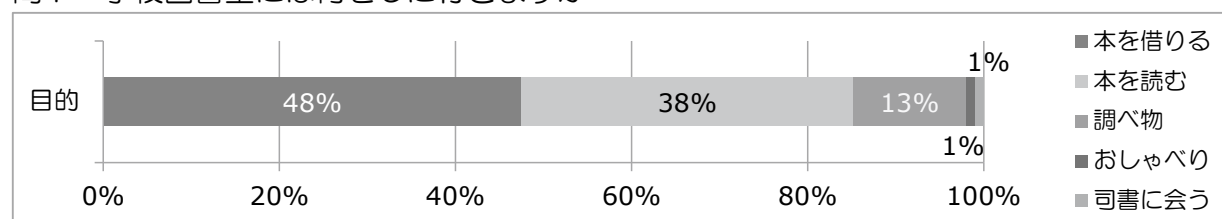
うちどくノートの使用頻度でみる子どもの読書頻度ではうちどくノートの使用があまり子どもの読書頻度に影響していない。

問6 だれとうちどくノートを書きますか



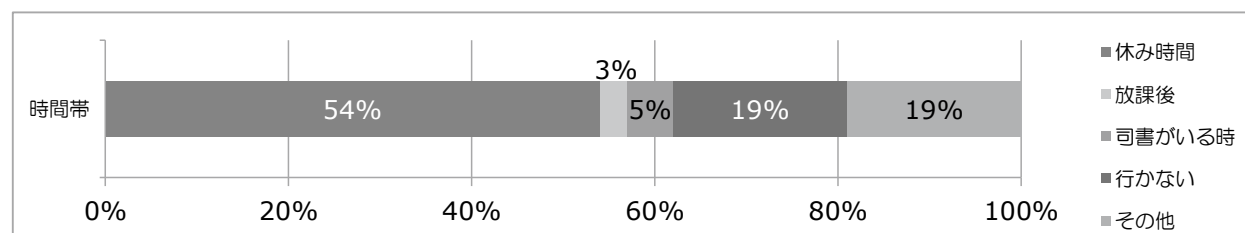
うちどくノートと一緒にする相手は、「一人で書く」が63%と最も多くなっている。

問7 学校図書室には何をしに行きますか

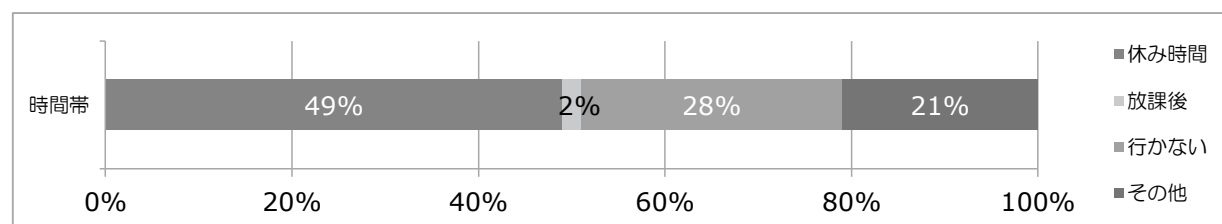


図書室の利用目的については、「本を借りる」が48%、「本を読む」が38%となっている。

問8 学校図書室へいつ行きますか

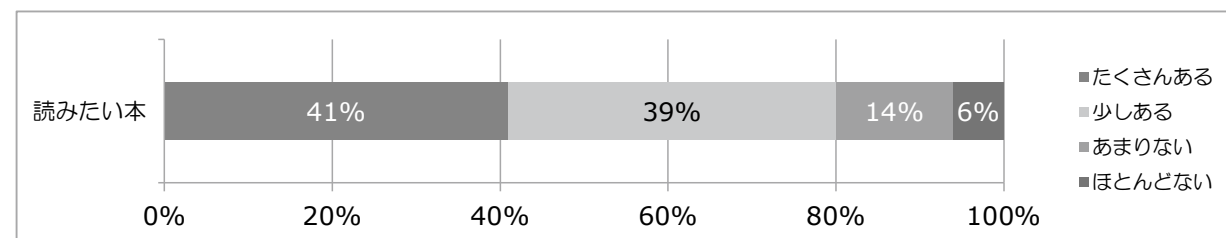


第2次策定時アンケート結果

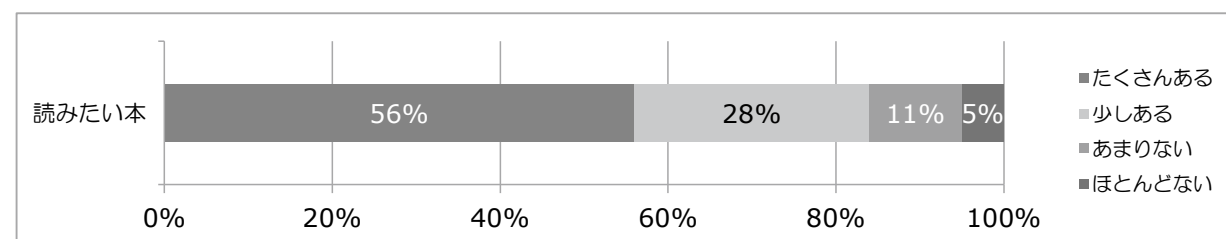


図書室を利用する時間帯について、第2次策定時、今回とも「休み時間」が49%、54%と最も多く、「行かない」が第2次策定時は、28%であったが今回は19%となった。その他の回答では、「授業中」、「図書の時間」などがあつた。

問9 学校図書室に読みたい本がありますか

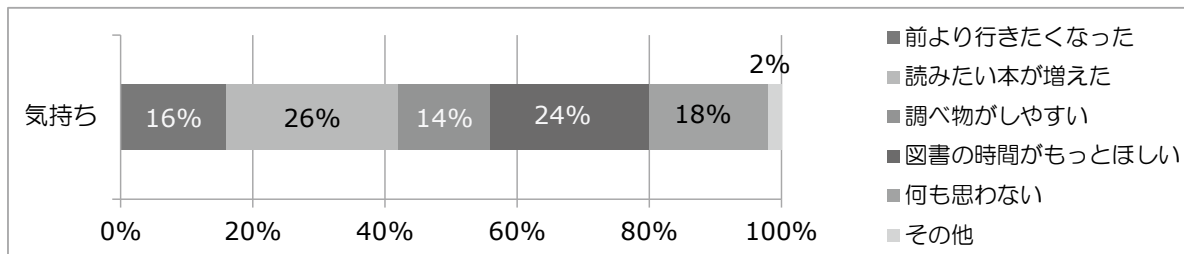


第2次策定時アンケート結果



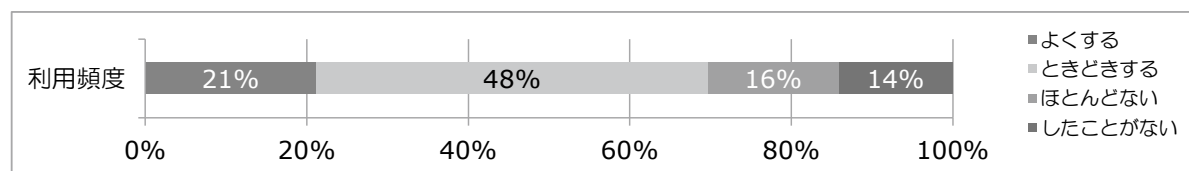
読みたい本があるかについて、第2次策定時、今回とも「たくさんある」が56%、41%と最も多く、次いで「少しある」28%、39%となっている。

問10 岩出図書館から学校図書館に司書が来るようになってどう思いますか

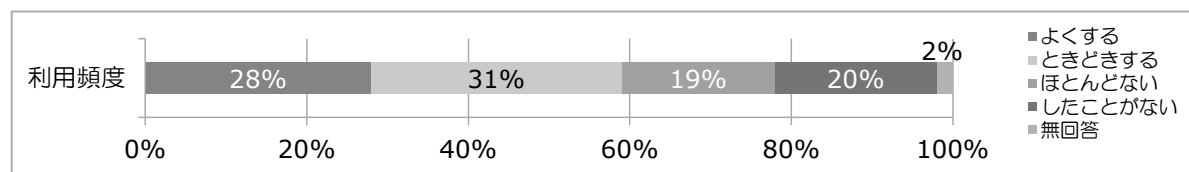


岩出図書館から学校図書館に司書を派遣したことにより子どもたちの学校図書館への気持ちの変化として、「読みたい本が増えた」が26%と最も多く、次いで「図書の時間がもっとほしい」が24%となっている。

問11 岩出図書館を利用しますか

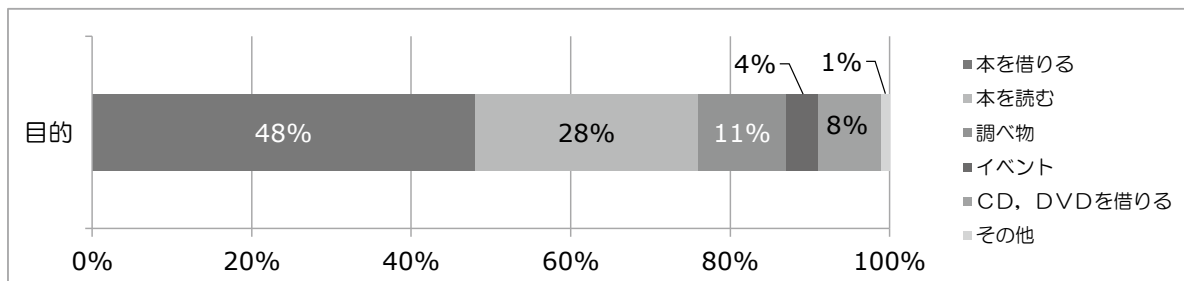


第2次策定時アンケート結果



岩出図書館を利用するかについて、第2次策定時には「よくする」「ときどきする」が併せて59%、今回は、「よくする」「ときどきする」が併せて69%となった。

問12 岩出図書館には何をしにいきますか（問12でしたことがない以外の選択者のみ）



岩出図書館へ行く目的について、「本を借りる」が48%と最も多く、次いで「本を読む」28%、「調べ物」11%となっている。

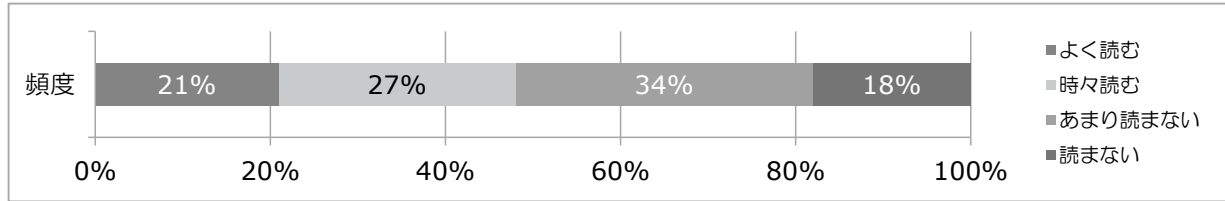
問13 最近、読んでおもしろかった本を教えてください（自由記述）（コミック、雑誌除く）

本の題名	件数	本の題名	件数
かいけつゾロリシリーズ	11	かわいいねこをもらってください	1
ドラえものの学習シリーズ	5	ガンダム百科	1
サバイバルシリーズ	4	キャベツくんとブタマルさん	1
ミッケシリーズ	3	きょうはなんのひ？	1
まかい屋リリーシリーズ	2	グレッグのダメ日記	1
ともだちやシリーズ	2	クレヨンからのおねがい！	1
ヘレン・ケラー	2	ゲンとヒロシマ	1
イソップ童話	2	コクリコ坂	1
動物探偵ミア	2	ココロ屋	1
わかったさんシリーズ	2	ことわざの大辞典	1
ダイナソー	2	ごんぎつね	1
織田信長	2	こん虫	1
パンダコパンダ	2	昆虫超最強図鑑	1
かわいそうなぞう	2	さかさ町	1
100かいだてのいえ	1	坂本竜馬	1
10ぴきのかえる	1	さっちゃんのまほうの手	1
GANBA	1	里山からのおくりもの	1
青い本	1	サマーウォーズ	1
あなたってほんとうにしあわせね	1	三国志	1
アルセール・ルパン	1	三年一組、春野先生！	1
石田三成	1	スプーンおばさんシリーズ	1
一期一会	1	世界一のアイツ	1
うそつきにかんぱい！	1	戦国ベースボール	1
おおかみこどもの雨と雪	1	そうじきのふゆやすみ	1
おばけのアッチ	1	ぞくぞくむらのおばけシリーズ	1
おばけのてんぷら	1	大研究！航空会社の仕事	1
おばけマンションシリーズ	1	タンタンのぼうし	1
おめんです	1	チョーシンくんのだいぼうけん	1
おやつ時間	1	つるのおんがえし	1
怪異伝説ダレカラキタ？シリーズ	1	ティンカーベルの月の石	1
かいだんレストランシリーズ	1	手づくりおもちゃ	1
かぎばあさん	1	とびばこのひるやすみ	1
学校の怪談	1	トムソーヤの冒険	1
体の不思議	1	友だち関係	1
かわいいキャラクターボールペンイラスト	1	トリックアートシリーズ	1

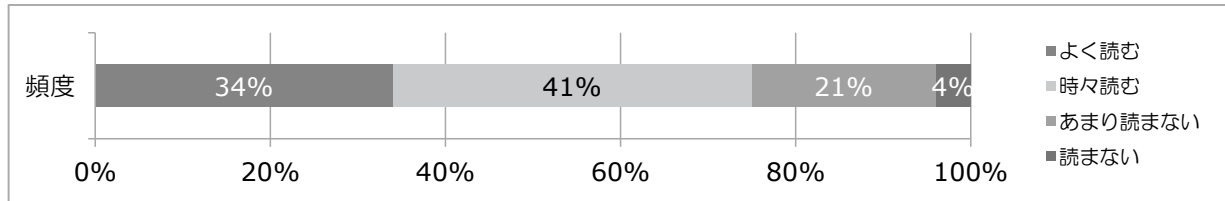
本の題名	件数
どんぐりむらの本やさん	1
ナゾトキ姫は名探偵	1
にんきもの	1
ネコのタクシー	1
のろのろひつじとせかせかひつじ	1
土方歳三	1
ヒミツシリーズ	1
百万回生きたねこ	1
フェアリーガールズ	1
ふくろうのよる	1
ふしぎなキャンディーやさん	1
不思議の国のアリス	1
ふたりはいつも	1
フランダースの犬	1
ポケネコにゃんころりん	1
マジックショーは死のかおり	1
マリー・アントワネット	1
ミラクル★キッチン	1
ミルキー杉山のあなたも名探偵シリーズ	1
めだか	1
ルルとララシリーズ	1
ロバのシルベスターとまほうの小石	1
わんわん物語	1

小学6年生

問1 あなたは本を読みますか

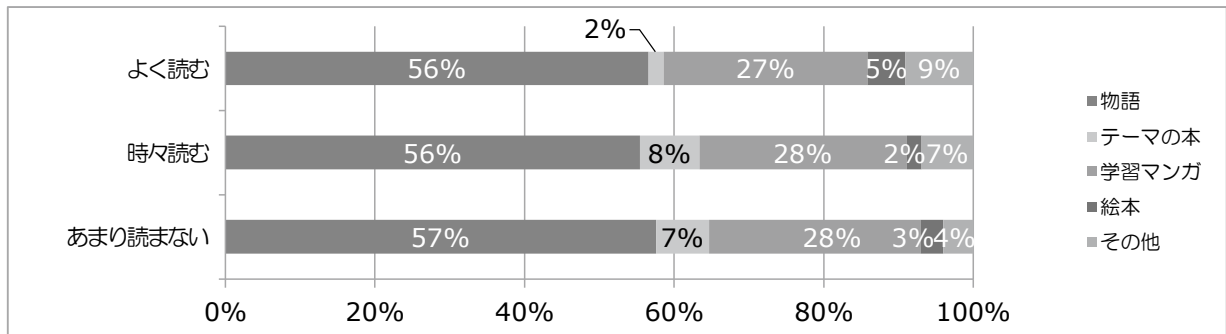


第2次策定時アンケート結果



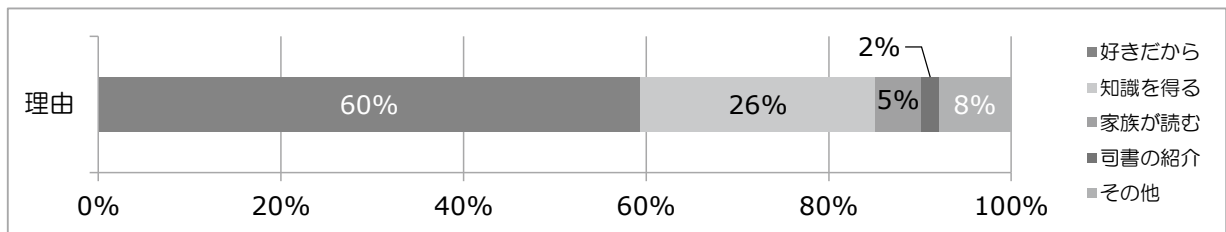
本をよく読むかという問いでは、第2次策定時では「よく読む」「時々読む」を合わせると75%、今回は「よく読む」「時々読む」合わせて48%と答えている。

問2 何を読みますか



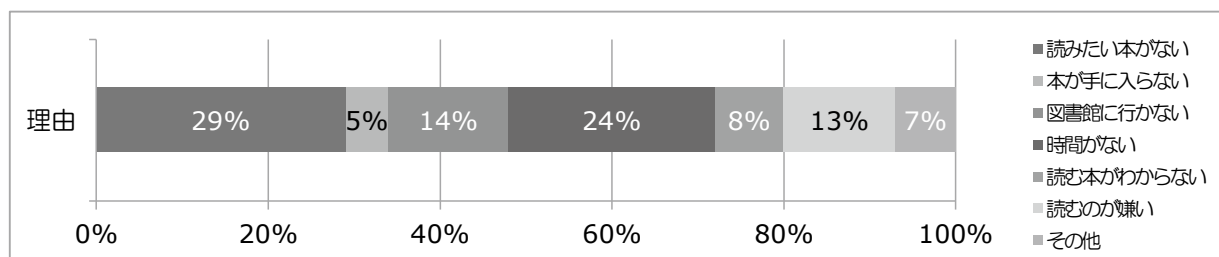
本の読む頻度別にみると、全体的に「物語」が最も多く読まれている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、時々読むの選択者のみ）



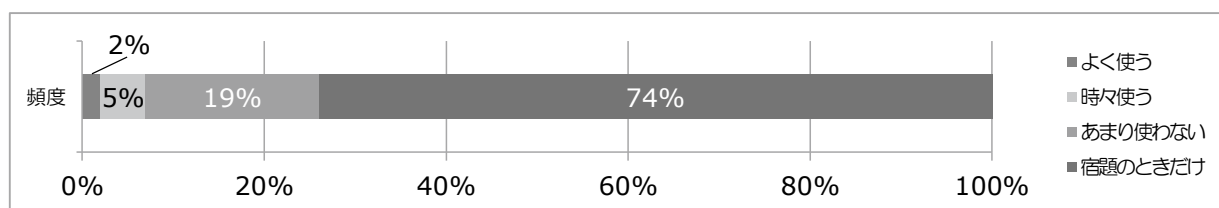
本を読む理由は、「好きだから」60%と最も多く、次いで「いろいろなことを知ることができる」26%、「家族がよく本を読む」5%となっている。また、岩出図書館から派遣している司書からの紹介は2%となっている。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）



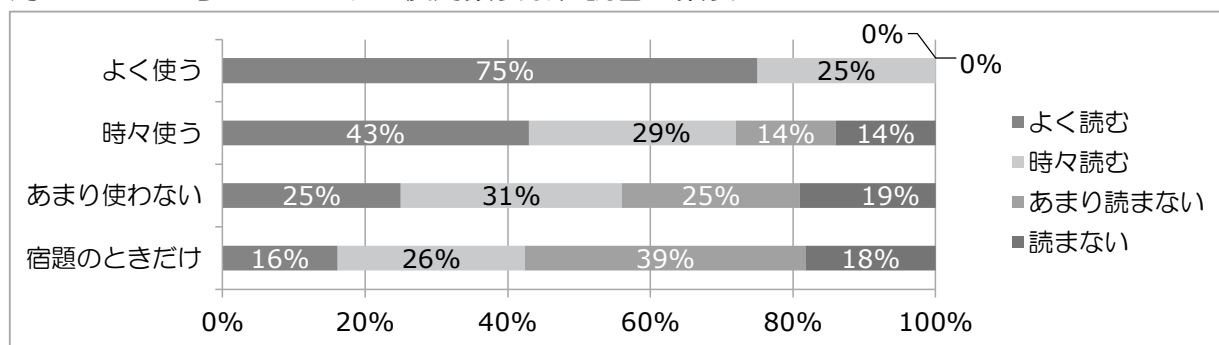
本を読まない理由は、「読みたい本がない」が29%と最も多く、次いで「時間がない」24%、「学校図書館や図書館に行かない」14%となっている。

問5 うちどくノートを使っていますか



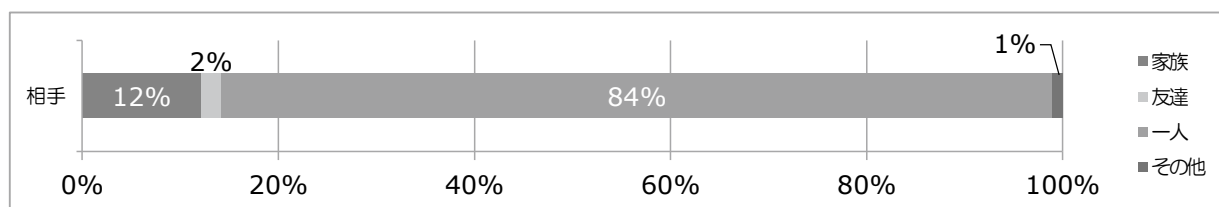
うちどくノートを使用する頻度は、「宿題になったときだけ使う」が74%と最も多くなっている。

問5-1 うちどくノートの使用頻度別、読書の頻度



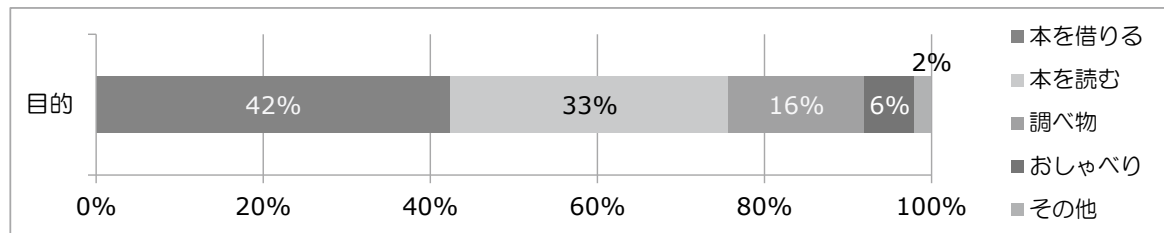
うちどくノートの使用頻度でみる子どもの読書頻度ではうちどくノートの使用があまり子どもの読書頻度に影響していない。

問6 だれとうちどくノートを書きますか



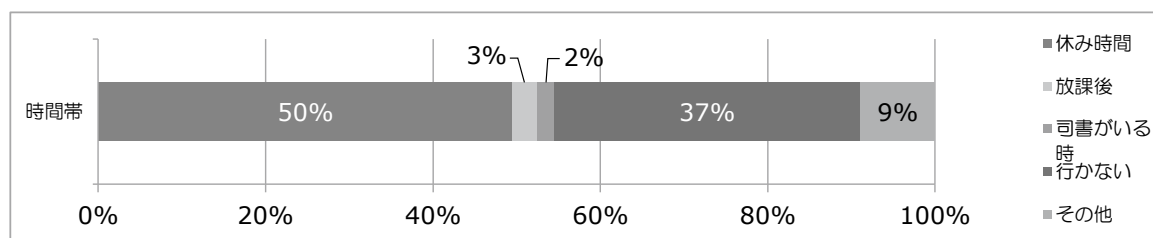
うちどくノートと一緒にする相手は、「一人で書く」が84%と最も多くなっている。

問7 学校図書室には何をしに行きますか

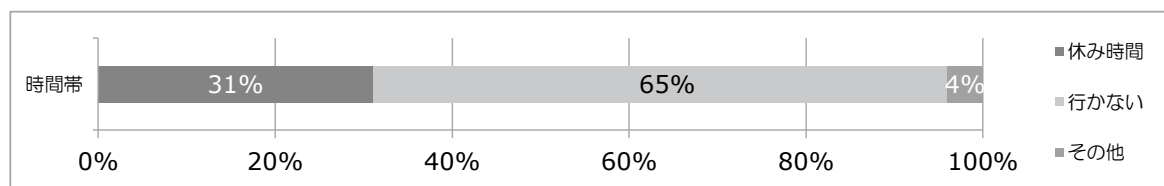


図書室の利用目的については、「本を借りる」が42%、「本を読む」が33%となっている。

問8 学校図書室へいつ行きますか

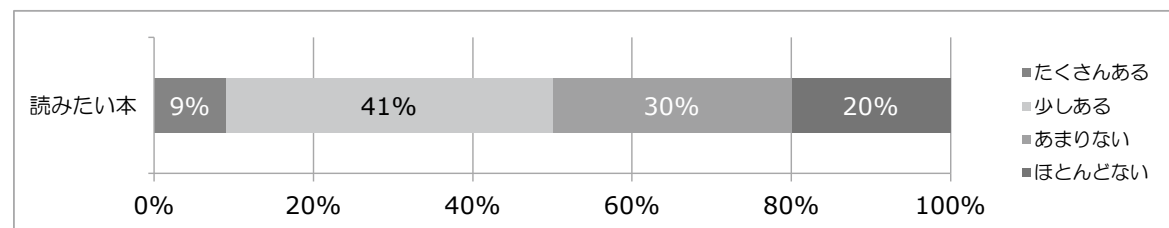


第2次策定時アンケート結果

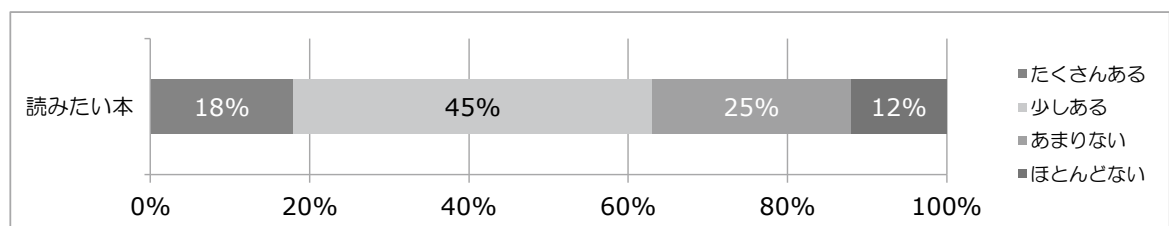


図書室を利用する時間帯について、第2次策定時は「行かない」65%と最も多かったが、今回は「休み時間」が50%と最も多く、「行かない」が37%となった。その他の回答では、「授業中」、「図書の時間」などがあつた。

問9 学校図書室に読みたい本がありますか

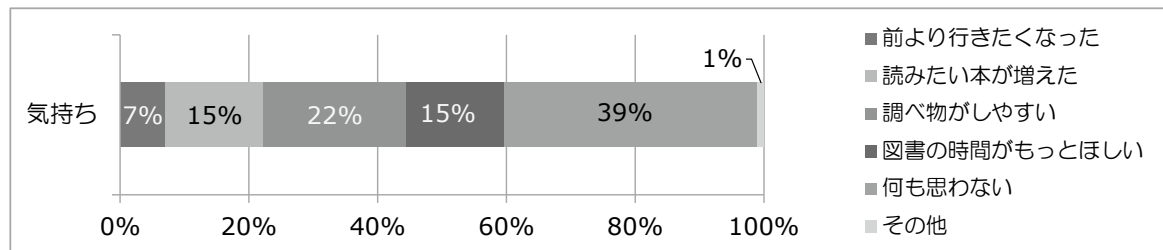


第2次策定時アンケート結果



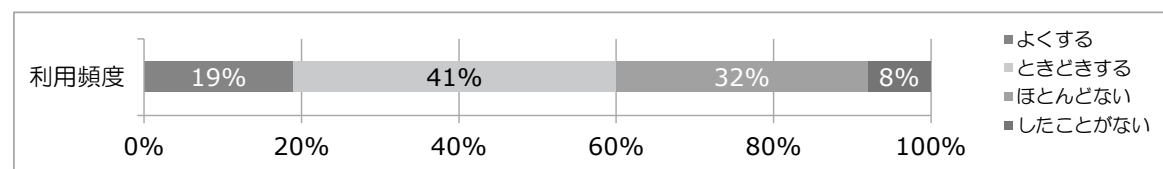
読みたい本があるかについて、第2次策定時、今回とも「少しある」が45%、41%と最も多く、次いで「あまりない」25%、30%となっている。

問10 岩出図書館から学校図書館に司書が来るようになってどう思いますか

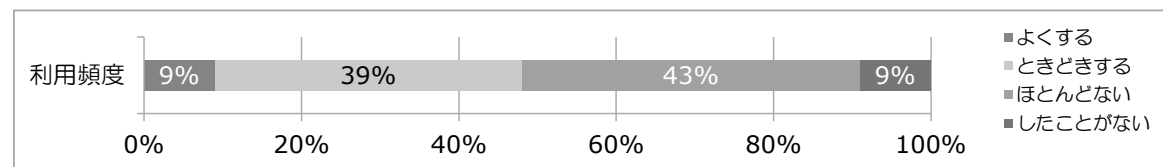


岩出図書館から学校図書館に司書を派遣したことにより子どもたちの学校図書館への気持ちの変化として、「調べものがしやすい」が22%と最も多く、次いで「読みたい本が増えた」「図書館の時間がもっとほしい」がそれぞれ15%となっている。

問11 岩出図書館を利用しますか

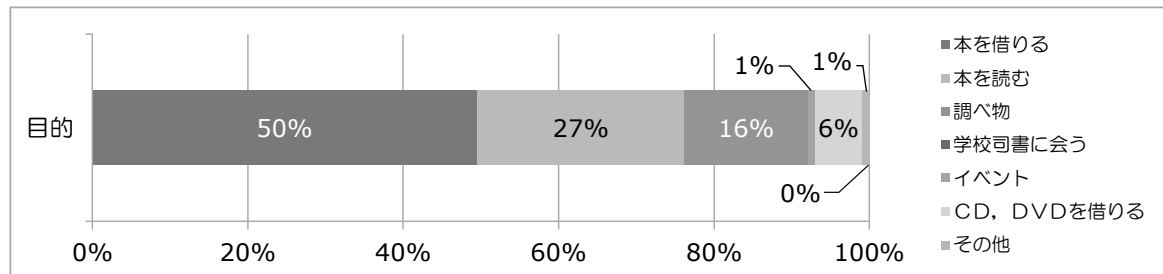


第2次策定時アンケート結果



岩出図書館を利用するかについて、第2次策定時には「よくする」「ときどきする」が併せて48%、今回では、「よくする」「ときどきする」が併せて60%となった。

問12 岩出図書館には何をしにいきますか（問12でしたことがない以外の選択者のみ）



岩出図書館へ行く目的について、「本を借りる」が50%と最も多く、次いで「本を読む」27%、「調べ物」16%となっている。

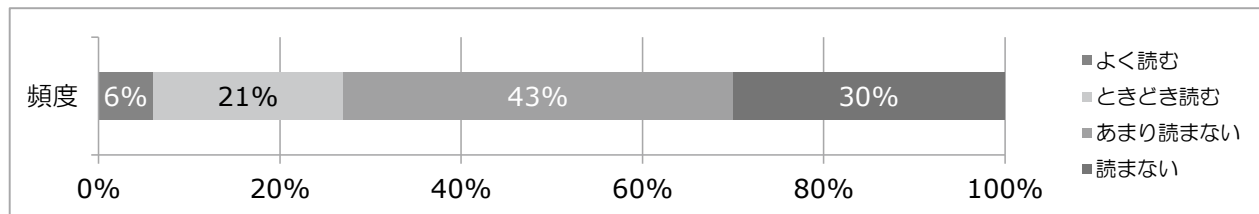
問13 最近、読んでおもしろかった本を教えてください（自由記述）（コミック、雑誌除く）

本の題名	件数	本の題名	件数
君の名は	10	コロンブスの航海	1
オンライン！	4	最強の雑学王	1
5分後に意外な結末	3	西遊記	1
若草物語	3	サバイバル	1
青空エール	2	三国志	1
一期一会	2	地獄少女	1
怪盗レッド	2	地震のサバイバル	1
恐竜がくれた夏休み	2	シマリスの冒険	1
怖い本	2	十五少年漂流記	1
新世界より 上・中・下	2	十二国記	1
心理テスト	2	ジュディモード地球をすくう	1
名探偵コナンシリーズ	2	少年弁護士セオの事件簿	1
ルドルフとイッパイアッテナ	2	水族館ガール	1
ルルとララシリーズ	2	ズッコケ三人組シリーズ	1
歴史の本	2	世界から猫が消えたなら	1
赤い本	1	先生おしえて理科のぎもん	1
暗黒童話	1	ソロモンの偽証	1
おおかみこどもの雨と雪	1	ダイヤのA	1
狼少女と黒王子	1	民王	1
おばけのケーキ屋さん	1	ダレンシャン	1
怪奇スープを召し上げれ	1	たんてい（まってました）	1
学校ねずみのフローラ	1	超絶不幸な少女	1
鴨川ホルモー	1	つるバラ村の理容師さん	1
カレーライス	1	D 町怪奇物語	1
ガンバの冒険	1	電車がおうちレイルちゃん	1
黄色の本	1	トキメキ図書館	1
君の町で	1	豊臣秀吉の伝記	1
空想科学読本	1	西の魔女が死んだ	1
クリムゾンの迷宮	1	日本の歴史	1
黒い本	1	ねこと友達	1
黒魔女さんが通る！！	1	ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った	1
源氏物語	1	脳にいいことだけをやりなさい！	1
恋色に咲け	1	ハチ公物語	1
交換ウソ日記	1	百枚のドレス	1
ココログラスでのぞいたら	1	百物語	1

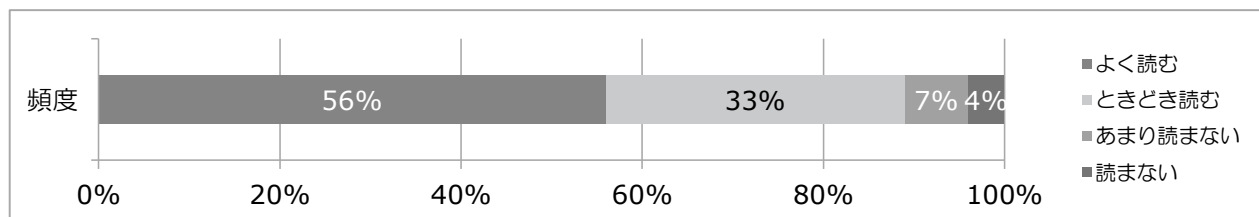
本の題名	件数
北斗（ある殺人者の回心）	1
ぼくらシリーズ	1
坊ちゃん	1
魔女の宅急便	1
魔法使いの孫娘	1
ミッキーマウスの憂鬱	1
ミニオンズ	1
名犬チロリ	1
名探偵コナンシリーズ	1
メッセンジャーQ	1
モーツァルト	1
守り人シリーズ	1
モンスター	1
ライラの冒険	1

中学2年生

問1 あなたは本を読みますか

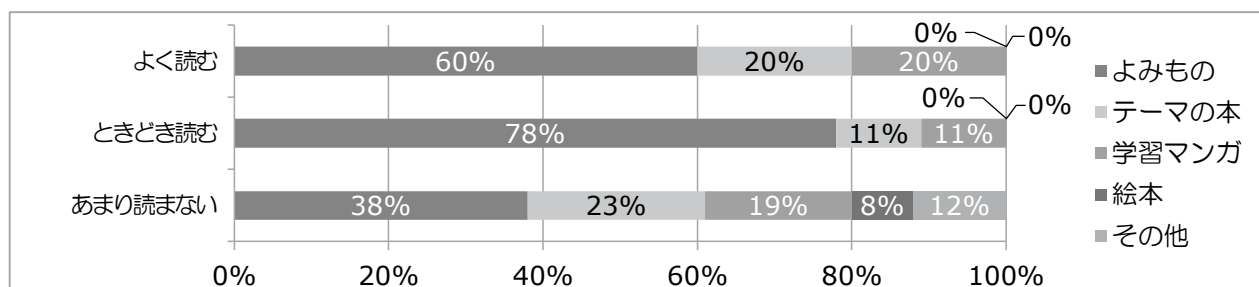


第2次策定時アンケート結果



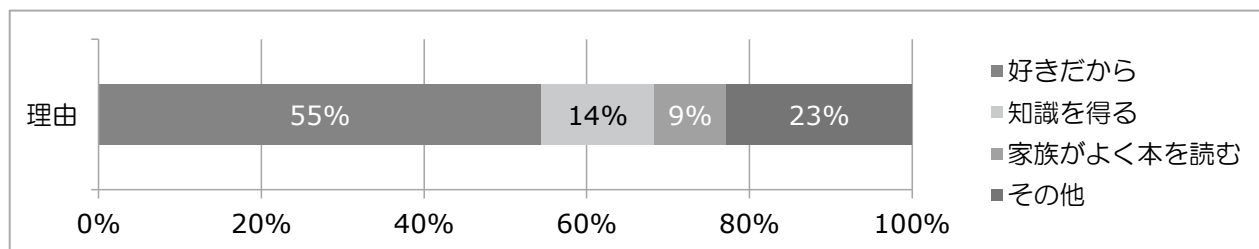
本をよく読むかという問いでは、第2次策定時では「よく読む」「ときどき読む」を合わせると84%となっており、今回では27%と大幅に減少している。

問2 何を読みますか



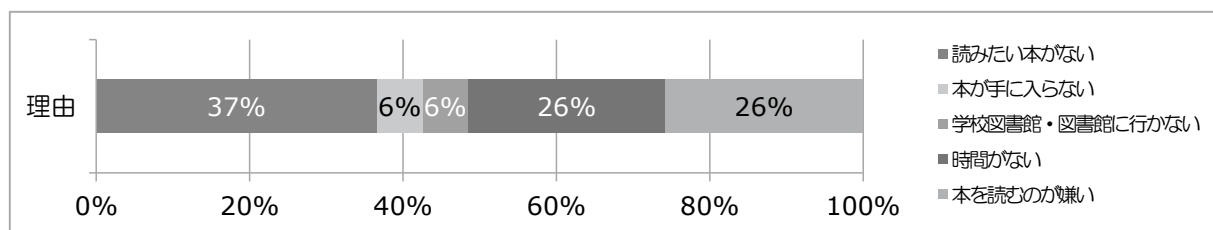
本の読む頻度別にみると、全体的に「よみもの」が最も多く、「よく読む」、「ときどき読む」と回答している場合、「テーマの本」「学習マンガ」を読む割合が同程度である。「あまり読まない」と回答している場合は、「絵本」、「その他」との回答もあった。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）

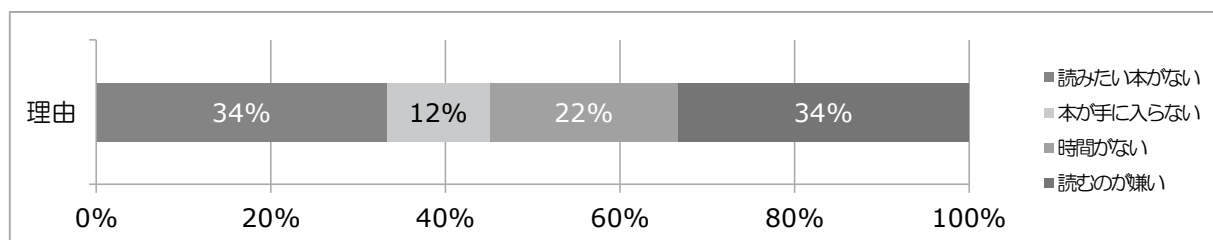


本を読む理由は、「好きだから」55%と最も多く、次いで「家族がよく本を読むから」23%となっている。その他では、「興味のあるタイトルだから」、「暇だから」「週1で図書館へ行くから」などがあつた。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないを選択者のみ）

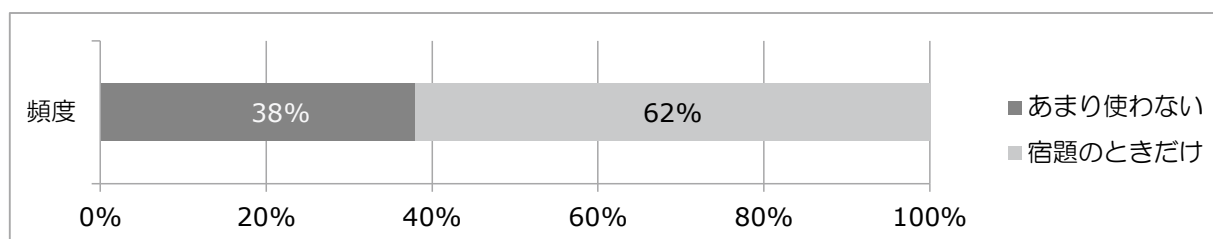


第2次策定時アンケート結果



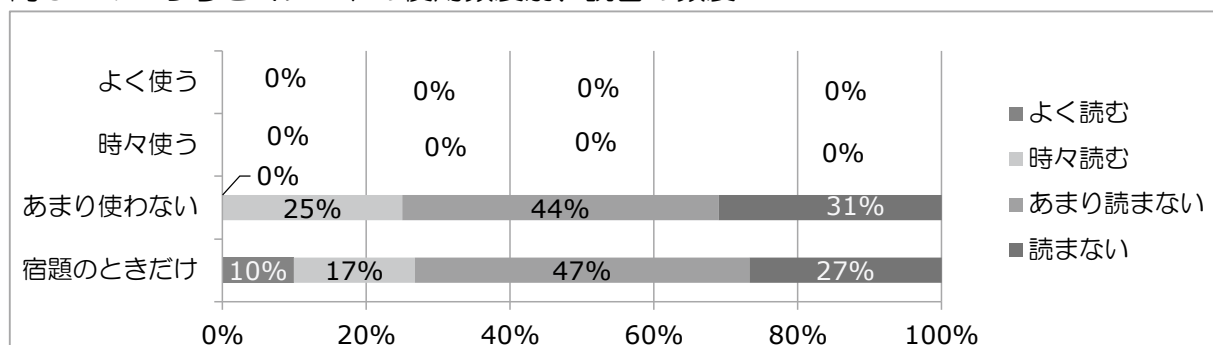
本を読まない理由は、第2次策定時は「読みたい本がない」「読むのが嫌い」が34%と最も多く、今回は「読みたい本がない」が37%と最も多くなっている。

問5 うちどくノートを使っていますか



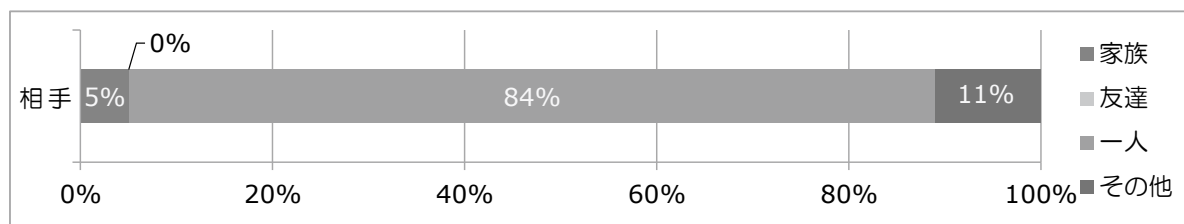
うちどくノートを使用する頻度は、「宿題になったときだけ使う」が62%と最も多くなっている。

問5-1 うちどくノートの使用頻度別、読書の頻度



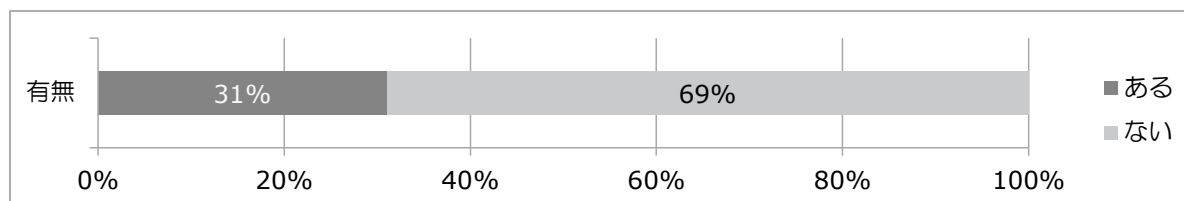
うちどくノートの使用頻度でみる子どもの読書頻度ではうちどくノートの使用があまり子どもの読書頻度に影響していない。

問6 だれとうちどくノートを書きますか



うちどくノートと一緒にする相手は、「一人で書く」が84%と最も多くなっている。その他の回答では「つかわない」「書いたことがない」等があった。

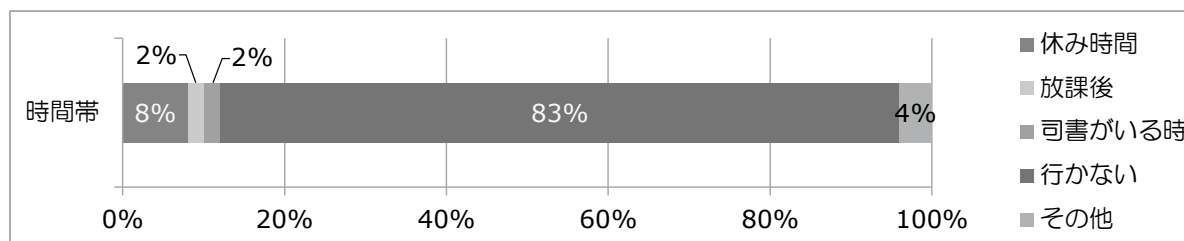
問7 自分で大切にしている、気に入った本があったら教えてください(マンガ、雑誌除く)



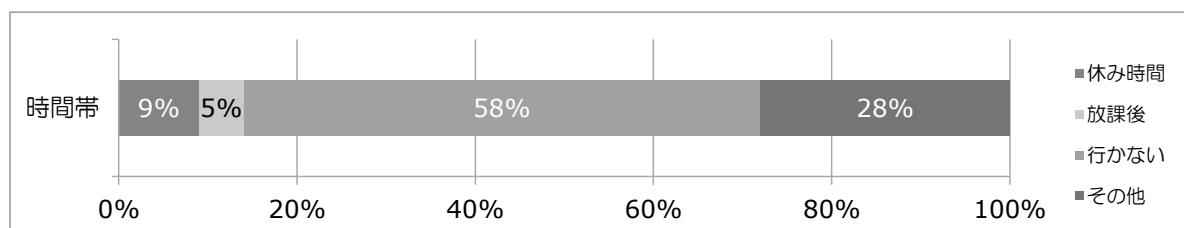
大切にしている本があるかという問いでは「ある」が31%となった。

本の題名	件数	本の題名	件数
あのとき、僕らの歌声は	1	トモ、ボクは元気です	1
王者のメソッド	1	ハッピーバースデー命輝く瞬間	1
怖い本シリーズ	1	ビリギャル	1
じゃあ仏教の話をしよう	1	電話をかけていた場所	1
スイッチを押すとき	1	らくだい魔女シリーズ	1
洗脳、地獄の12年間からの生還	1	ルーキーズ	1
探偵チームKZシリーズ	1		

問8 学校図書館へいつ行きますか

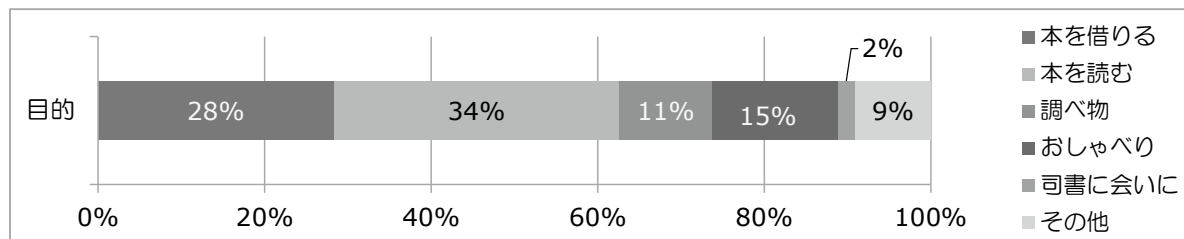


第2次策定時アンケート結果



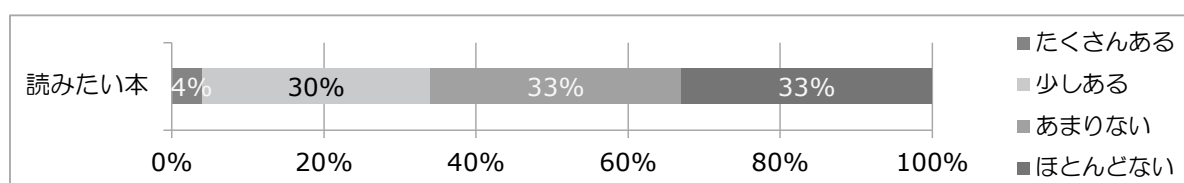
図書館を利用する時間帯について、第2次策定時は「行かない」58%と最も多かったが、今回も同じく「行かない」が83%となった。その他の回答では、「掃除」「たまに行く」などがあった。

問9 学校図書館には何をしに行きますか

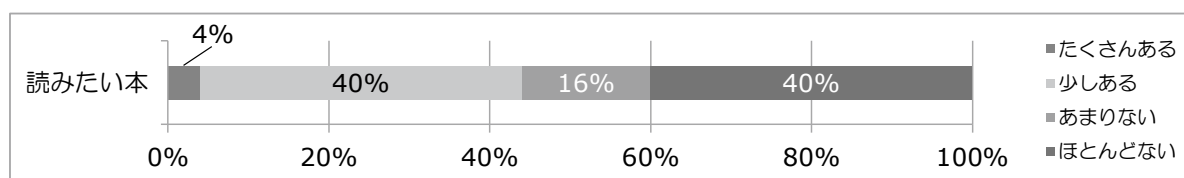


図書館の利用目的については、「本を読む」が34%、次いで「本を借りる」が28%となっている。「おしゃべり」が15%、「調べもの」が11%となっており、その他の回答では、「行かない」などがあった。

問10 学校図書館に読みたい本がありますか

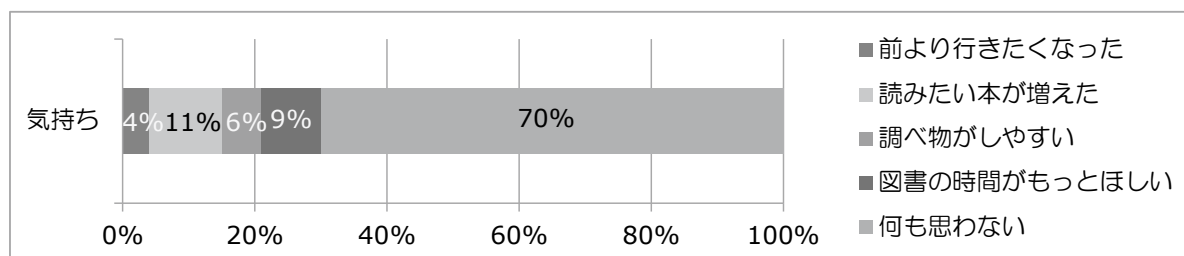


第2次策定時アンケート結果



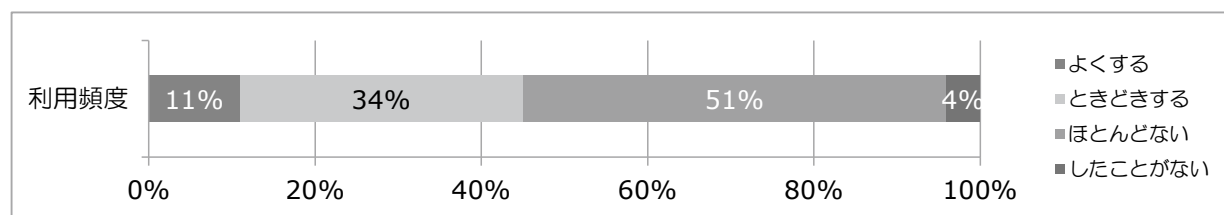
読みたい本があるかについて、第2次策定時は「少しある」が45%と最も多かったが、今回は「あまりない」「ほとんどない」がそれぞれ33%と最も多くなっている。

問11 岩出図書館から学校図書館に司書が来るようになってどう思いますか

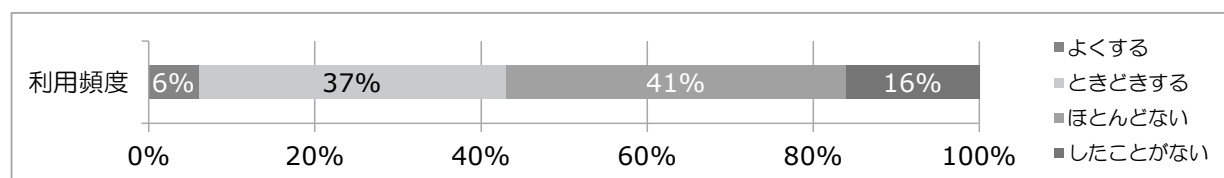


岩出図書館から学校図書館に司書を派遣したことにより子どもたちの図書室への気持ちの変化として、「読みたい本が増えた」が11%と最も多く、次いで「図書の時間がもっとほしい」が9%、「調べものがしやすくなった」6%となっている。

問12 岩出図書館を利用しますか

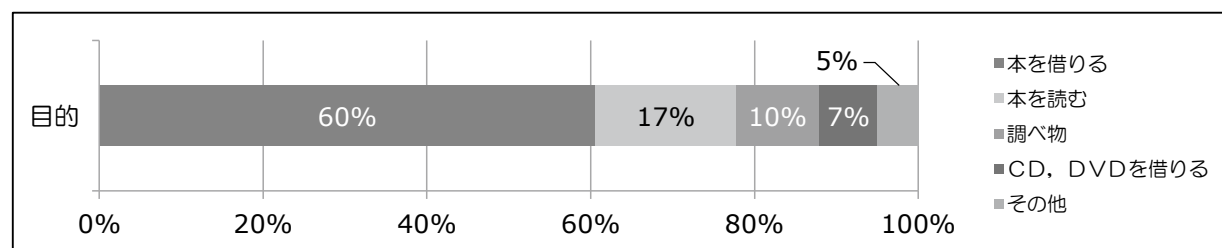


第2次策定時アンケート結果



岩出図書館を利用するかについて、第2次策定時では「よくする」「ときどきする」が合わせて43%となっており、今回は「よくする」「ときどきする」が合わせて45%となっている。

問12 岩出図書館には何をしにいきますか（問11でしたことがない以外の選択者のみ）



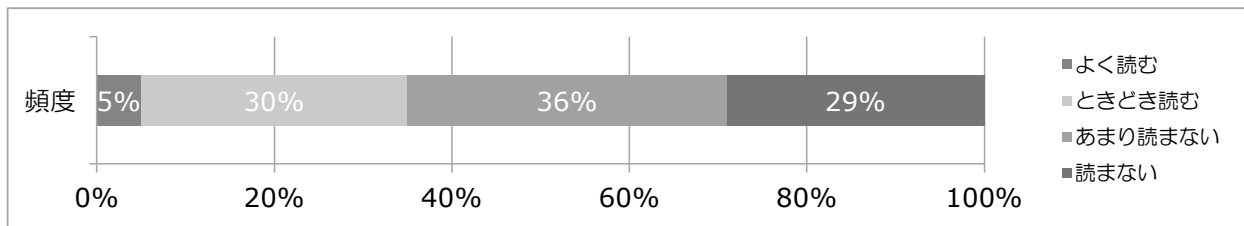
岩出図書館へ行く目的について、「本を借りる」が60%と最も多く、次いで「本を読む」17%、「調べ物」10%となっている。その他の回答では「読書感想文の本を借りるため」「雑誌を借りる」などがあつた。

問14 最近、読んでおもしろかった本を教えてください（自由記述）（雑誌除く）

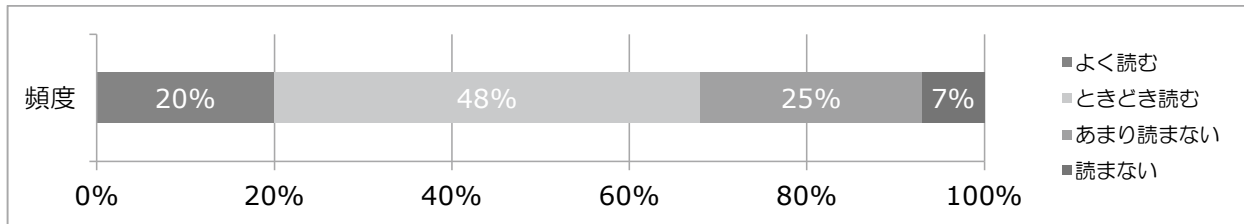
本の題名	件数	本の題名	件数
あのと、僕らの歌声は	1	探偵チームKZ事件ノート	1
暗殺教室	1	露雨が降る森	1
海難 1890	1	トモ、ボクは元気です	1
かにみそ	1	似ている英語	1
君に届け	1	ハッピーバースデー命輝く瞬間	1
桜坂は罪を抱える	1	ホームレス中学生	1
時間を忘れるほどおもしろい雑学の本	1	また同じ夢を見ていた	1
じゃあ仏教の話をしよう	1	らくだい魔女はプリンセス	1
洗脳、地獄の12年間からの生還	1		

保護者（小学3年生、小学6年生）

問1 あなたは本を読みますか

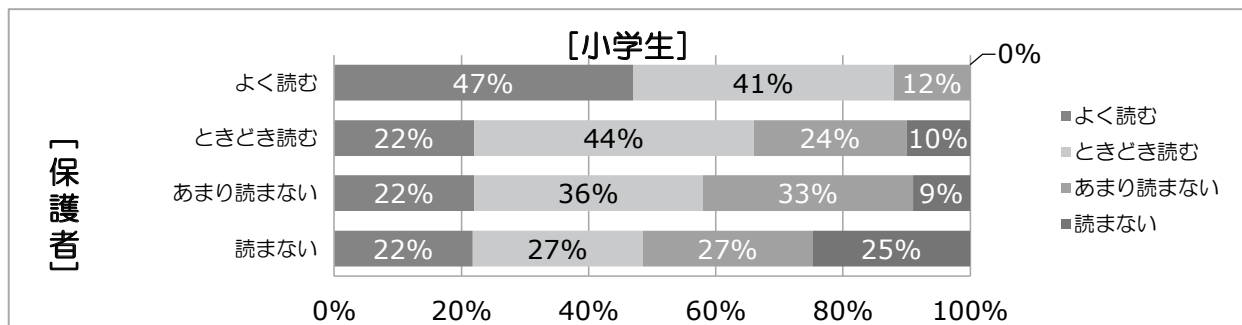


第2次策定時アンケート結果



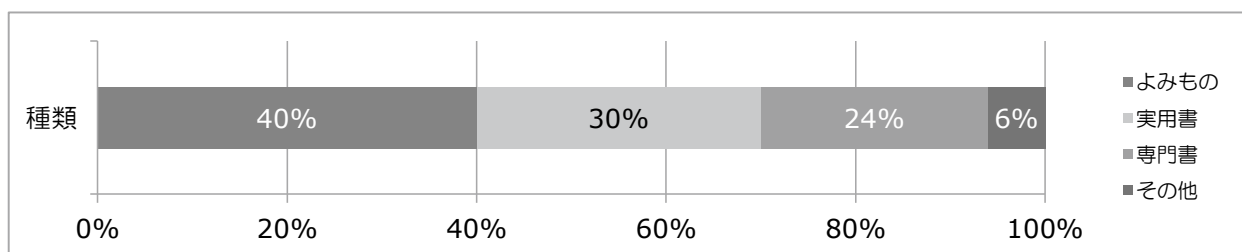
本をよく読むかという問いでは、第2次策定時「よく読む」「ときどき読む」を合わせると68%となっており、今回は「よく読む」「ときどき読む」を合わせると35%となっている。

問1-1 問1の保護者の本を読む頻度別にみる子どもの本を読む頻度



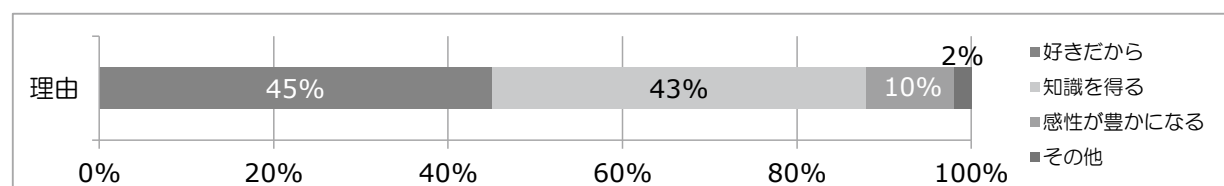
小学生の本を読む頻度を、保護者の本を読む頻度別にみても、保護者の読書頻度が増えるに従って、概ね小学生の読書頻度も増加している。

問2 何を読みますか



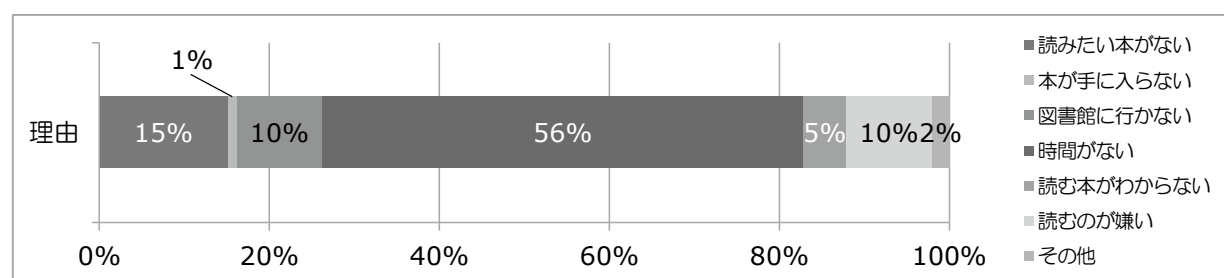
読む本の種類については「よみもの」が40%と最も多く、次いで「実用書」30%となっている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



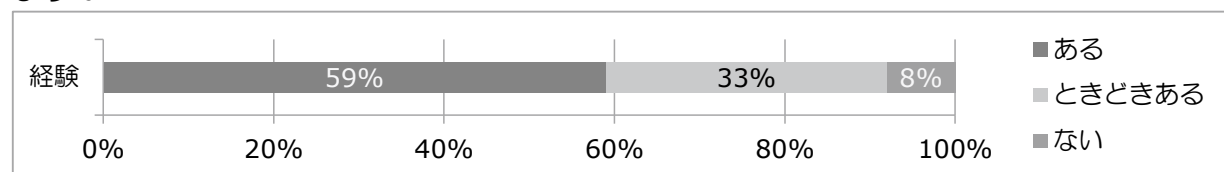
本を読む理由は、「好きだから」45%と最も多く、次いで「知識を得るため」43%、となっている。その他の回答では、「雑学が好きだから」などがあつた。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）

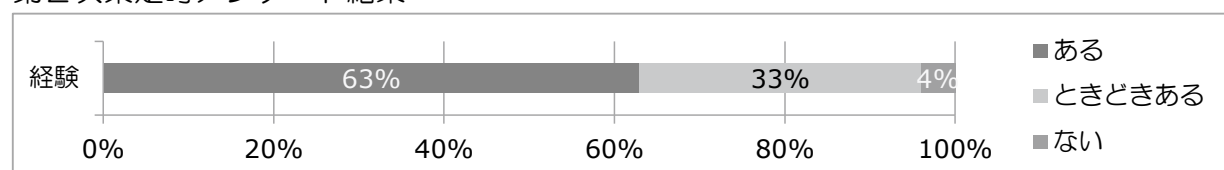


本を読まない理由は、「時間がない」が56%と最も多く、次いで「読みたい本がない」15%となっている。その他では「細かい字が見つらい」「読書が好きだが子育てで忙しい」などがあつた。

問5 子どもと一緒に本を読んだり、今までに子どもに昔話や本を読んであげたことはありますか

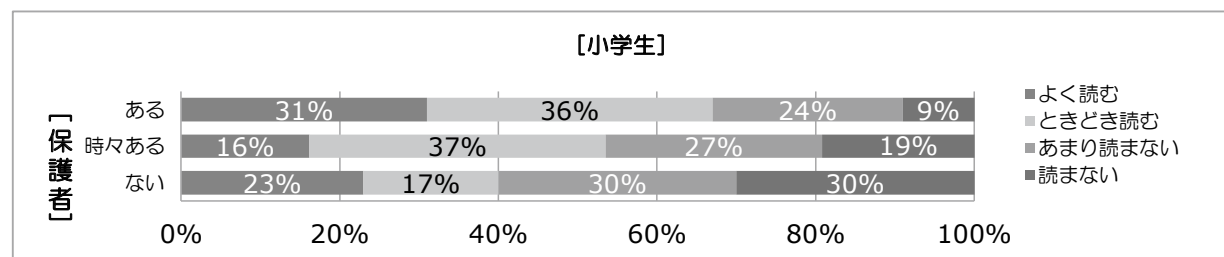


第2次策定時アンケート結果



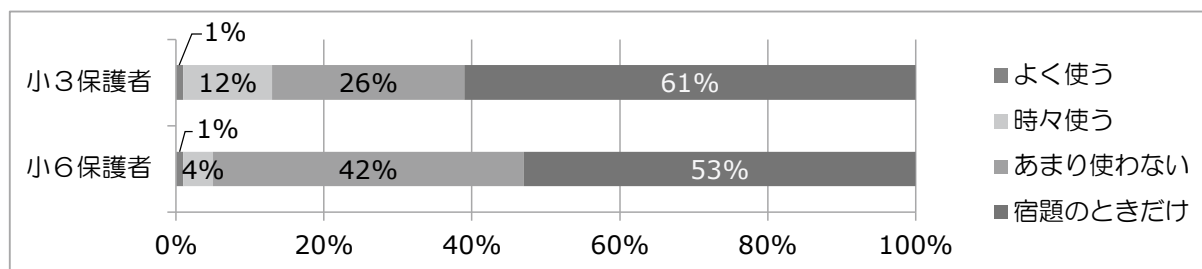
子どもへの読み聞かせの経験については、第2次策定時、今回とも「ある」が63%、59%と最も多くなっている。

問5-1 保護者からの読み聞かせの有無による子どもの読書頻度



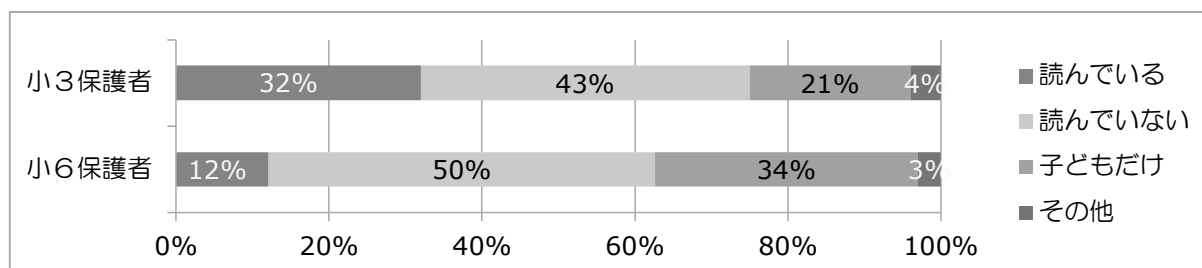
保護者が読み聞かせなどを行っているほうが、子どもの読書頻度が高い傾向にある。

問6 うちどくノートを使っていますか



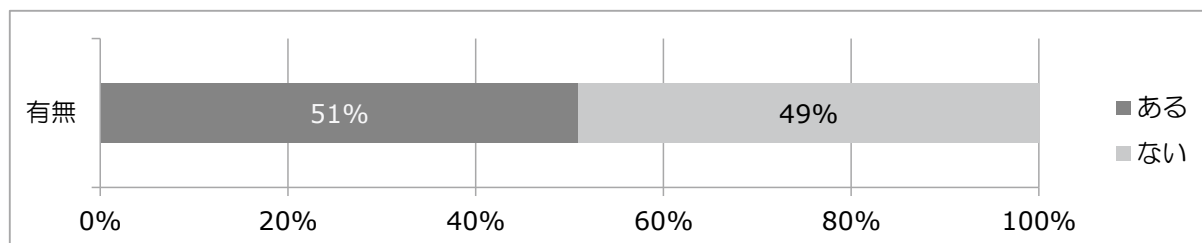
小学3、6年生の保護者共、「宿題になったときだけ使う」が61%、53%と最も多くなっており、次いで「あまり使わない」が26%、42%となっている。

問7 うちどくノートを使って、子どもと同じ本を読んでいますか



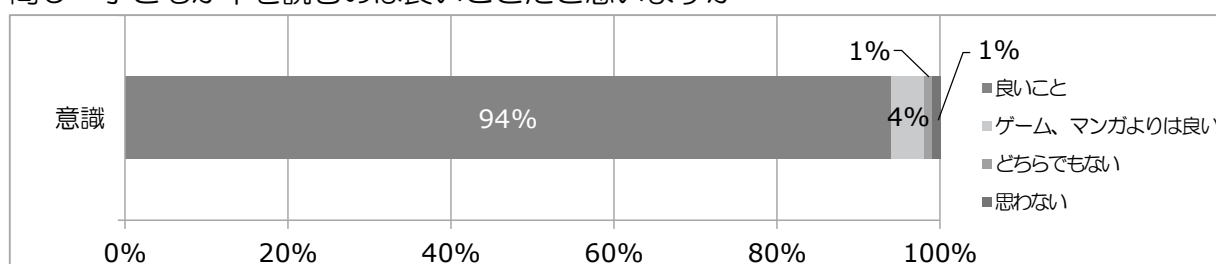
小学3、6年生の保護者共、「読んでいない」が43%、50%と最も多くなっており、次いで小学校3年生の保護者が「読んでいる」が32%、小学校6年生の保護者が「子どもが一人で使う」が34%となっている。

問8 あなたがいままで読んだ本の中で、子どもと一緒に読みたい本を教えてください。 (読みたい本の題名は末尾に記載)



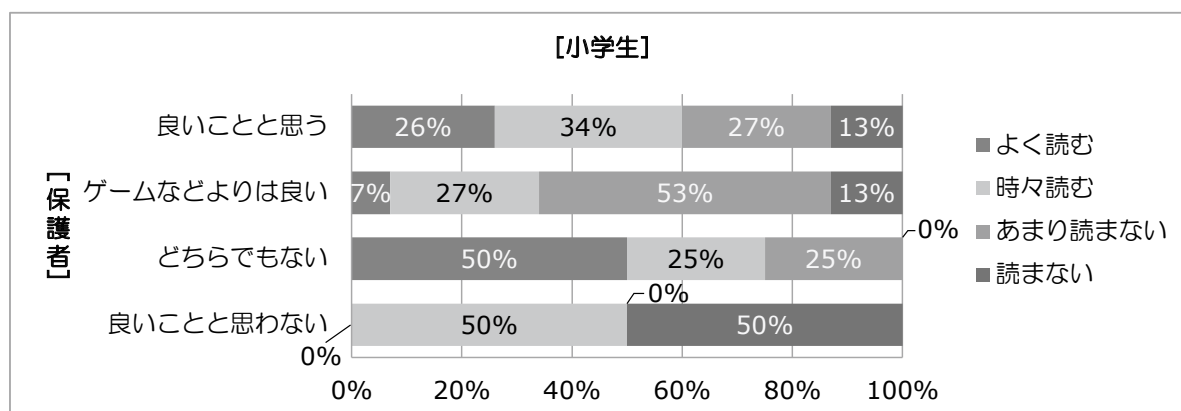
子どもと一緒に読みたい本の有無は、半々となっている。

問9 子どもが本を読むのは良いことだと思いますか



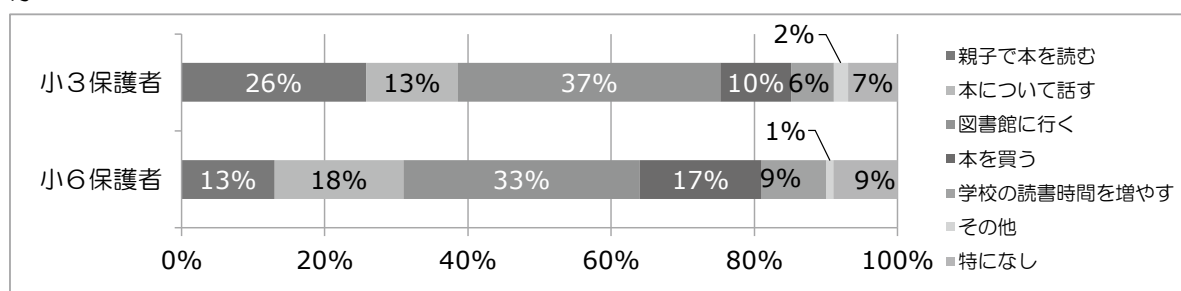
子どもが読書することが良いことかどうかについては、「良いことと思う」がほとんどである。

問9-1 保護者の読書への意識別による子どもの読書頻度



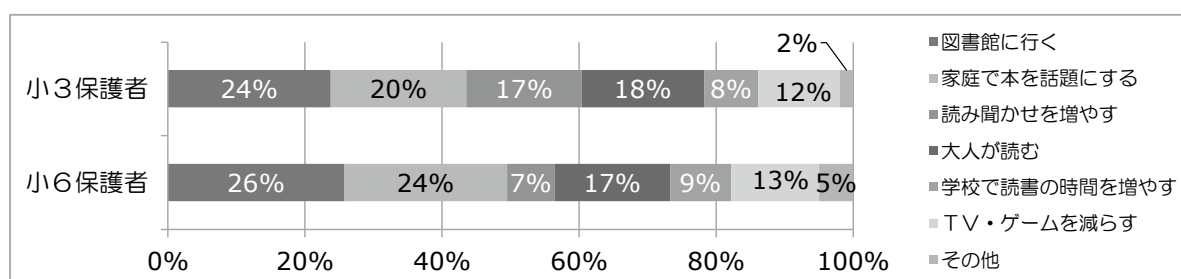
保護者の読書への意識別では、良いことと思っている保護者の子どもは「よく読む」「時々読む」併せて60%となっている。

問10 子どもが読書を楽しむために必要なことは何ですか、またしていることはありますか



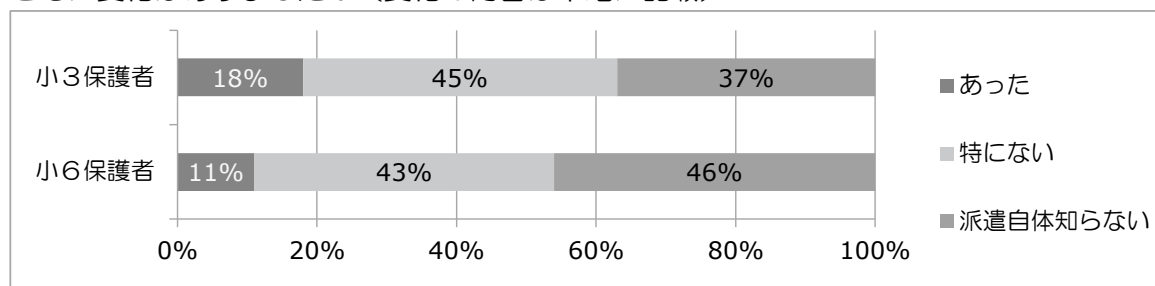
保護者が子どもが読書を楽しめるよう何をしているかという問いについて、小学3、6年生保護者とも「図書館に行く」が最も多く、次いで小学3年生保護者が「親子で本を読む」小学6年生保護者が「本について話す」となっている。その他の回答としては「小さい頃からの読み聞かせ」などがあつた。

問11 どうすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか



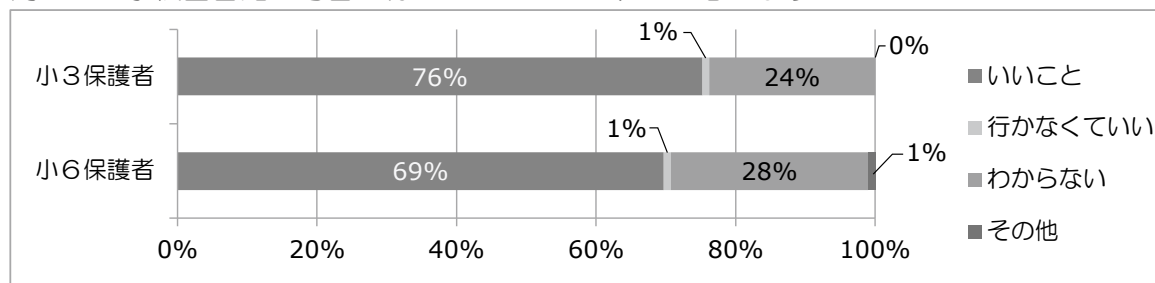
子どもが本を読むようになる方法について、「図書館に行く」「家庭で本を話題にする」が同じような割合となった。その他の回答としては「家の近くまで本を運んでほしい」「子ども同士で意見交換する」「本の楽しさに気づく」などがあつた。

問１２ 岩出図書館から学校図書館の司書が派遣されていますが、司書が派遣されてから子どもに変化はありましたか（変化の内容は末尾に記載）



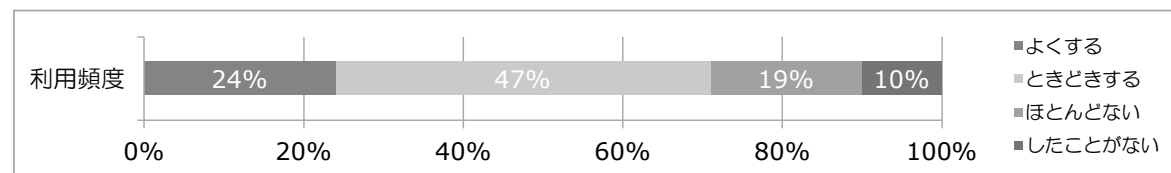
岩出図書館から司書が派遣されたことで子どもの変化について、変化なしが小学3保護者が45%、6年保護者が43%となっており、派遣自体知らないがそれぞれ37%、46%となった。

問１３ 学校図書館に司書が行くことについて、どう思いますか

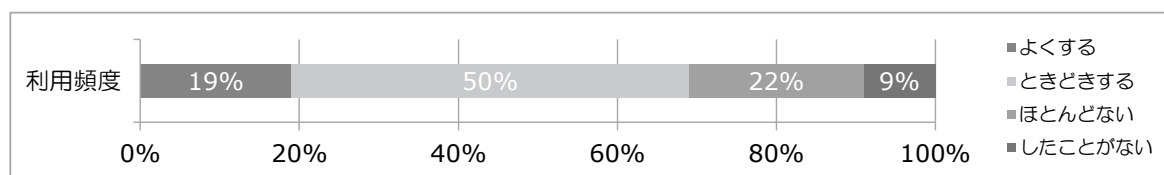


岩出図書館から司書が派遣されたことで派遣をいいことと思う保護者がほとんどであった。

問１４ 岩出図書館を利用しますか

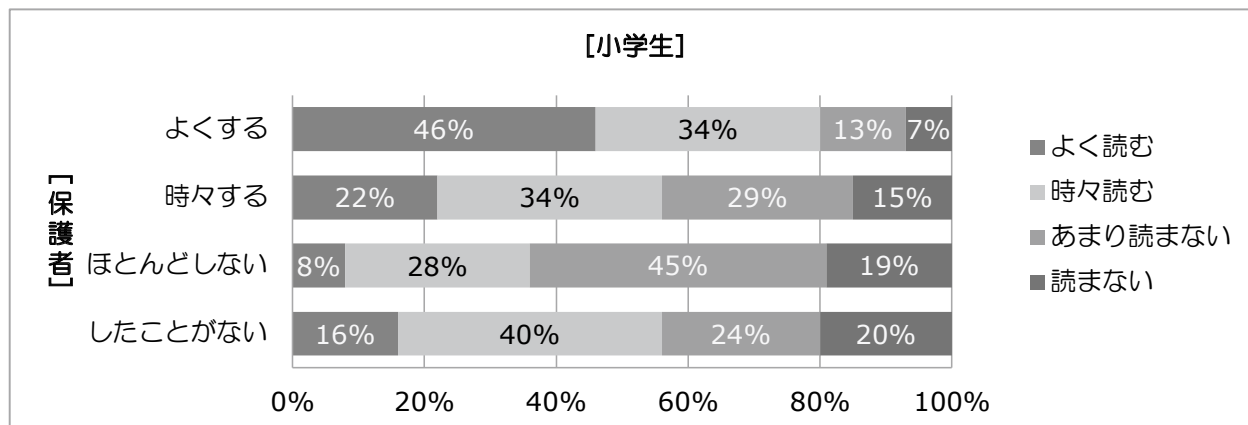


第２次策定時アンケート結果



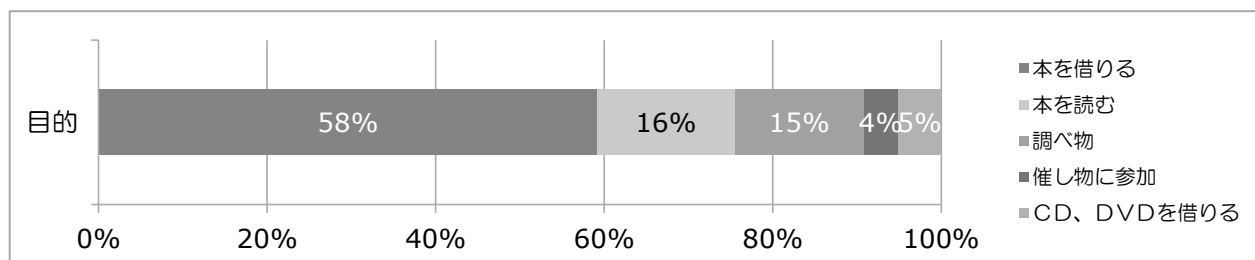
岩出図書館の利用頻度について、第２次策定時では「よくする」「ときどきする」を合わせると69%あり、今回では「よくする」「ときどきする」を合わせると71%の人が利用している。

問14-1 岩出図書館の利用頻度別による子どもの読書頻度



保護者が岩出図書館を利用する頻度別に子どもの読書頻度をみると、図書館をよく利用する子どものほうがよく本を読んでいるのがわかる。

問15 岩出図書館には何をしに行きますか（問14でしたことがない以外を選択者のみ）



岩出図書館に行く目的としては「本を借りる」が58%と最も多く、次いで「本を読む」16%となっている。

問16 子どもと本についての意見、感想（末尾に記載）

自由記述

問8で「ある」を選択した人の子どもに読ませたい本の題名

【小学3年保護者】

本の題名	件数	本の題名	件数
おまえうまそうだな	2	あいしてくれてありがとう	1
ぐりとぐらシリーズ	2	あしたあさってしあさって	1
十五少年漂流記	2	あなたってほんとうにしあわせね	1
晴れ時々ブタ	2	あなたをずっとあいしてる	1
ちょっとだけ	3	あらしのよるに	1
ハリーポッター	3	安寿と厨子王	1

本の題名	件数
いつでも会えるよ	1
いもむし列車	1
うまれてきてくれてありがとう	1
エジソン	1
絵をかくハト	1
大きなかぶ	1
おしくらまんじゅう	1
おふろだいすき	1
怪盗レッド	1
風とともにさりぬ	1
カブトムシ三太郎	1
からすのパン屋さん	1
ガリベンき	1
キャベツくんとぶたまるさん	1
霧のむこうのふしぎな町	1
グリム童話	1
獣の奏者	1
ごんぎつね	1
西遊記	1
さかさ町	1
しずかなおはなし	1
しろいうさぎとくろいうさぎ	1
鈴の鳴る道	1
スタンド・バイ・ミー	1
空飛ぶどろぼう	1
それからのおにがしま	1
だいじょうぶ、だいじょうぶ	1
小さいうち	1

本の題名	件数
チーズはどこへ消えた	1
手ぶくろを買いに	1
とまると死ぬ男	1
どろぼう学校	1
杜子春	1
ねこのタクシー	1
猫はいきている	1
灰谷健次郎氏の本	1
ハチ公物語	1
ひびわれつぼ	1
ひめゆりの塔	1
百万回生きたねこ	1
二人はいつも	1
ふたりはともだち	1
フランダースの犬	1
へいわってすてきだね	1
ヘレンケラー	1
ぼくがぼくであること	1
ぼくらの七日間戦争	1
ホタルの墓	1
毎日かあさん	1
ママと子どもとお金の話	1
真夜中の誕生会	1
ものしり五郎丸	1
ラッセルとクリスマスのまほう	1
ルドルフとイッパイアッテナ	1
わたしのせいじゃない	1

[小学6年保護者]

本の題名	件数
赤毛のアン	2
バッテリー	2
ハリーポッター	6
100歳への手紙	1
Good LUCK	1
青が散る	1
あらしの夜に	1
アルジャーノンに花束を	1
アンネの日記	1
いのちのあさがお	1
小川未明童話集	1
おこだでませんように	1
おじいちゃんの桜の木	1
おばけのケーキ屋さん	1
風の道	1
きっと会える	1
きよしこ	1
蜘蛛の糸	1
グラウンドの空	1
ぐりとぐら	1
ゲド戦記	1
子どもSFシリーズ	1
斉藤一人の本	1
坂の上の雲	1
沈まぬ太陽	1
小公女	1
白い町ヒロシマ	1
スイミー	1
精霊の守人シリーズ	1
世界から猫が消えたなら	1
そこに僕はいた	1
だいじょうぶだいじょうぶ	1

本の題名	件数
宝島	1
チーズはどこへ消えた	1
地球まるごとふしぎ雑学	1
テディベア	1
てぶくろを買いに	1
どんぐりむらのぱんやさん	1
泣いた赤おに	1
夏の扉	1
にじいろのさかな	1
西の魔女が死んだ	1
ネバーエンディングストーリー	1
野口英世	1
ハチ公物語	1
葉っぱのフレディ	1
ハッピーバースデー	1
氷点	1
びよちゃんのかくれんぼ	1
びりっかすの神様	1
星空ロック	1
ほしのおうじさま	1
窓ぎわのトットちゃん	1
ママがおばけになっちゃった	1
モモ	1
ももいろのきりん	1
龍の住む家	1

問1 2の変化の内容

〔小学3年保護者〕

本が前より好きになった。
借りたい本が増えたそうです。
来てくれると嬉しいようで先生の名前をよく覚えている。
本を読んでもらったことを話してくれたり図書館で見かけると嬉しそうにしている。
たまに本を借りるようになった。
本を借りてくる回数が増えた。
本のお話をよくするようになった。
図書館の人が来ていると話す。
質問したり話できるのが楽しい様子です。
前より学校図書館へ行くようになった。
いろいろな本を見るようになった。
少しでも読書の時間が増えて種類も増えて良い、興味深くなった。
読み聞かせをしてもらった日は家でその話をしています。
図書館へ行きたいとよく言う。
司書の仕事に興味をもちました。
司書と本のお話をします。
読んでくれた本のことを話してくれたり図書館で探したりします。
今日はこの本を読んでもらったとかママこの本知っている？と話してくれるようになった。
図書館へ行きたがるようになった。
司書の方に本を探してもらったことで親しみを感じ図書館へ行きたいとよく言うようになった。
司書に本を読んでもらったと子どもが話してくれる。図書館に行ったとき知っている司書がいたり声をかけてもらったりすると子どもが喜んでいる。
岩出図書館で会うときがあると照れながら挨拶していました。
司書が来てくれているからいろいろ聞くことができていると言っていました。
司書に紹介してもらった本で読書感想文を書いた。
夏休みの課題図書に興味を持ち読書感想文を書きたいと子どもから言ってきた。
図書館で探したい本の検索方法がわかってよく行くようになりました。
いろいろな本を薦めてくれる。

問1 2の変化の内容

〔小学6年保護者〕

図書室へ行く回数が増えた。
図書館へ行くと、司書をみて小学校にいると言う。
進んで図書館へ行くようになった。
図書室に行くのが楽しくなった。
調べものをよくするようになった。
調べやすくなった。

小2の弟は図書館に行ったら先生に会えると嬉しいみたいです。
本をたくさん読むようになった。
司書の先生と本の話をして楽しいといっていた。図書室へ行くのが楽しみな様子。
図書室へ毎日行くようになった。
授業で必要な資料本などを持ってきてくれて役立ったと話していた。
子どもが、学校にもいてる先生と話していた。
図書室に先生がいてくれることで色々聞きやすいみたいです。
時間が出来れば本を読んでいるみたいです。

問16の感想・意見

〔小学3年保護者〕

家庭ではなかなか時間を割いて本を触れ合うことが難しいので、子どもが自分から読書したいと思うきっかけを学校で作ってほしいです。
同じように育てても上の子は本を読むが、下の子は読まない。周りが何をしても結局本人が好きか嫌いかなと思う。
本を読むのはとても良いと思います。いっぱい読んで欲しいです。
うちの子は本が嫌いです。まず何でもいいから借りるようよく紀の川市の図書館に行きます。マンガでも読まないより読んだほうがいいと聞きました。岩出図書館は、本きれいな子が借りたくなるような何か考えて欲しいです。
本をよく読むので言葉とか文字とか感情とかが、前に比べてよくわかっているなと思いました。
本を読むことで親子の絆や考える力、想像する力、集中力がつくと思います。なので子どもが成長して行く上でとても大切なものだと思います。
ビブリオをたくさん書いていただきたい。本を借りる参考にしています。
図書館や学校に共通で使える通帳をおいたら本に触れる機会が多くなると思う。子供用の図書館を造って欲しい。図書館は制約が多すぎて使用しづらい。
本を読むことはすごく良い事だと思うのでどんどん子どもたちに読みきかせしていきたいです。
まだまだ文字を読み理解することが十分でないので字を読むのが苦手な子も読みやすい本をいろいろ教えて欲しいと思います。
子どもにはたくさん本を読んでもらいたいと思う。
本を選ぶときは自分のインスピレーションだと思うのでまず本がある場所を作ってその場に行くのが大切だと思います。学校でも図書室へ行く時間を増やして欲しいです。
本を借りるとすべてその日に読みたがります。宿題をしなくなるのでとても困っています。
自分があまり本を読まなかったので、子どもにはたくさん本を読んでも欲しい。
適書、良書が個々にあり分野を問わずまず文字に慣れることから始まると思います。
私はあまり本が好きではありませんが絵本の読み聞かせは毎日しています。絵本には子どもにはもちろん大人にも楽しい内容のものがあると思います。
毎週末のおはなし会、いつも楽しく参加しています。読み手の方のそれぞれの声でやさしく読んでいただいて子どもたちもとても嬉しそうです。
本を読んで楽しむことはいいと思います。

岩出市に居住して間無しで図書館を利用していません。時間を上手に利用して子どもたちと図書館で本を読む機会を作ってあげたいと思います。
子どもが体調の悪いときなどたまに一緒に本を読みますが、特別な時間だと思います。
思春期には特に本が必要になると思う。それまでに本好きになってほしい。
おもちゃやゲームは年に一、二度ですが本は良く買います。自分で選んだ本は本当に大切にするし何度も読んでいます。気に入らない本だとしても自分の好きな世界を知り広げるきっかけになるはずです。何も手に取らなくても本屋は素晴らしい場所です。
成長すればするほど本を読む機会が少なくなる。子供同士のコミュニケーションで本が話題に出来れば良いが、小学生にはハードルが高いと思う。活字を読むことは大事にしてほしいと思います。
テレビ・ゲームがないときは本をよく読むが、始めると本を読む時間が取れない。ゲームなどどううまくつきあえるようにすることが難しいことでもあり、大事なことと感じます。
静かにすることが出来ない障害を持った子どもが待っていれる場所を作って欲しい。
DVDも他の分館・室で返却できるようにしてほしい

問16の感想・意見

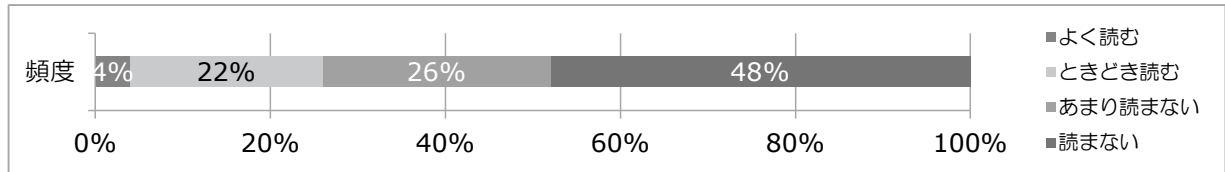
〔小学6年保護者〕

パソコン・スマホ・ゲームなど楽しくて早いほうに向いていくのでゆっくり本を読むことが少なくなったように思います。
自分ももっと読まないかと考えていますがなかなか読めません。
本を読んで楽しむことはいいと思います。
ゆっくり本を読む時間が親子でもてればいいと思います。
本を読まないで困ります。学校の教科書でも読まない。
本がすごく好きで何回も読むので読みたい本はなるべく買うようにしています。
たくさんの本を読むと文章の書き方やいろいろな人の考え方など学べていいと思います。写真やイラストの多い本は好きなので子どもと一緒に岩出図書館を利用しています。
図書館で本を借りても帰宅するとなかなか読まない。自分も一緒の本を読む時間を持つのが必要だとわかっているが。家ではゲーム・スマホなどの誘惑が多いのでやはり図書館内で本を読むとゆっくり本に集中できていいと思う。
本を読んでいる子どもは想像力が豊かな気がします。
自分自身、本を読むことでいろいろな知識と体験が出来、文字から連想するなどとても楽しいです。娘もそれに気づき進んで読んでくれています。
本を読む姿を見せたいと思うが時間がなく見せれない。小さい頃はよく本を読んで寝かしつけたりしていたが最近、本を薦めたりすることもなかなか出来ていない。
楽しく読める本を学校に置いてほしい。
本を読むことはいいことだと思うが、自分自身好きではないので強制しようとは思わない。
図書室で貸出してもらえない本があるので改善してほしい。
たくさんの本を読むことで知識、読解力がつき人生が豊かになると実感してほしい。
子どもが読みたい本を読む、又は大人がいい本を薦める。
自分の子どもの頃とくらべて本の種類にしても好みのジャンルが違う。物語に夢中になることはとてもいい事だと思うのでいろいろ読んで欲しい。

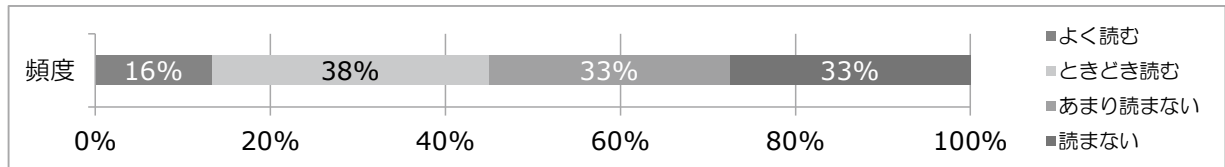
もっと読んで欲しいのですが、自分も読まないの。まだ面白い本に出会っていないのかとも思う。
最近良く本を読んでいる。本を読むことはとても大切なのでこれからもたくさん読んで欲しい。
自分の子どもの頃は学校図書室の本をよく借りて読んでいました。もっと子どもにも本に親しんで欲しいと思う。
子どもにはいろいろなジャンルの本を読んで欲しい。図書室や図書館でたまたま手に取った本がお気に入りの一冊になったり想像力や観察力を伸ばせたりすばらしい可能性があると思う。
幼少時期までは絵本などの読み聞かせ子どもも関心があったのですが、高学年になると進んで本を読もうとしません。もっと読書の楽しさを知ってもらいたいと思う。
親が本を読んでいる姿を見ると子どもも読む機会が増えるのかなと思う。本を読まない子にはどの様に時間を作ればいいか考え中。
小さい頃は絵本などいっしょに読んだりしたが、どんどんする機会が少なくなったのでまた、時間がある時に一緒に本を読みたいです。

保 護 者（中学2年保護者）

問1 あなたは本を読みますか

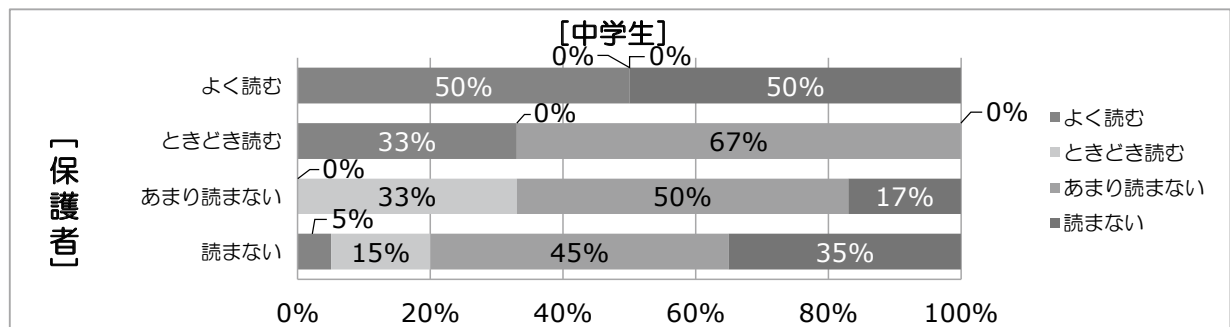


第2次策定時アンケート結果



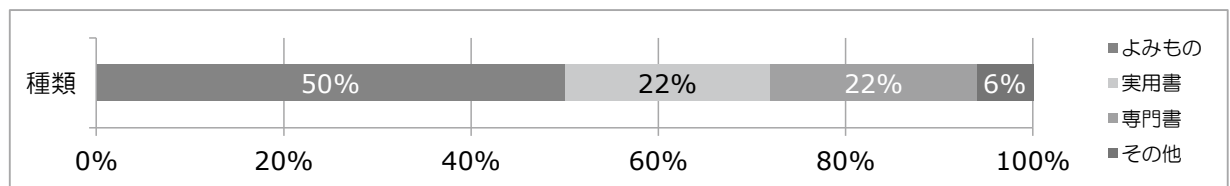
本をよく読むかという問いでは、第2次策定時は「ときどき読む」が38%と最も多くなっていたが、今回は「読まない」が48%と最も多くほぼ半数となっている。

問1－1 問1の保護者の本を読む頻度別にみる子どもの本を読む頻度



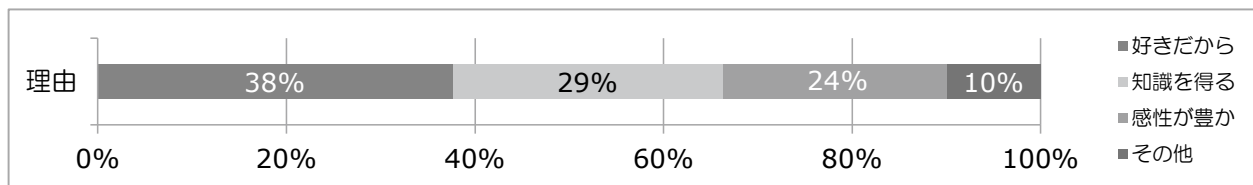
中学生の本を読む頻度を、保護者の本を読む頻度別にみると、保護者の読書頻度が多い中学生でも、「あまり読まない」「読まない」が最も多くなっている。

問2 何を読みますか



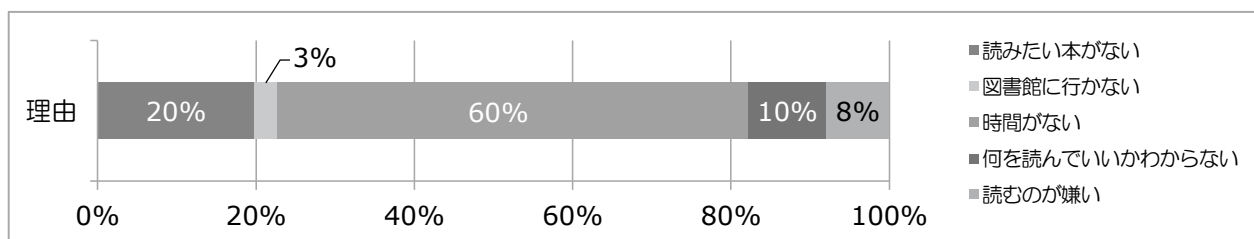
読む本の種類については「よみもの」が50%と最も多く、次いで「実用書」「専門書」がそれぞれ22%となっている。その他の回答では、「新聞」等となっている

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



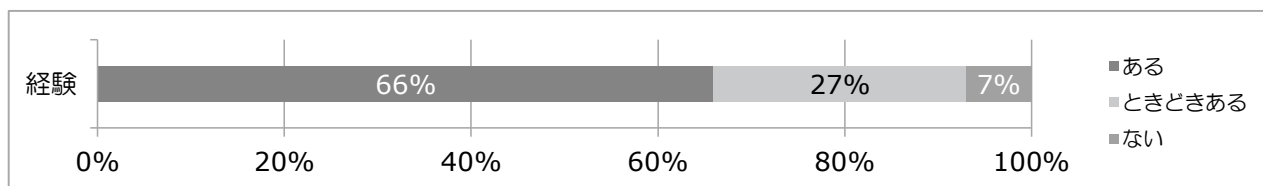
本を読む理由は、「好きだから」38%と最も多く、次いで「知識を得るため」29%、となっている。その他では、「読み聞かせのため」などがあつた。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）

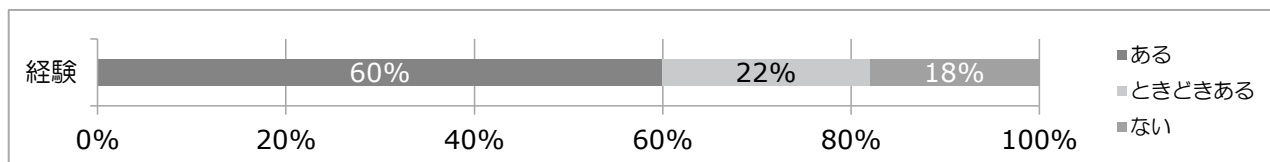


本を読まない理由は、「時間がない」が60%と最も多く、次いで「読みたい本がない」20%となっている。

問5 今まで子どもと一緒に本を読んだり、昔話や本を読んであげたことはありますか

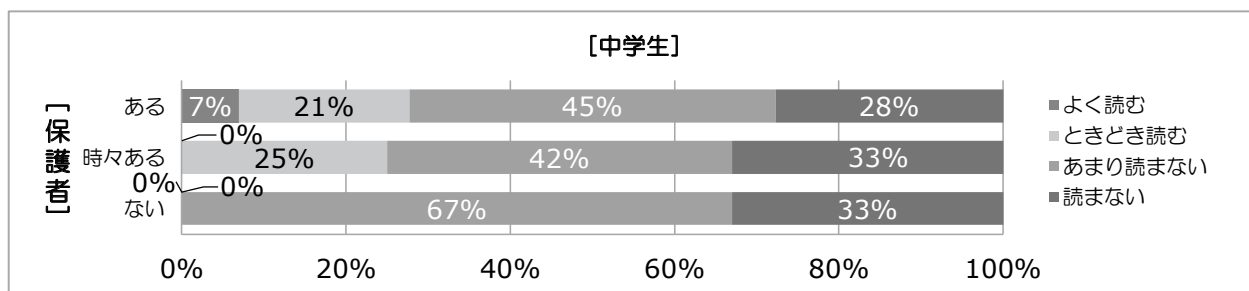


第2次策定時アンケート結果



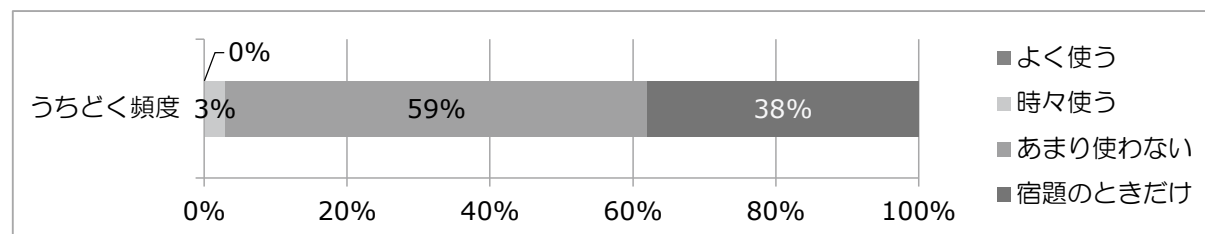
子どもへの読み聞かせの経験については、第2次策定時、今回とも「ある」「ときどきある」を合わせると8割以上の方が読み聞かせをした経験があつた。

問5-1 保護者からの読み聞かせの有無による子どもの読書頻度



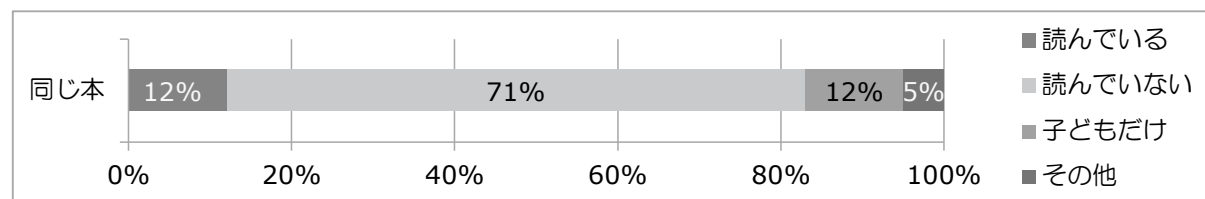
保護者が読み聞かせなどを行っているほうが、子どもの読書頻度が高い傾向にある。

問6 うちどくノートを使っていますか



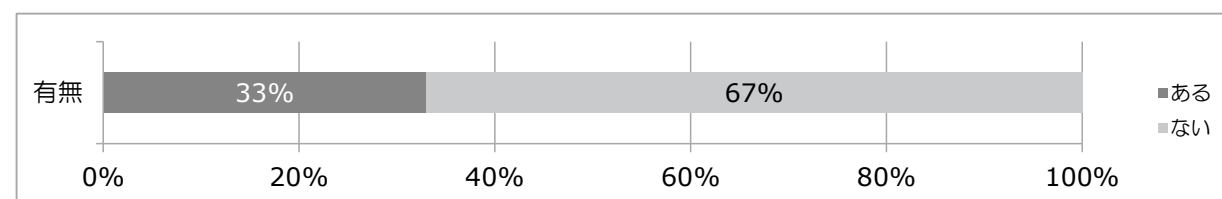
中学生の保護者は、「あまり使わない」が59%と最も多くなっており、次いで「宿題になったときだけ使う」が38%となっている。

問7 うちどくノートを使って、子どもと同じ本を読んでいますか



中学生の保護者は、「読んでいない」が71%と最も多くなっており、次いで「読んでいる」「子どもが一人でする」がそれぞれ12%、その他の回答では「うちどくノートがない」があった。

問8 子どもに読ませたい本がありますか



子どもに読ませたい本があるかについて、大半が「ない」と答えている。

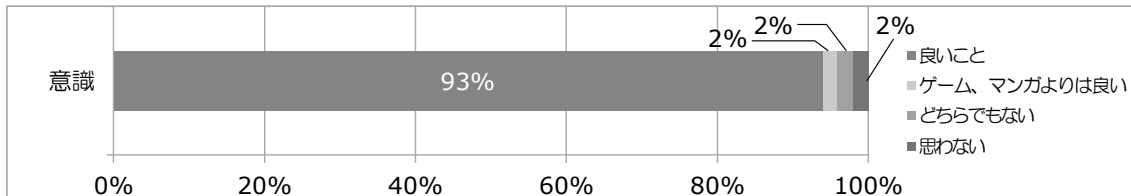
「ある」を選択した人の読ませたい本

本の題名	件数	本の題名	件数
君に届け	1	百万回生きたねこ	1
グインサーガ	1	バッテリー	1
ぐりとぐら	1	ぼくは貝の夢をみる	1
手紙	1	山崎豊子の本	1
はじめてのおこずかい手紙	1		

問9 子どもが本を読むのは良いことだと思いますか

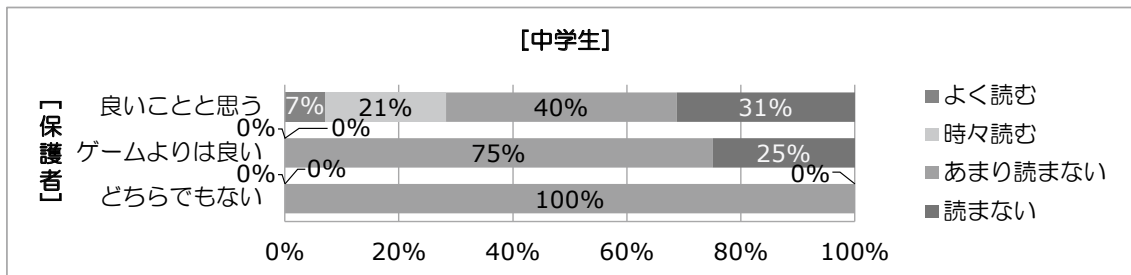


第2次策定時アンケート結果



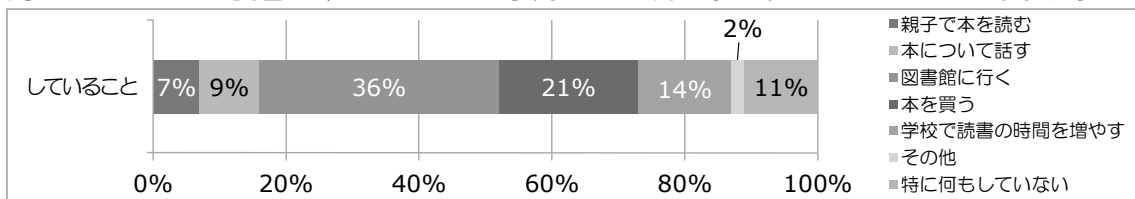
子どもが読書することが良いことかどうかについては、第2次策定時、今回とも「良いことと思う」との回答がほとんどであった。

問9-1 保護者の読書への意識別による子どもの読書頻度



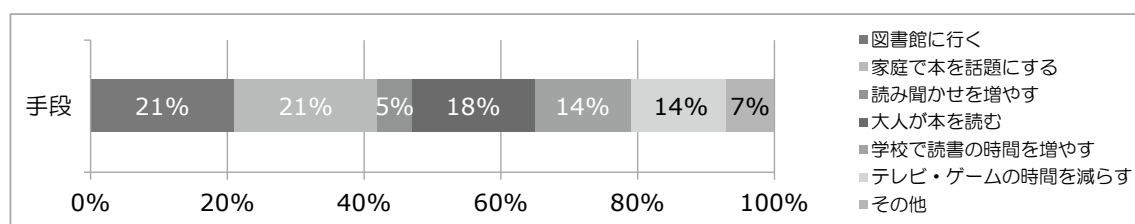
保護者の読書への意識別では、良いことと思っている保護者の子どもは読書頻度が高い。

問10 子どもが読書を楽しむために必要なことは何ですか、していることはありますか



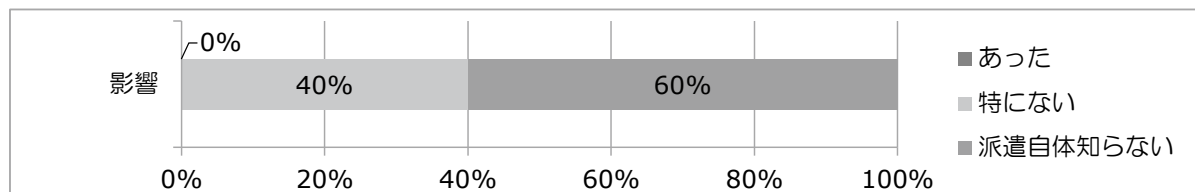
保護者は子どもが読書を楽しむよう何をしているかという問いについて、「図書館に行く」が36%と最も多く、次いで「本を買う」21%となっている。その他の回答では「興味を持たす」があった。

問11 どうすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか



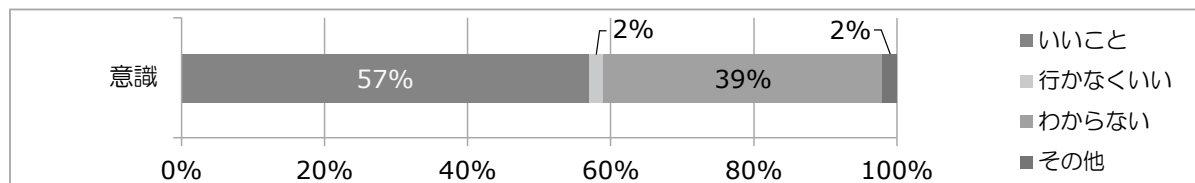
子どもが本を読むようになる方法について、「図書館に行く」「家庭で本を話題にする」がそれぞれ21%と最も多く、「大人が本を読んでいる姿を見せる」が18%となった。その他の回答では「面白そうな本の情報を流す」「小さい頃から本人にどれだけ本に興味を持たすかいろいろためす」などがあつた。

問12 岩出図書館から学校図書館の司書が派遣されていますが、司書が派遣されてから子どもに変化はありましたか



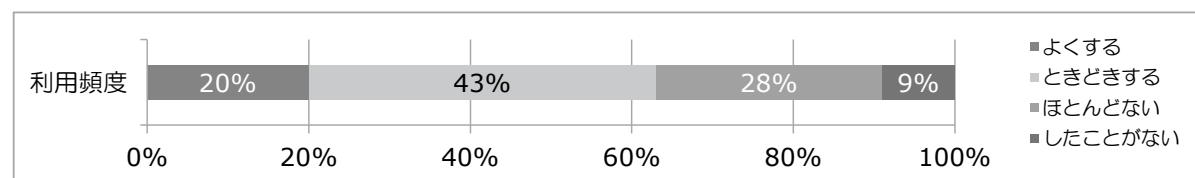
岩出図書館から司書が派遣されたことで子どもの変化について、「変化なし」が40%、「派遣自体知らない」が60%と最も多くなった。

問13 学校図書館に司書が行くことについて、どう思いますか

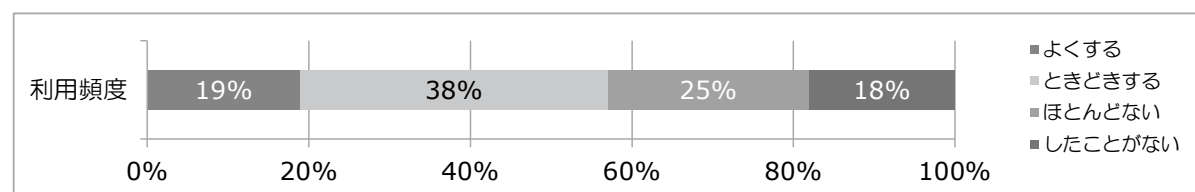


岩出図書館から司書が派遣されたことで派遣をいいことと思う保護者が過半数であつた。

問14 岩出図書館を利用しますか

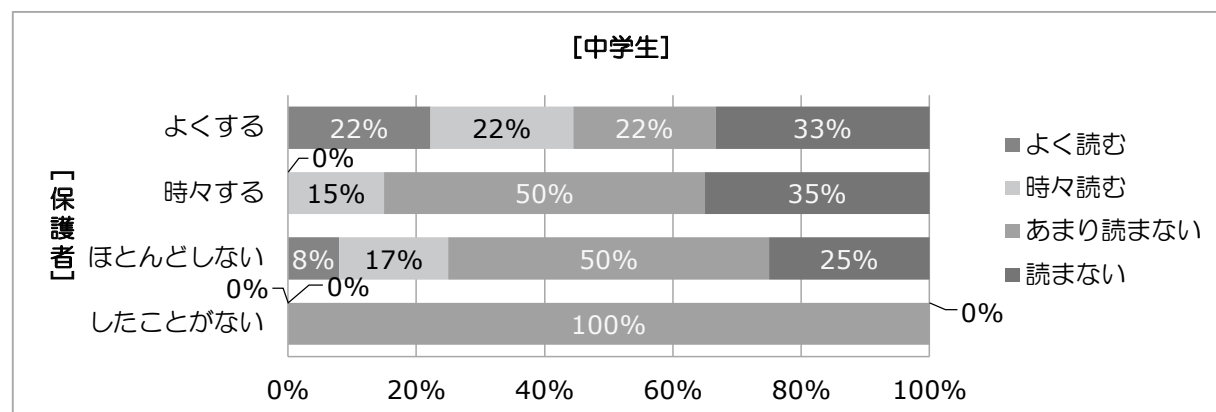


第2次策定時アンケート結果



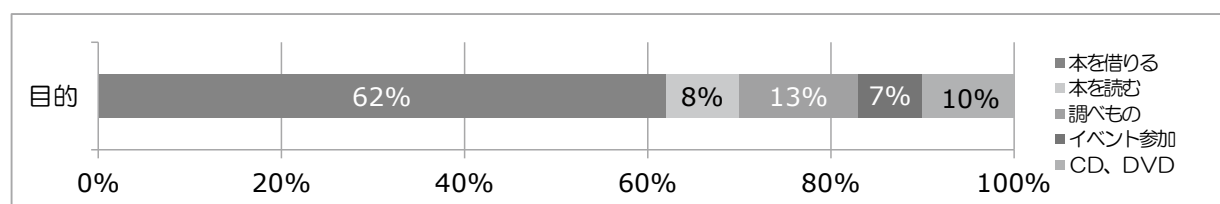
岩出図書館の利用頻度について、第2次策定時、今回とも「ときどきする」が38%、43%と最も多くなっている。

問１４－１ 岩出図書館の利用頻度別による子どもの読書頻度



保護者が岩出図書館を利用する頻度別に子どもの読書頻度をみると図書館をよく利用する親の子どものほうが本を読む機会が多いのがわかる。

問１５ 岩出図書館には何をしに行きますか（問１３でしたことがない以外を選択者のみ）



岩出図書館に行く目的としては「本を借りる」が６２％と最も多く、次いで「調べもの」１３％、「CD、DVDを借りる」１０％となっている。

問１６ 子どもと本についての意見、感想

強制的にでも本を読む時間をつくれば、本の楽しさを知って、自分から本を読むようになると思う。

岩出図書館はねごろで遠いのでいきません。

家で本を読む様にゆっても、ネットやゲームばかりで、読書をしたがらないので、学校でのほうが読みそうに思う。

子どもの読書活動の推進に関する法律 (平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

和歌山県子ども読書活動推進計画（第三次）

基本方針

国の基本計画と、本県の第二次計画期間における成果と課題を踏まえ、「子どもの読書活動」を目指し、次の３点を基本方針として引き続き取り組みます。

（１）子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

読書活動は、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることにつながるなど、「生きる力」の育成に欠かせないものです。子どもが自主的に読書活動を行えるよう、家庭、地域、学校において、子どもの身近に本がある環境をつくり、読書に親しめるようにすることが重要です。そのため、子どもの発達段階に応じて、子どもが読書の楽しさを知るきっかけや、読書に親しむ機会を提供し、施設・設備や人的環境の整備・充実を図ります。

（２）家庭、地域、学校の連携による社会全体での取組の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校が担うべき役割を果たすとともに、社会全体での取組が必要です。そのため、周りの大人に対し、読書の重要性について理解を促すとともに、保護者や学校、公立図書館等の関係機関、民間団体等の連携・協力を進めます。

（３）子どもの読書活動に関する啓発・広報

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、読書の意義や重要性について人々の間に広く理解と関心を深める必要があります。このような観点から、子どもの読書活動を推進する社会的な気運が高まるよう、啓発・広報に努めます。

岩出市子ども読書活動推進会議設置要綱

(設置)

第1条 「岩出市子ども読書活動推進計画」(以下「計画」という。)を指針として岩出市における子ども(概ね18歳までのものをいう。)の読書活動を積極的に推進するため、岩出市子ども読書活動推進会議(以下「会議」という。)を設置する。

(職務)

第2条 会議の職務は、次のとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画の進捗状況の管理と、必要に応じて新たな施策を検討すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、子どもの読書活動の推進に関すること。

(組織)

第3条 会議は、市民委員及び庁内委員(以下「委員」という。)10名以内をもって組織する。

(構成)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 市民委員 子どもの読書活動に関する知識及び経験を有する市民の中から教育長が推薦する者
- (2) 庁内委員 子どもの読書活動の推進にかかわりの深い行政・学校・保育関係職員

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第6条 会議には、委員長及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選任する。
- 3 委員長は会議の進行を務める。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 会議は、委員長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(報酬)

第8条 委員の報酬は支給しないものとする。

(庶務)

第9条 会議の庶務は、市教育委員会教育部岩出図書館において処理する。

(委任)

第10条 この訓令の定めるもののほか必要な事項は、教育長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この訓令は、平成20年7月1日から施行する。

(任期の特例)

- 2 平成24年11月13日に委嘱又は任命をした委員においては、第5条の規定に関わらず、平成25年3月31日までを任期とする。

附 則

この訓令は、平成24年6月13日から施行する。

附 則

この訓令は、平成29年6月8日から施行する。

岩出市子ども読書活動推進会議委員名簿

第4条関係

市民委員

朗読グループ岩出やよい会	佐々木 由美子
図書館ボランティアおはなしドロップス	山下 久美子

庁内委員

山崎北小学校	阪 上 知 佐
岩出第二中学校	榎 本 瞳
根来保育所長	南 曉 子
教育部教育総務課指導主事	南 智 明
福祉課課長補佐 障害福祉係長事務取扱	前 坂 千 景
保健推進課副課長	塩 中 和 歌 子
生涯学習課青少年女性係長	田 村 麻 希 子
岩出図書館館長	中 井 一 善

第3次岩出市子ども読書活動推進計画

平成30年3月発行

発行 岩出市教育委員会

〒649-6292

和歌山県岩出市西野209

TEL 0736-62-2141（代）

編集 岩出市立岩出図書館

〒649-6202

和歌山県岩出市根来1472-1

TEL 0736-62-7222

FAX 0736-62-7150

